

# インフルエンザ罹患に伴う 異常行動研究

2018年3月31日までのデータ取りまとめ  
2017/2018シーズン報告

平成30年度日本医療研究開発機構委託事業（医薬品等規制調和・評価研究事業）  
「インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動に係る全国的な動向に関する研究」  
研究代表者 川崎市健康安全研究所所長 岡部 信彦

# 研究班

## 研究代表者

- 岡部信彦（川崎市健康安全研究所所長）

## 研究分担者（五十音順）

- 大日康史（国立感染症研究所感染症疫学センター主任研究官）
- 谷口清州（独立行政法人国立病院機構三重病院臨床研究部 部長）
- 宮崎千明（福岡市立心身障がい福祉センター長）
- 桃井真里子（自治医科大学名誉教授/両毛整肢療護園）

## 研究協力者

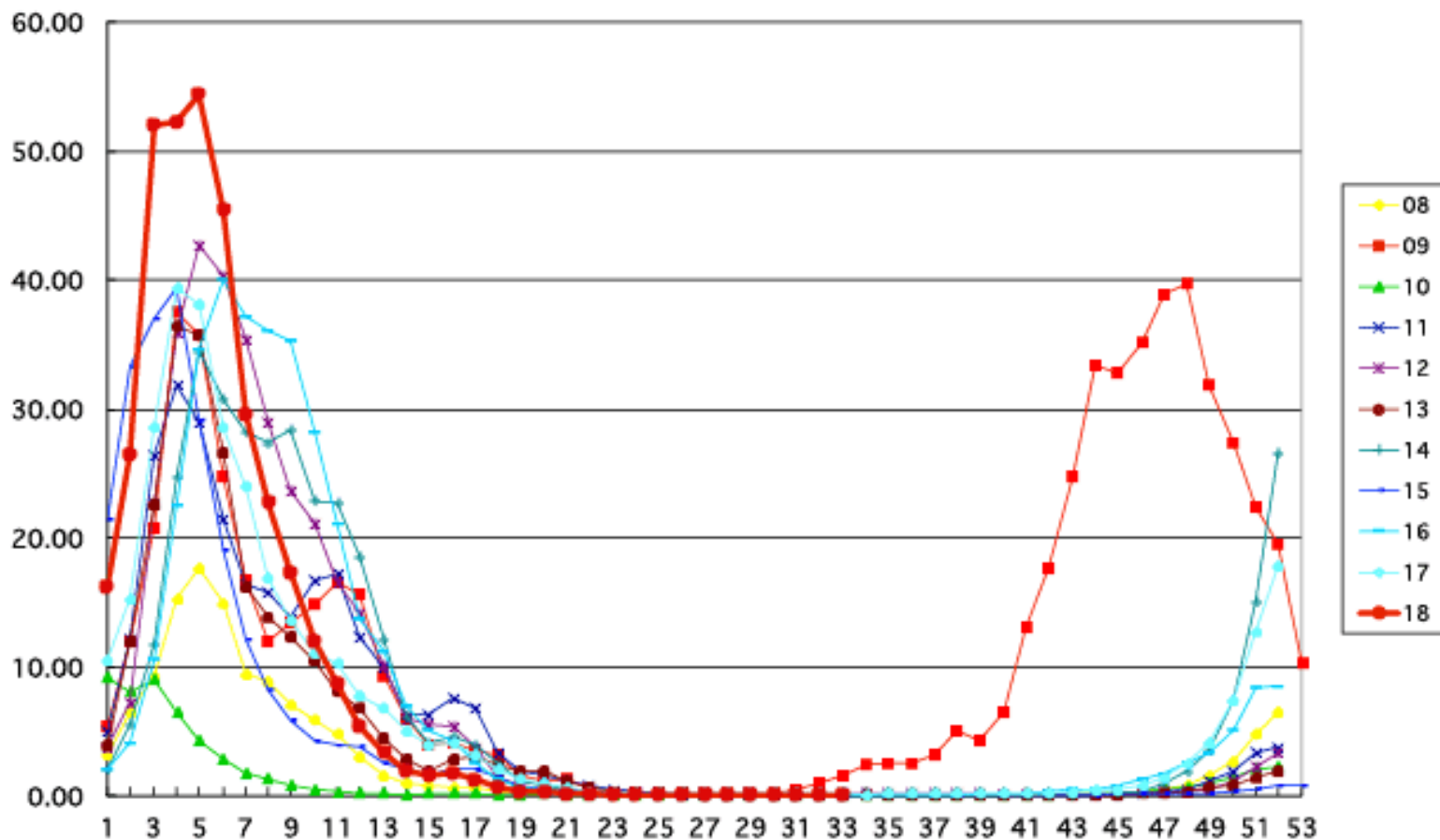
- 菅原民枝（国立感染症研究所感染症疫学センター<sub>2</sub>主任研究官）

# 報告の内容

- インフルエンザ2017／2018シーズン
- 調査概要
- 重度の分析
- 突然走り出す・飛び降りのみ分析
- まとめ

インフルエンザ  
2017／2018シーズン

# 図1.インフルエンザ患者報告数 【定点当たり報告数】



# 調查概要

# 調査概要

- 重度の異常な行動に関する調査（重度調査）
  - すべての医療機関
  - 2006／2007シーズン：後向き調査
  - 2007／2008シーズン～2017／2018シーズン：前向き調査
- 軽度の異常な行動に関する調査（軽度調査）
  - インフルエンザ定点医療機関
  - 2007／2008シーズン～2017／2018シーズン：前向き調査

# 調査概要（重度）

- 調査依頼対象：すべての医療機関
- 報告対象：インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、重度の異常な行動※を示した患者
  - ※飛び降り、急に走り出すなど、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動
- 報告方法：FAXのみ

(2015/2016シーズンまではインターネット又はFAXで受付)

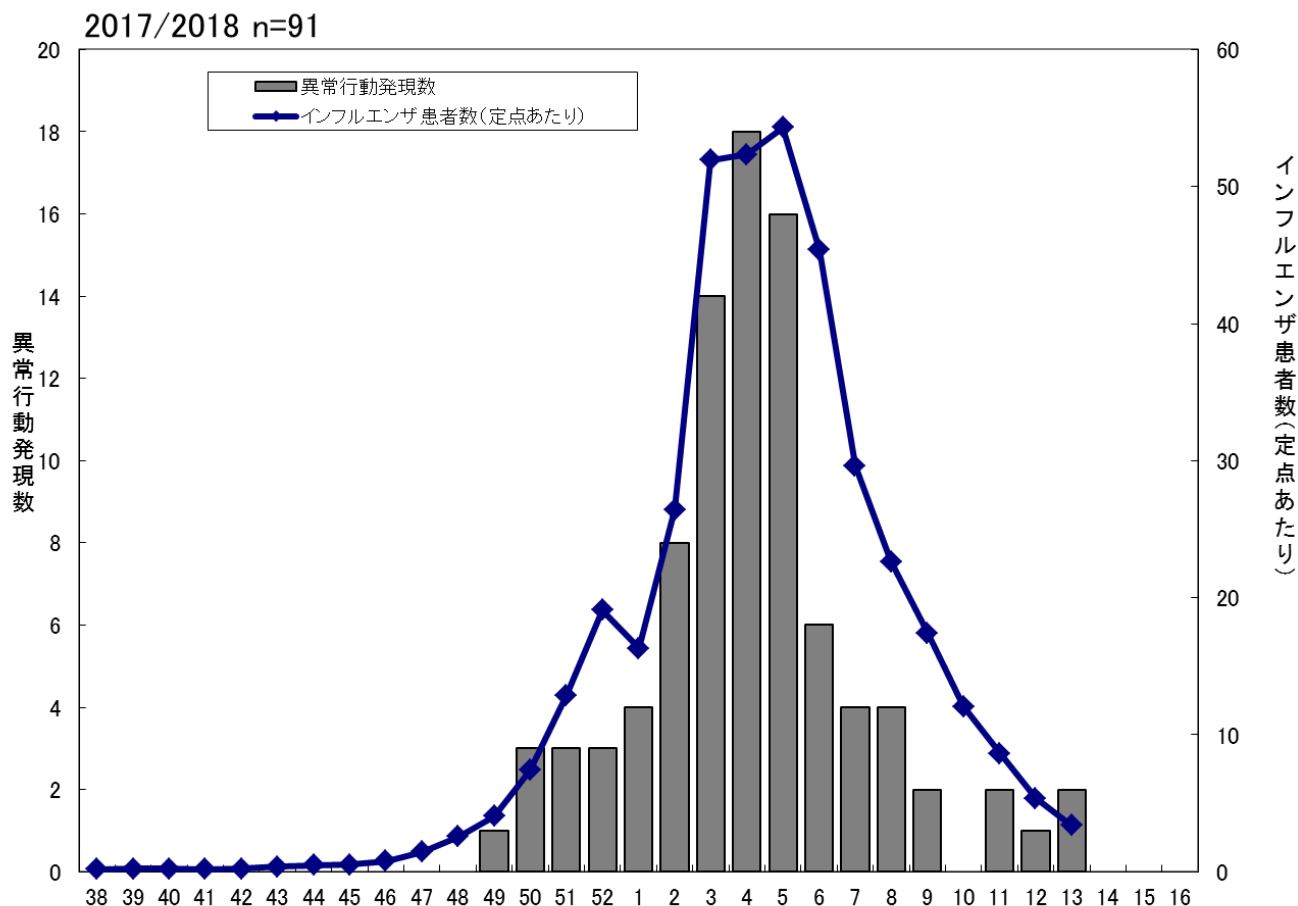


# インフルエンザに伴う異常な行動に関する報告基準

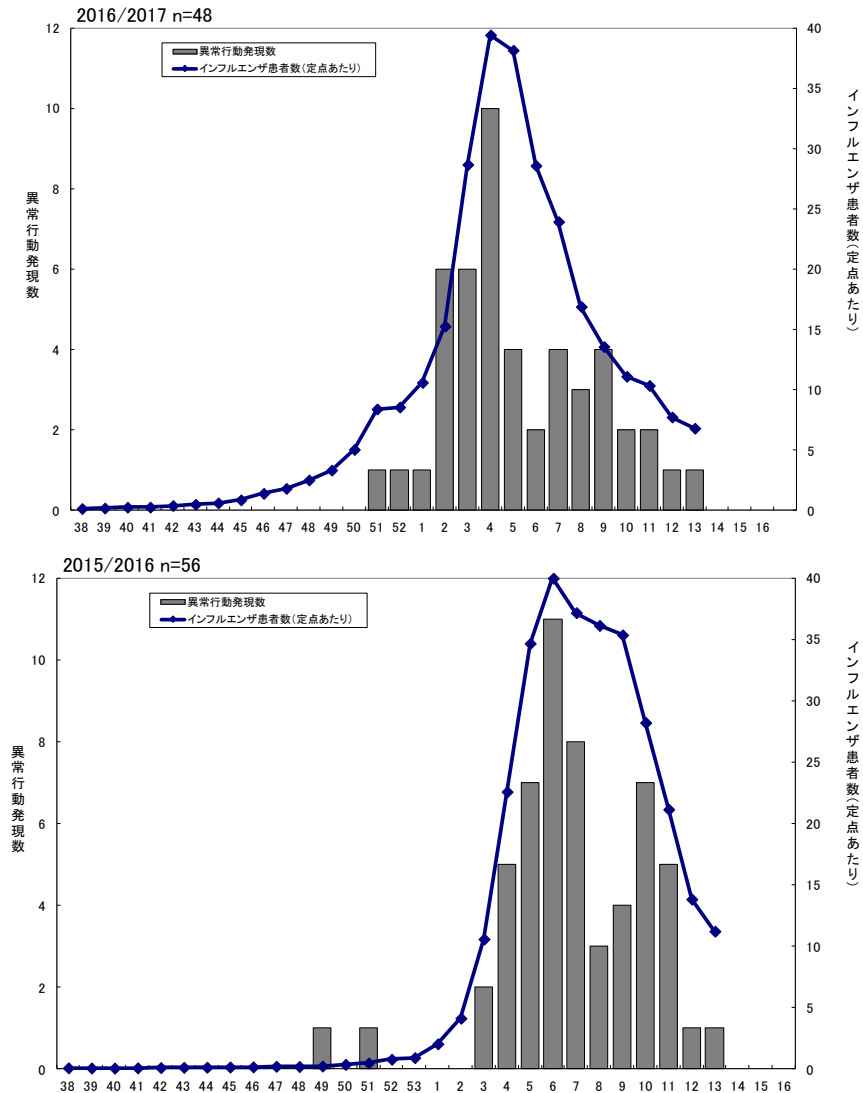
- インフルエンザ様疾患と診断され、かつ、**重度**の異常な行動を示した患者
- インフルエンザ様疾患
  - 臨床的特徴（上気道炎症状に加えて、突然の高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛を伴うこと）を有しており、症状や所見からインフルエンザと疑われる者のうち、下記のいずれかに該当する者
    - 次のすべての症状を満たす者①突然の発現、②高熱（38℃以上）、③上気道炎症状、④全身倦怠感等の全身症状
    - 迅速診断キットで陽性であった者
- **重度**の異常な行動
  - 突然走り出す
  - 飛び降り
  - その他、予期できない行動であって、制止しなければ生命に影響が及ぶ可能性のある行動

重度の異常な行動すべて  
(①突然走り出す・②飛び降り  
り・③その他) の分析

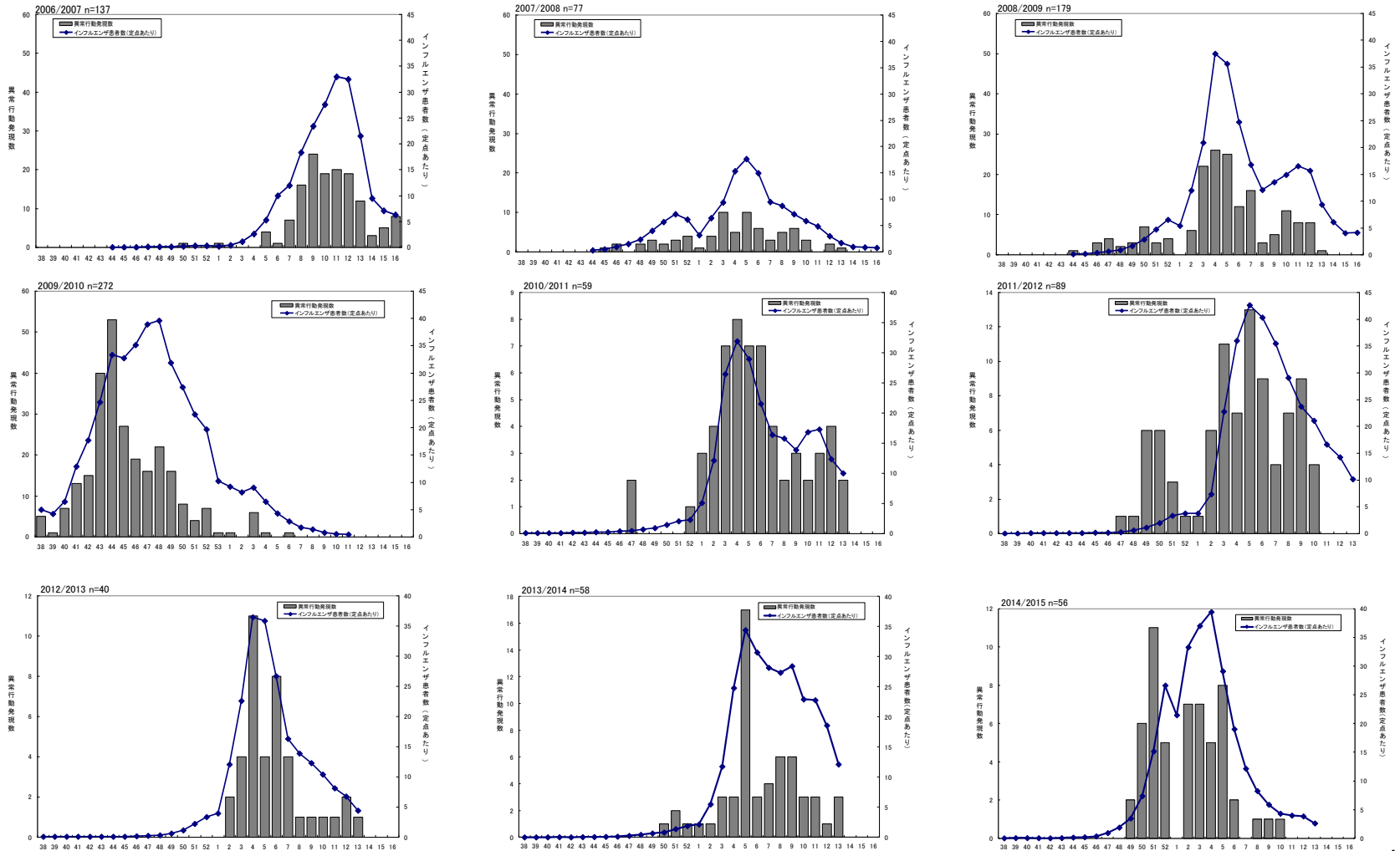
# 図2-1.異常行動（重度）の発熱週と発生動向調査



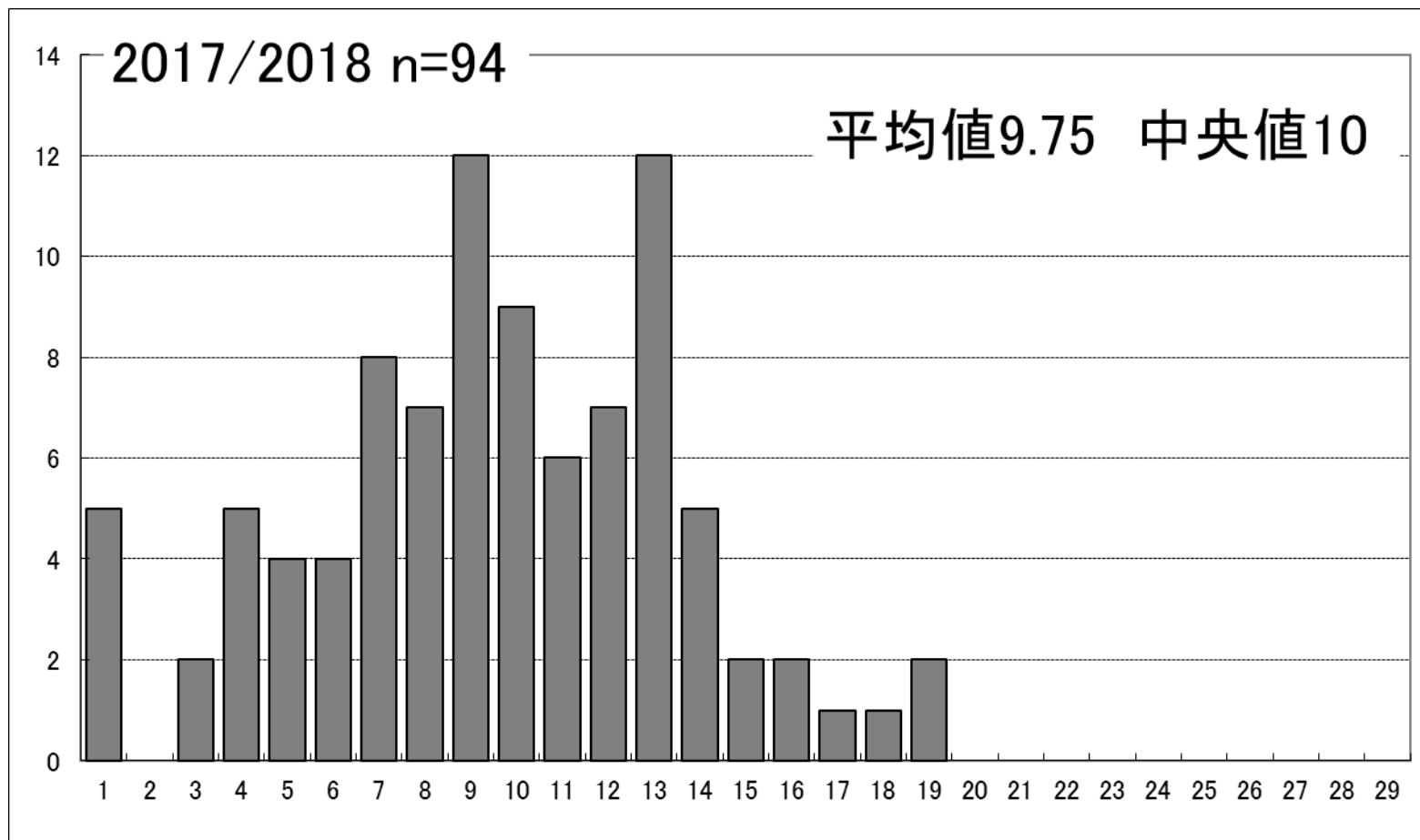
# 図2-2.異常行動（重度）の発熱週と発生動向調査



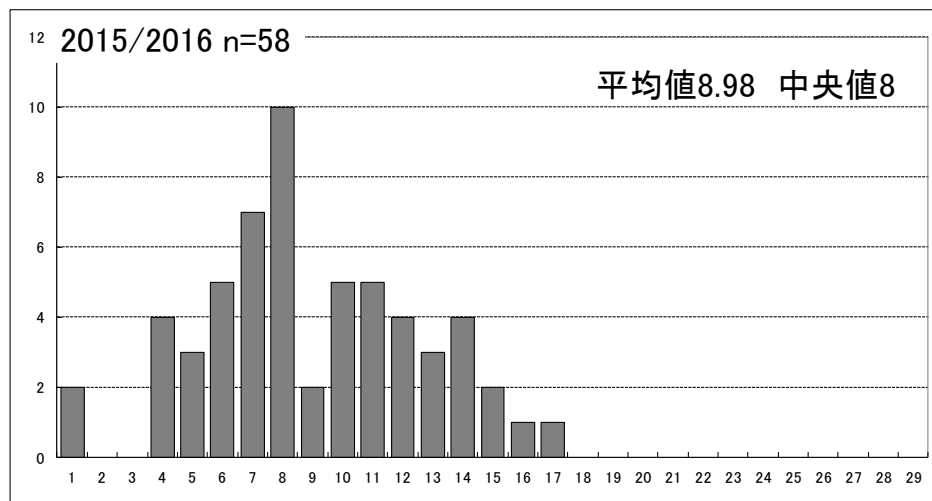
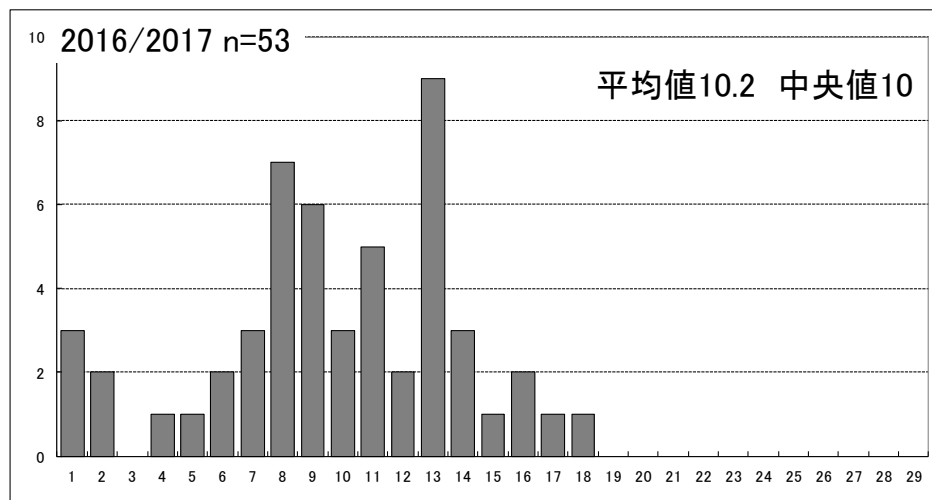
# 図2-3.異常行動（重度）の発熱週と発生動向調査



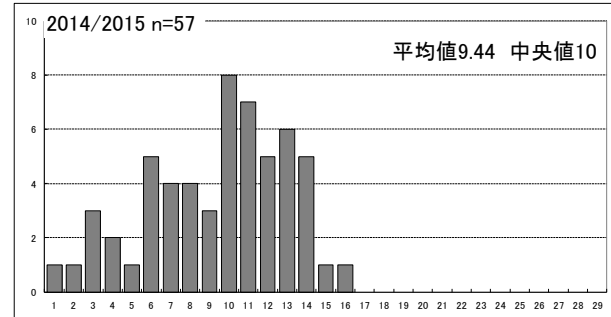
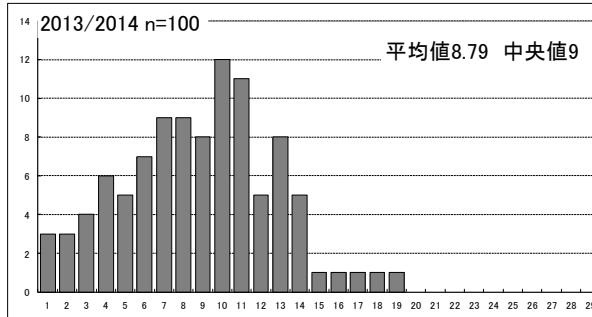
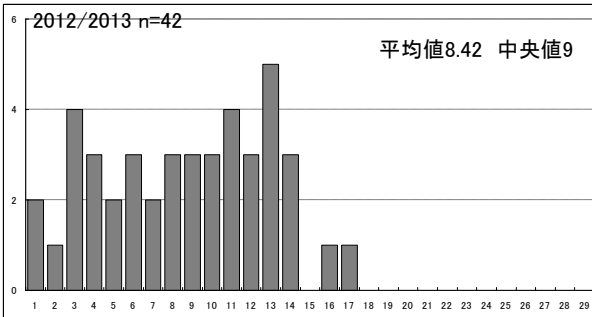
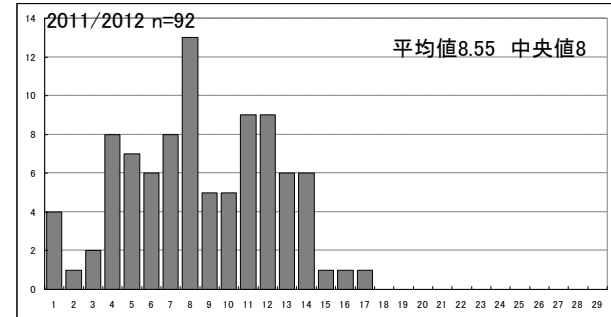
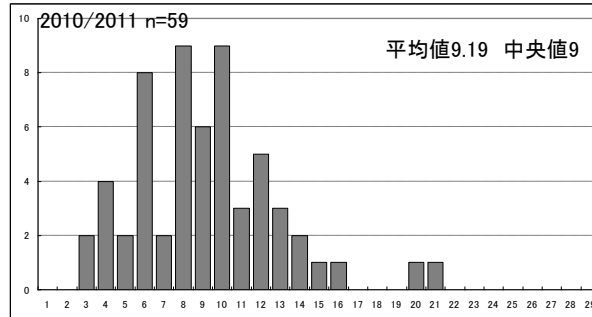
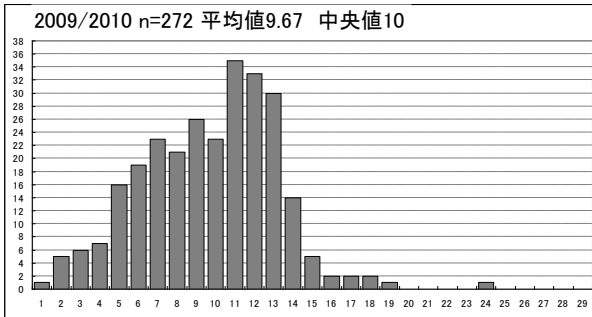
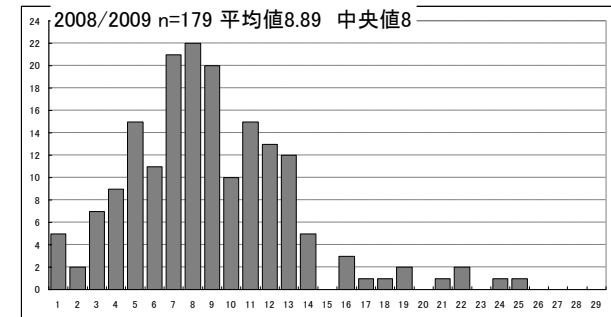
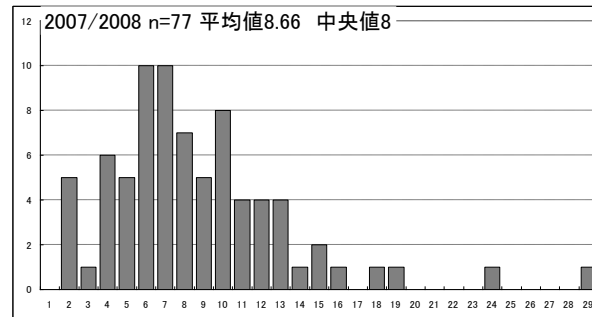
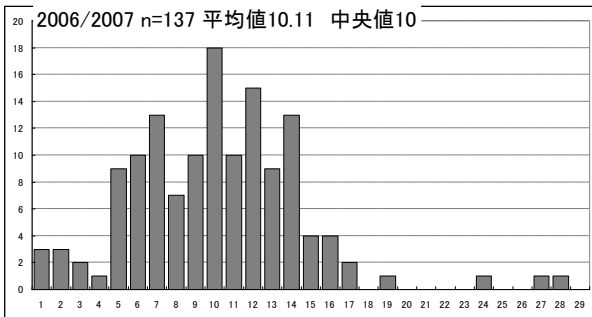
# 図3-1. 患者の年齢



# 図3-2. 患者の年齢

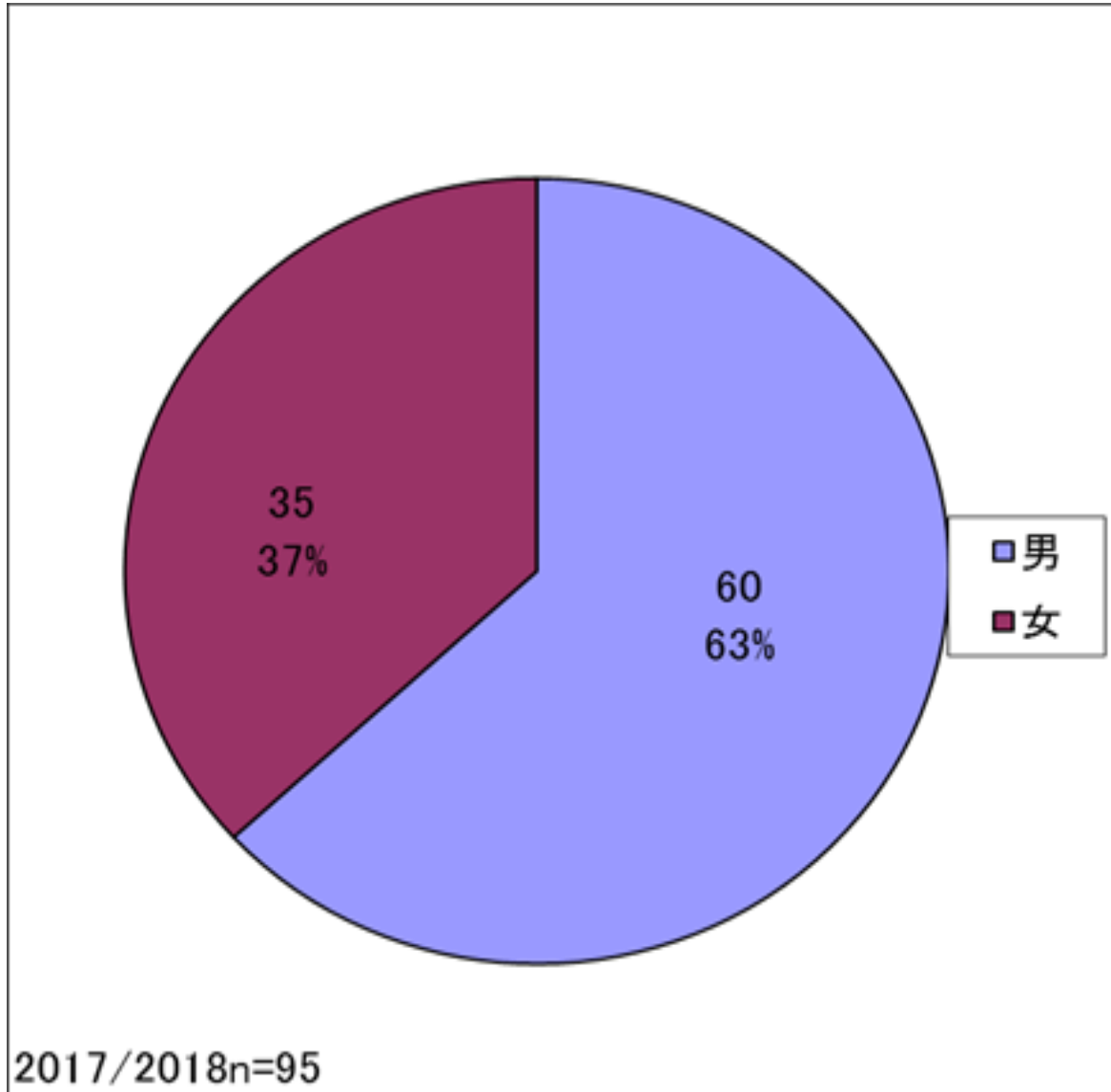


# 図3-3 患者の年齢

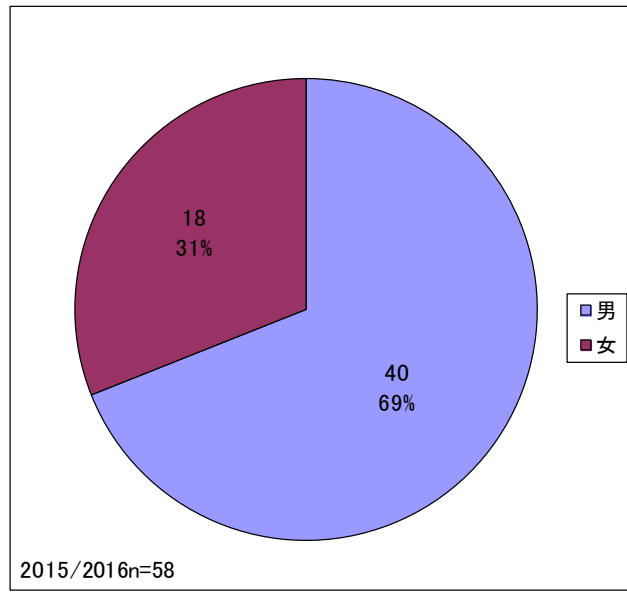
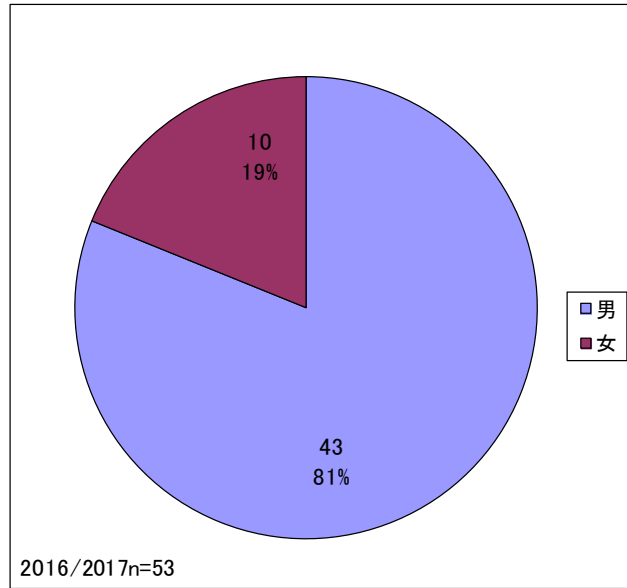




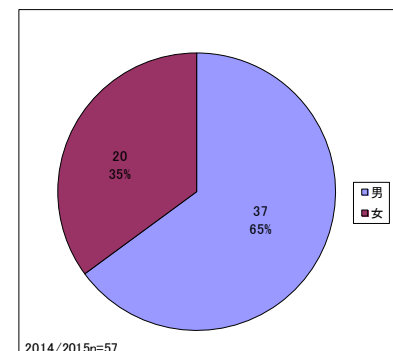
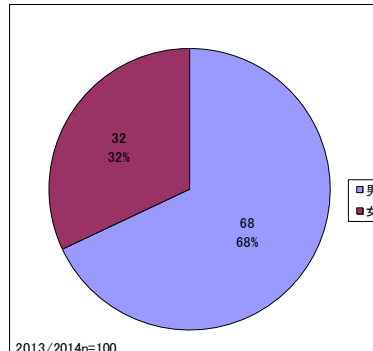
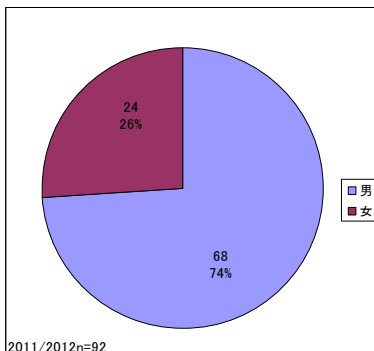
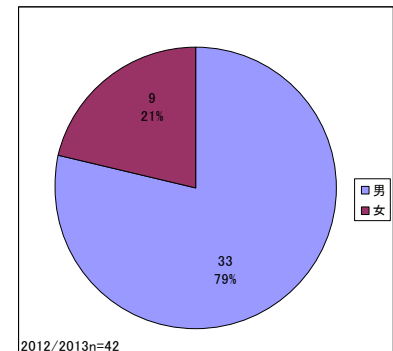
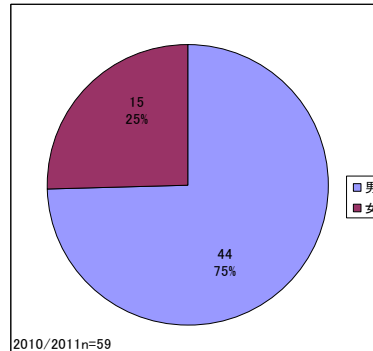
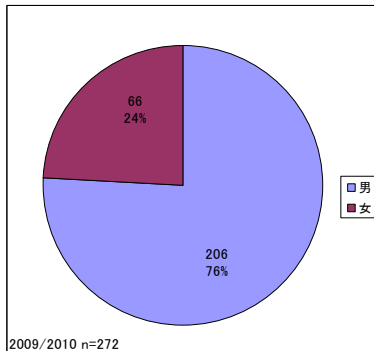
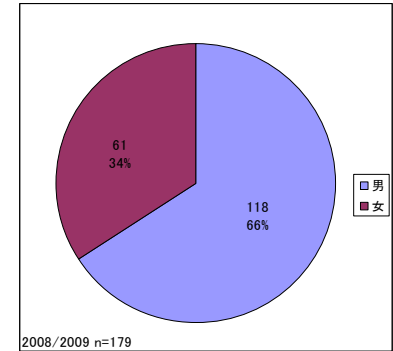
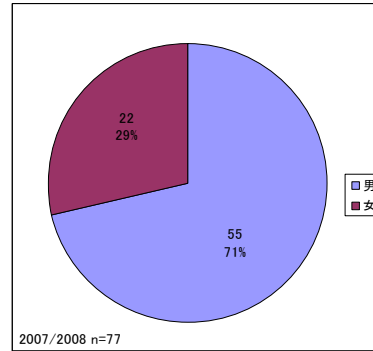
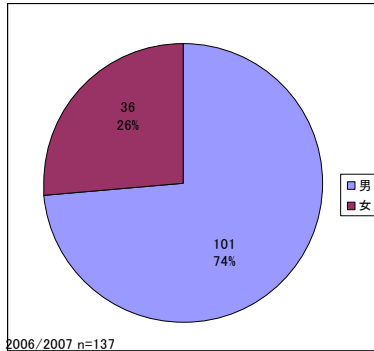
# 図4-1.患者の性別



# 図4-2.患者の性別



# 図4-3.患者の性別



# 表1-1. 全ての重度異常行動の発現における性差

2017/2018

(A)

	(症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	8	20
女性	4	15

厳密検定の確率値 = 0.737

(症例数)

(B)

	(症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	10	18
女性	6	13

厳密検定の確率値 = 1.000

(症例数)

# 表1-2. 全ての重度異常行動の発現における性差

2013/2014

	(A) (症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	9	23
女性	7	15

厳密検定 の確率値 = 0.772

(B) (症例数)

	(症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	10	22
女性	11	11

厳密検定の確率値 = 0.256

2014/2015

	(A) (症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	3	8
女性	4	9

厳密検定 の確率値 = 1.000

(B) (症例数)

	(症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	3	8
女性	5	8

厳密検定の確率値 = 0.679

2015/2016

	(A) (症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	3	17
女性	3	10

厳密検定 の確率値 = 0.659

(B) (症例数)

	(症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	3	17
女性	6	7

厳密検定の確率値 = 0.107

2016/2017

	(A) (症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	2	15
女性	4	4

厳密検定 の確率値 = 0.059

(B) (症例数)

	(症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	2	15
女性	5	3

厳密検定の確率値 = 0.017

# 表2-1.発熱から異常行動発現までの日数

	2017/2018
発現日	n(%)
発熱後1日以内	24(26.09)
2日目	46(50.00)
3日目	20(21.74)
4日目以降	2(2.17)
	92(100.00)

## 走り出し、飛び降りのみ

発現日	n(%)
発熱後1日以内	16(32.00)
2日目	26(52.00)
3日目	7(14.00)
4日目以降	0(0)
	49(100)

# 表2-2.発熱から異常行動発現までの日数

	2007/2008	2008/2009	2009/2010	2010/2011	2011/2012	2012/2013	2013/2014	2014/2015	2015/2016	2016/2017
発現日	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)
発熱後1日以内	25(33.33)	47(27.01)	66(24.72)	13(22.03)	25(28.09)	11(26.83)	29(29.9)	14(25)	17(31.58)	18(34.62)
2日目	37(49.33)	87(50.57)	151(56.55)	36(61.02)	46(51.09)	23(56.1)	52(53.61)	26(46.43)	28(49.12)	25(48.08)
3日目	11(14.67)	22(12.64)	42(15.73)	8(13.56)	8(8.99)	3(7.32)	9(9.28)	12(21.43)	10(17.54)	9(17.31)
4日目以降	2(2.67)	17(9.76)	8(2)	2(3.38)	10(11.23)	4(9.76)	7(7.21)	4(7.14)	1(1.75)	0(0)
	75(100)	173(100)	267(100)	59(100)	89(100)	41(100)	97(100)	56(100)	57(100)	52(100)

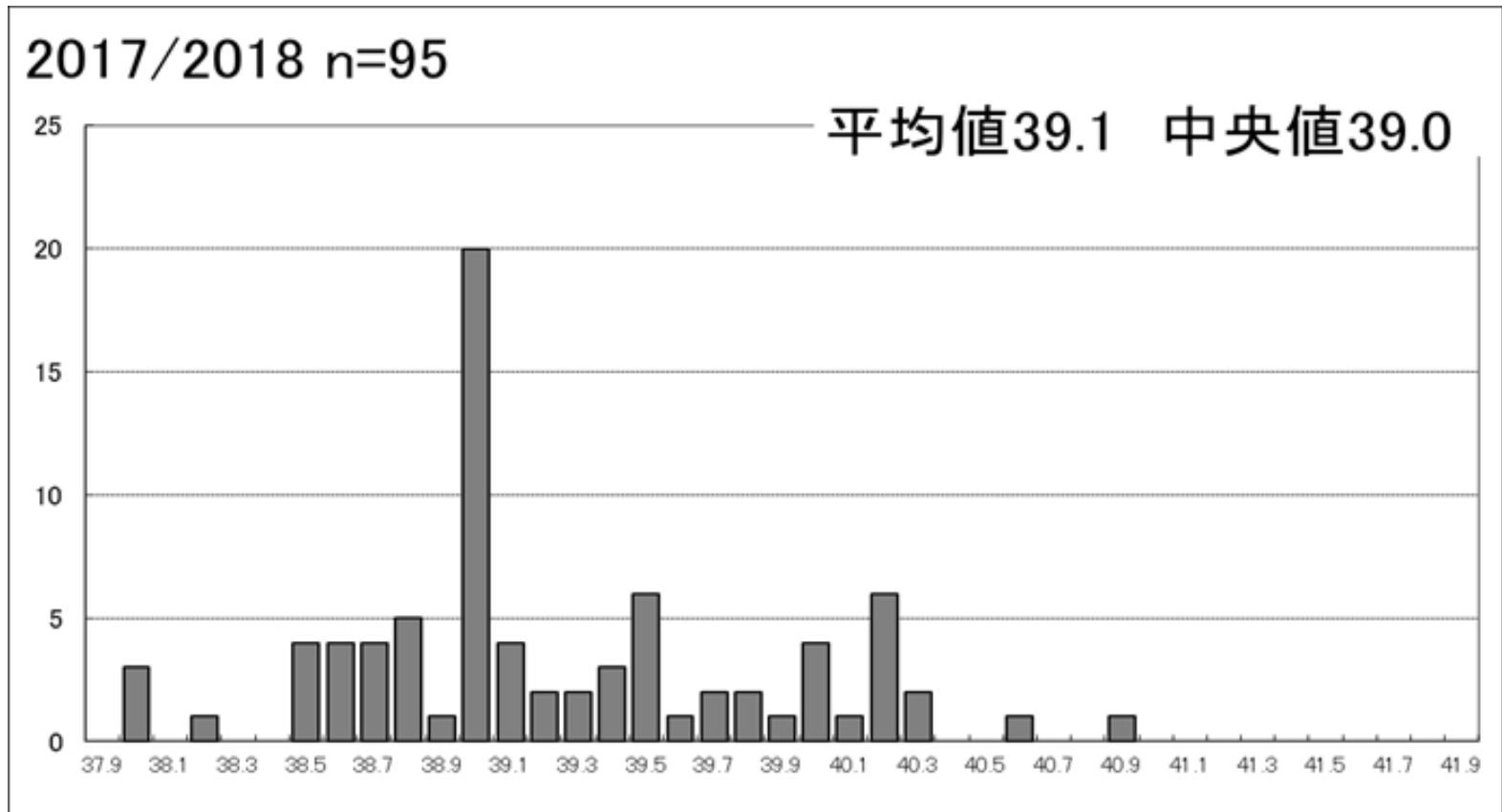
走り出し、飛び降りのみ

発現日	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)	n(%)
発熱後1日以内	14(35)	24(28.57)	33(23.7)	11(39.29)	14(28.57)	8(29.63)	18(31.03)	5(17.24)	10(28.57)	14(37.84)
2日目	19(47.5)	45(53.57)	75(55.56)	12(42.86)	28(57.14)	17(62.96)	33(56.9)	18(62.07)	15(42.86)	16(43.24)
3日目	6(15)	9(10.71)	24(17.78)	5(17.86)	2(4.08)	1(3.7)	5(8.62)	5(17.24)	9(25.71)	7(18.92)
4日目以降	1(2.5)	6(7.15)	4(2)	0(0)	5(10.2)	1(3.7)	2(3.45)	1(3.45)	1(2.86)	0(0)
	40(100)	84(100)	136(100)	28(100)	49(100)	27(100)	58(100)	29(100)	35(100)	37(100)

発熱後日数	薬剤の服用状況	タミフル服用				抗インフルエンザウイルス薬、アセトアミノフェン等の服用			
		なし		あり		なし		あり	
		重度	飛び降り・突然の走りだし	重度	飛び降り・突然の走りだし	重度	飛び降り・突然の走りだし	重度	飛び降り・突然の走りだし
発熱後1日以内		127 (31%)	73 (30%)	67 (22%)	36 (24%)	39 (48%)	25 (49%)	73 (25%)	40 (25%)
2日目		218 (53%)	131 (54%)	153 (51%)	79 (53%)	36 (44%)	23 (45%)	151 (51%)	84 (52%)
3日目		52 (13%)	32 (13%)	54 (18%)	26 (18%)	5 (6%)	2 (4%)	52 (18%)	31 (19%)
4日目		12 (3%)	7 (4%)	18 (5%)	2 (2%)	1 (0%)	1 (0%)	15 (4%)	4 (2%)
5日目		0 (0%)	0 (0%)	7 (2%)	3 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (1%)	3 (2%)
6日目以降		2 (1%)	1 (0%)	3 (1%)	2 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (1%)	1 (1%)

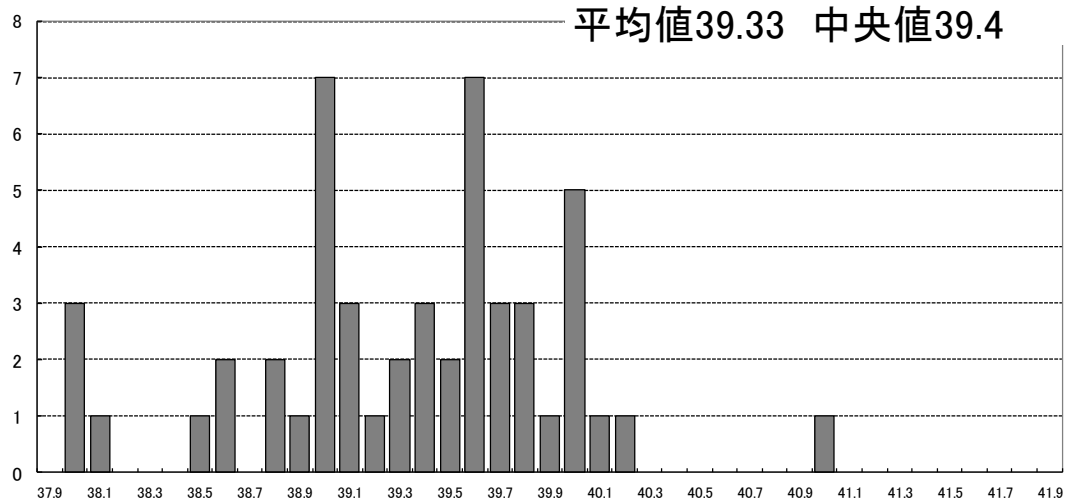


# 图5-1.最高体温

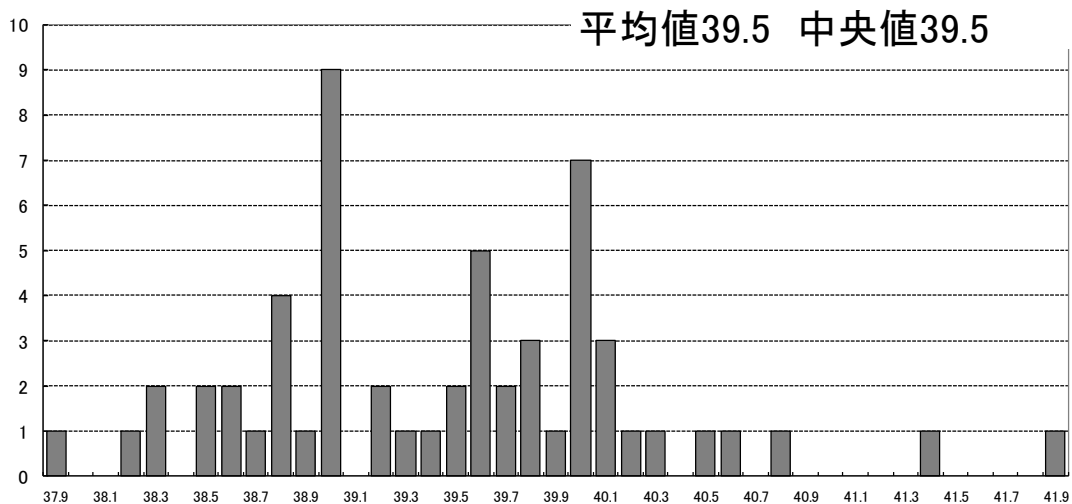


# 図5-2.最高体温

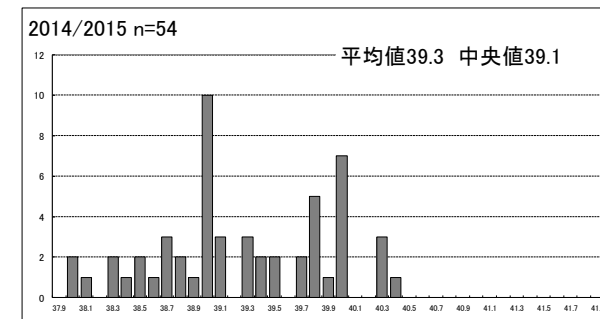
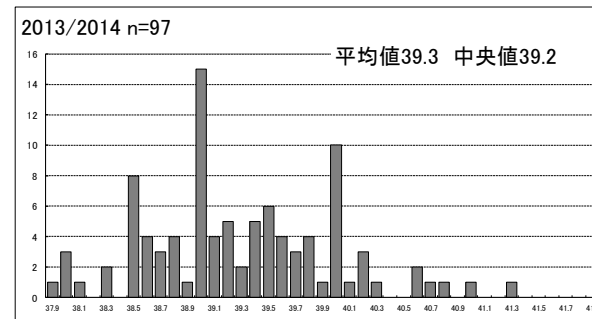
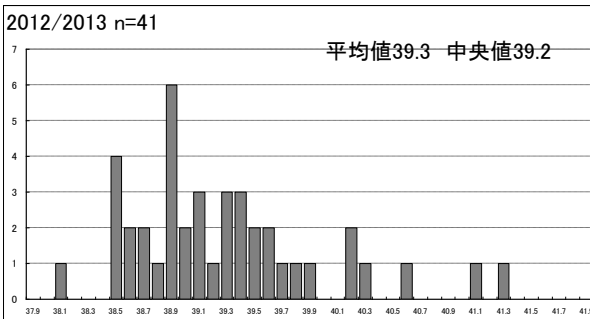
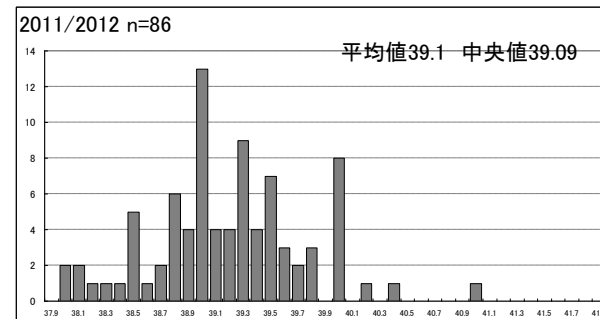
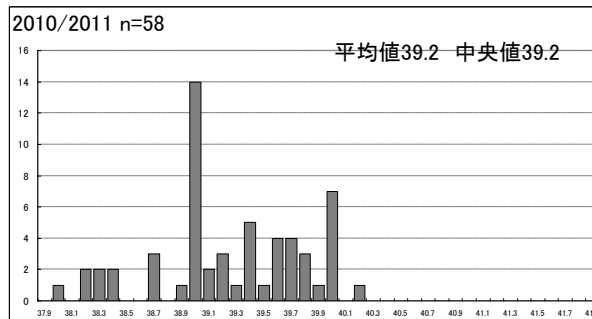
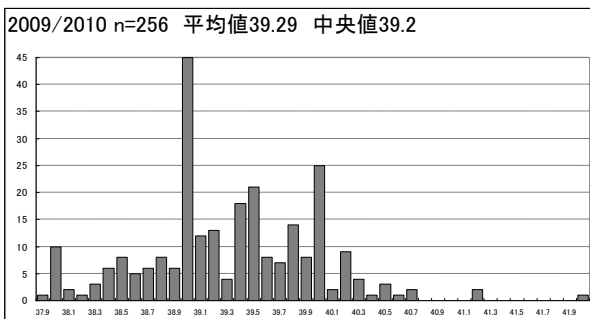
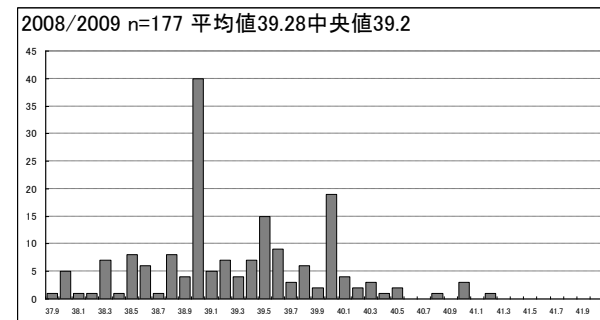
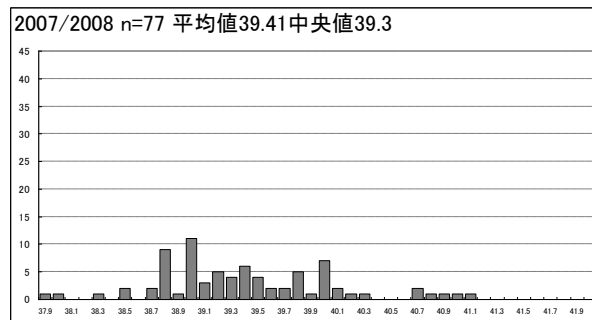
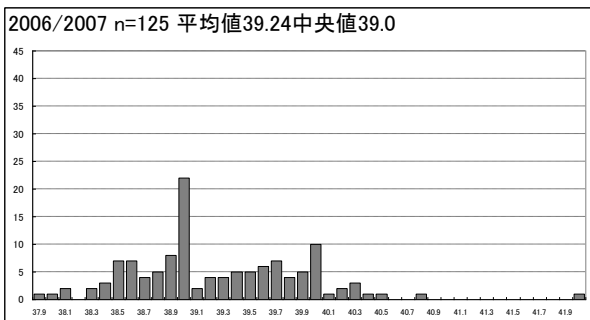
2016/2017 n=50



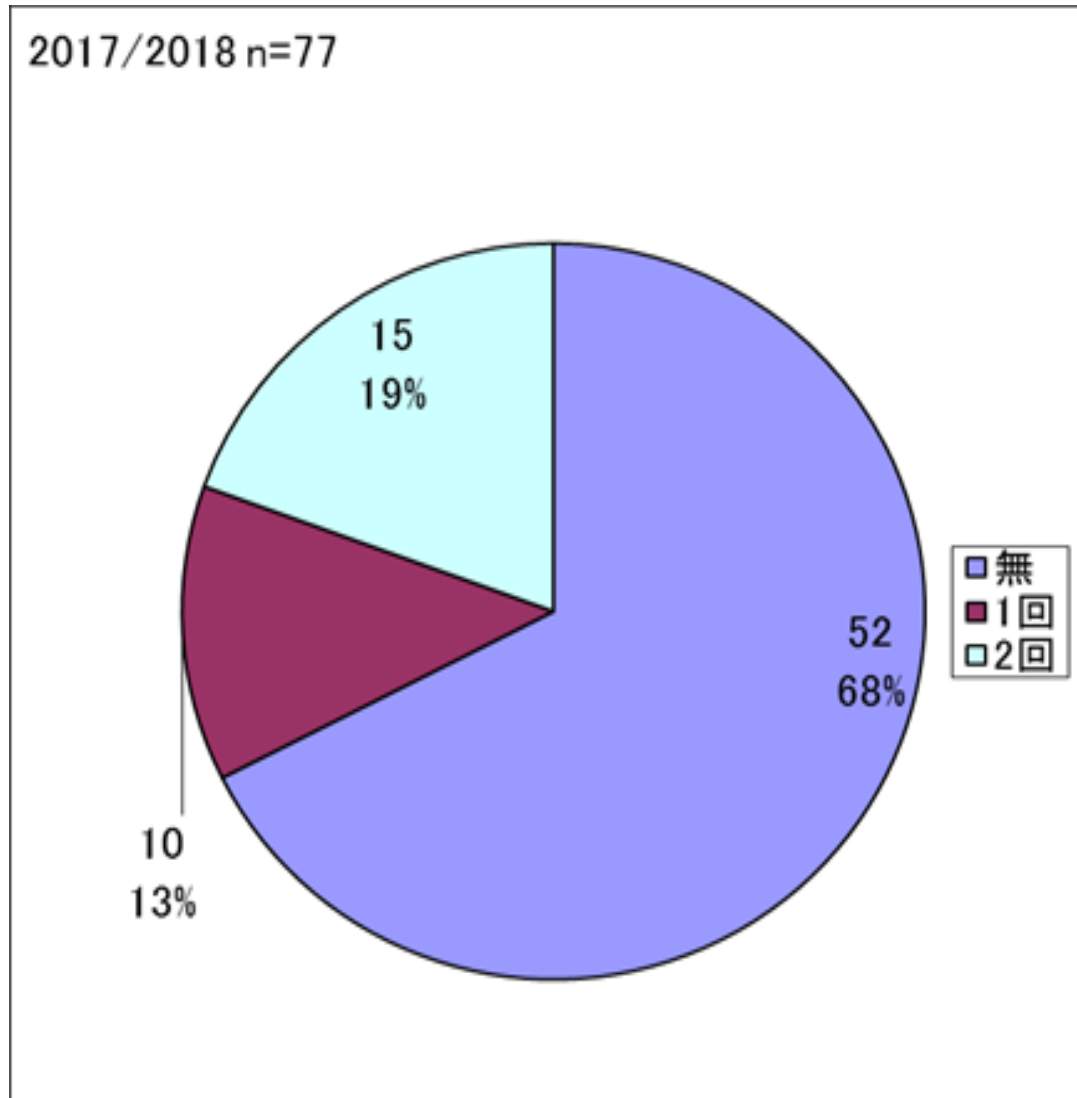
2015/2016 n=57



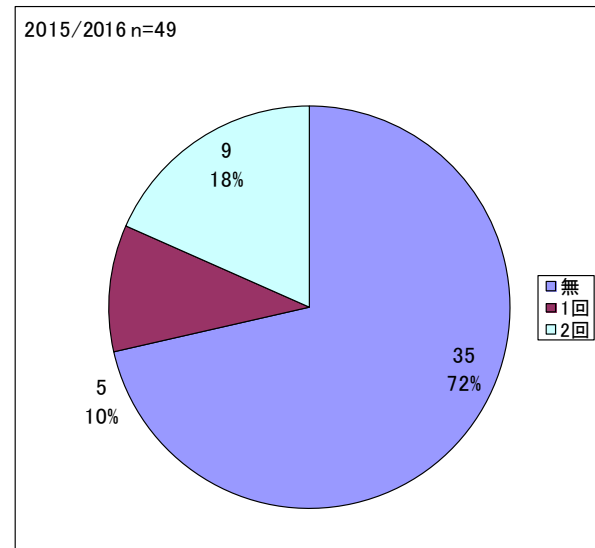
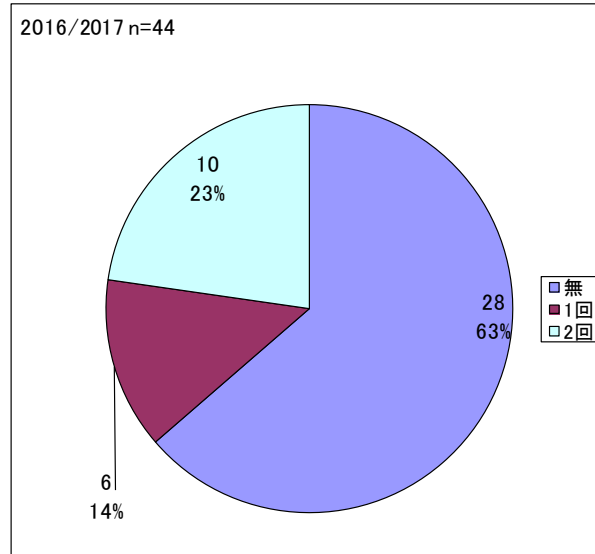
# 图5-3.最高体温



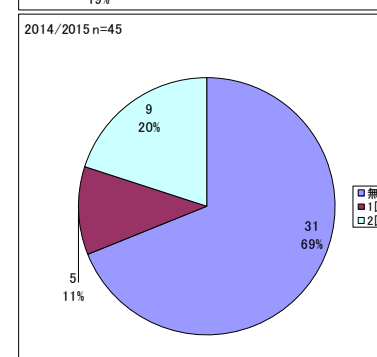
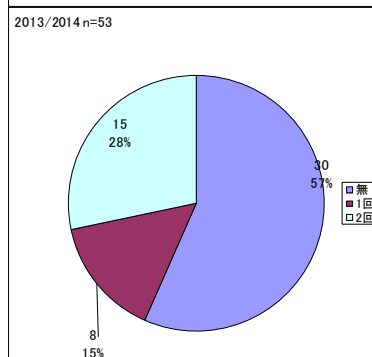
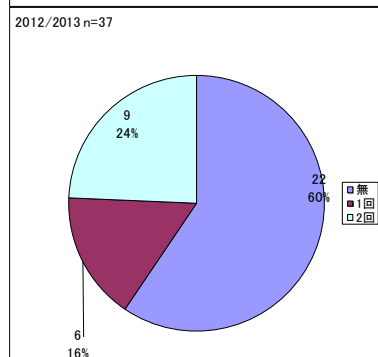
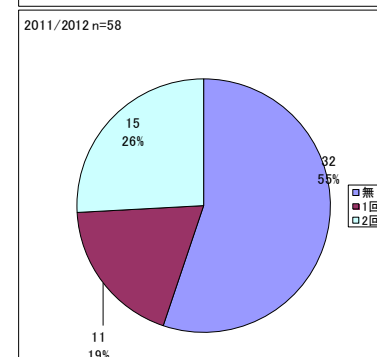
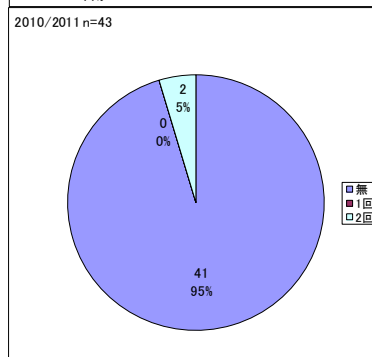
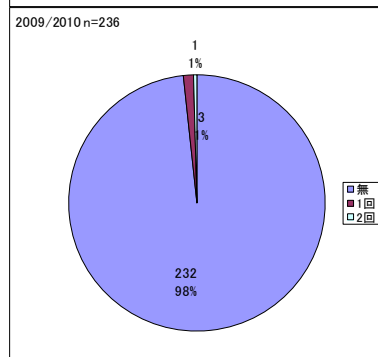
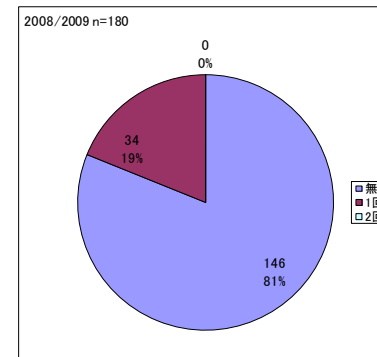
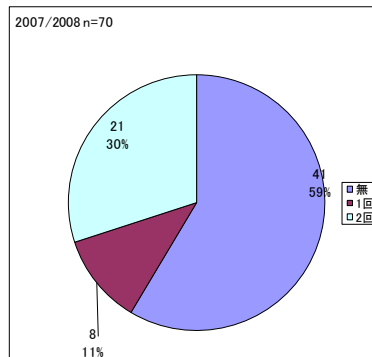
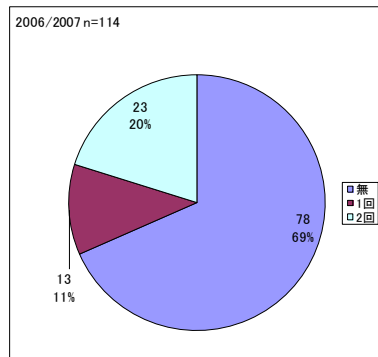
# 図6-1. ワクチン接種の有無



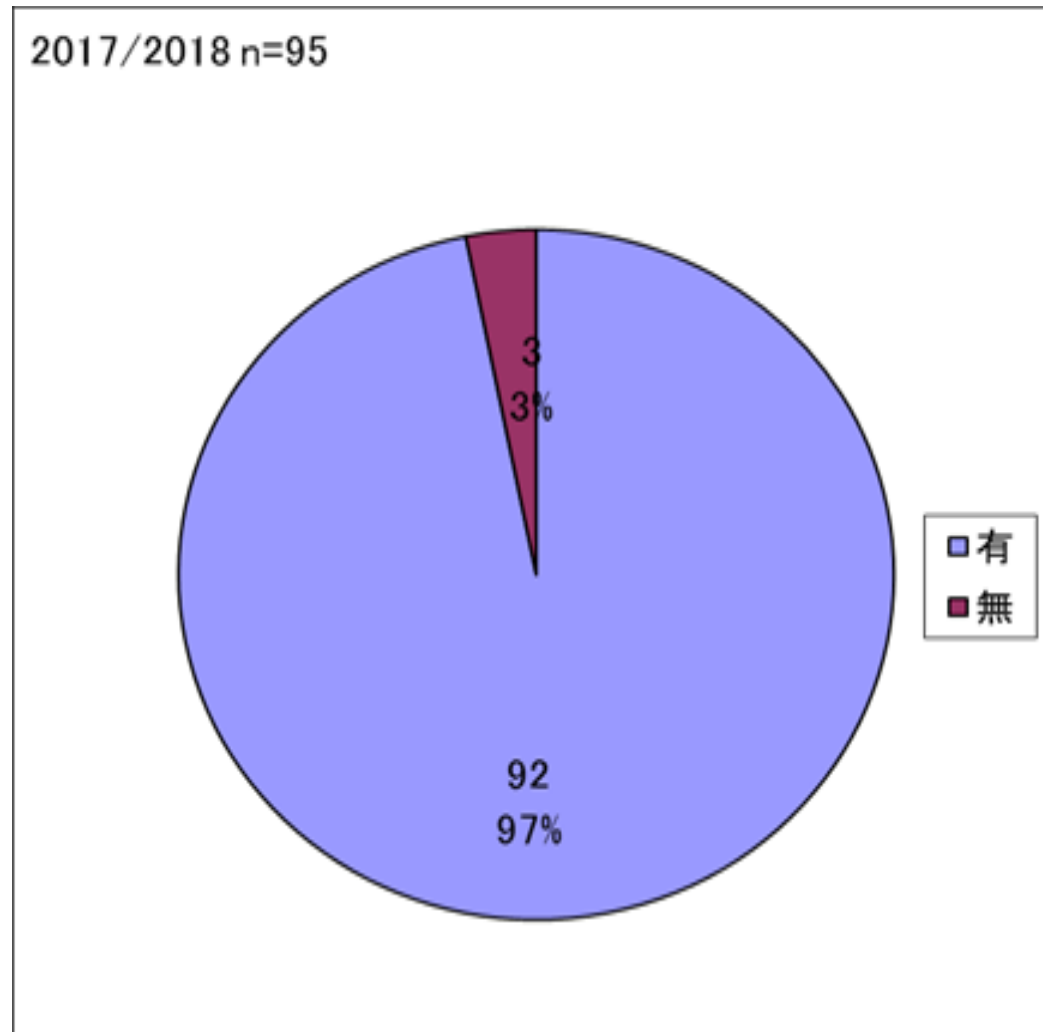
# 図6-2. ワクチン接種の有無



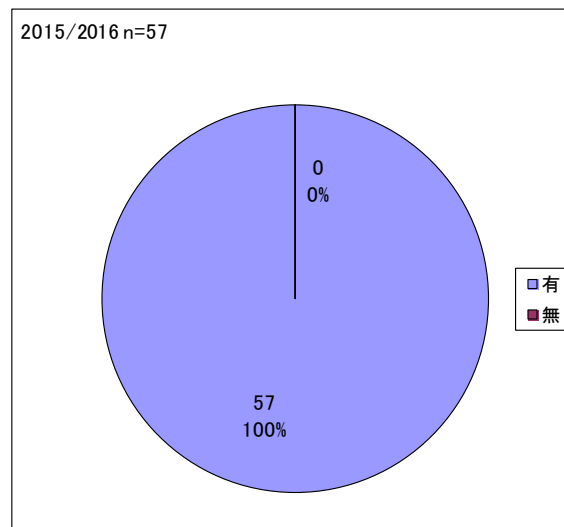
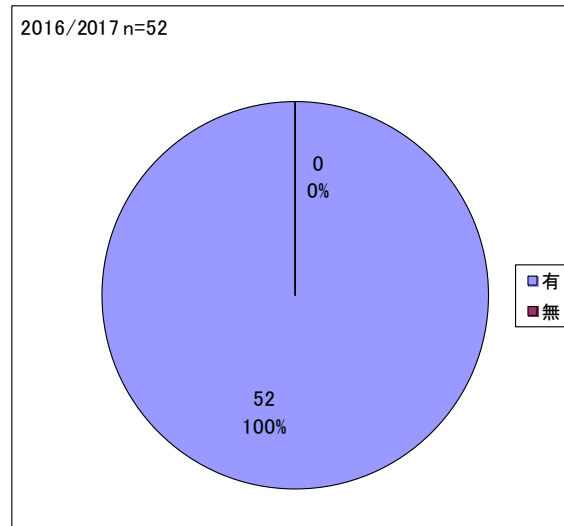
# 図6-3. ワクチン接種の有無



# 図7-1.インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無

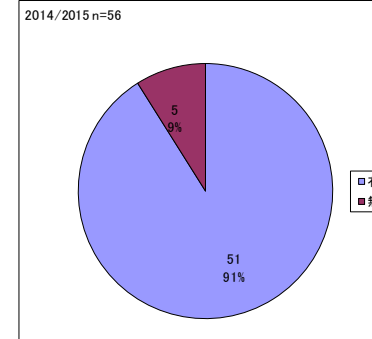
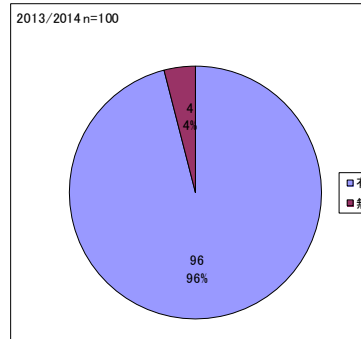
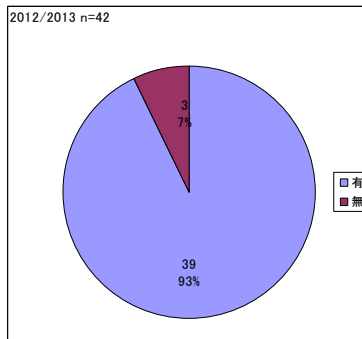
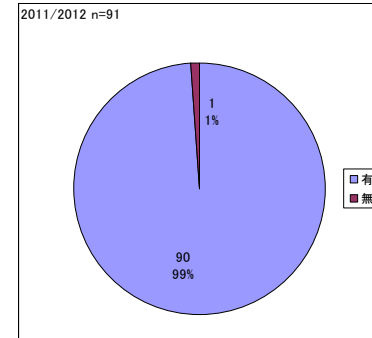
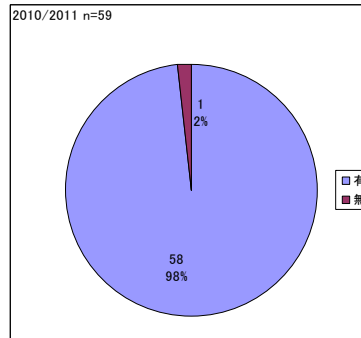
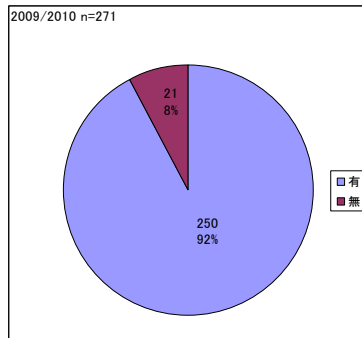
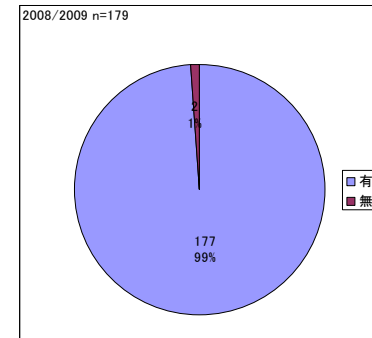
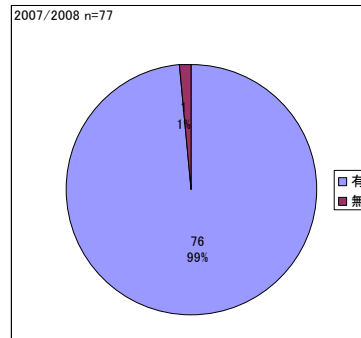
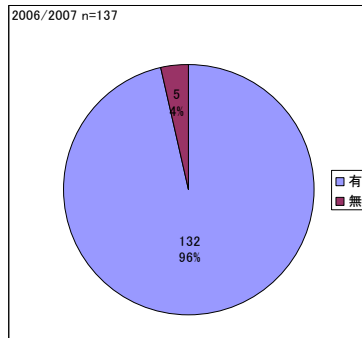


# 図7-2.インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無

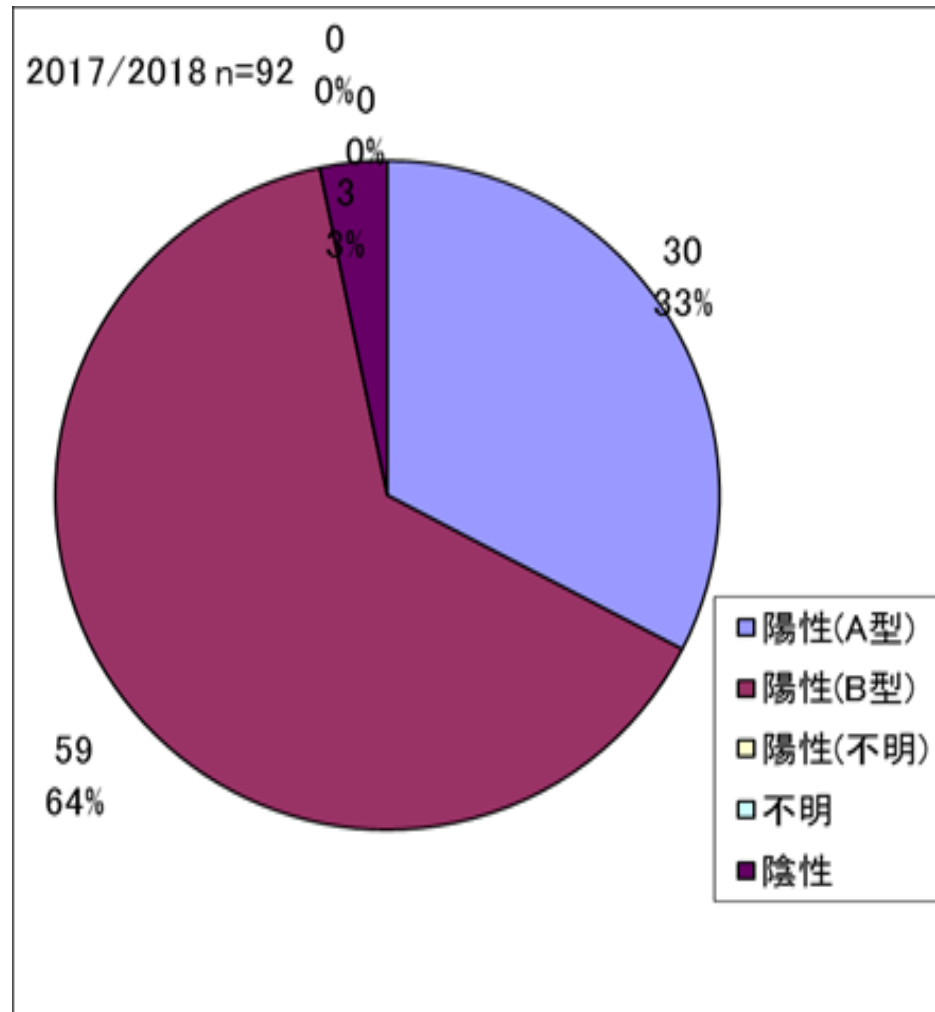




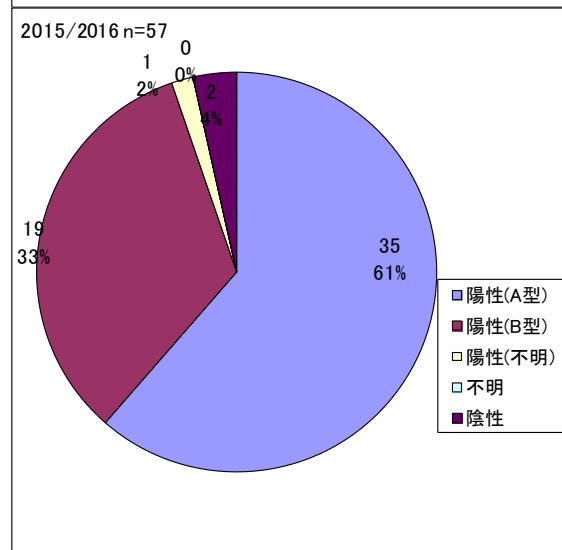
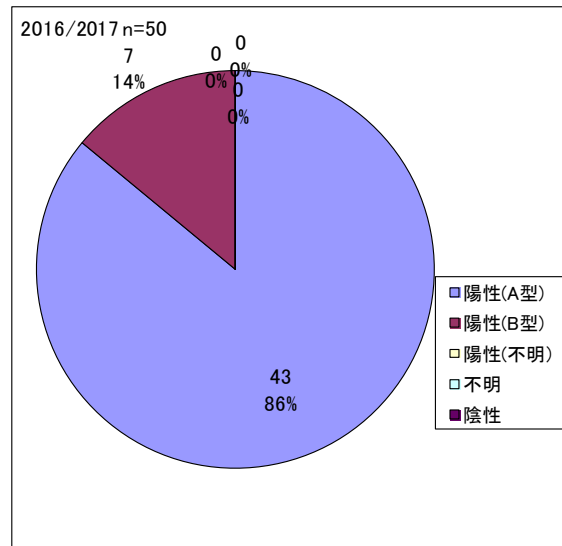
# 図7-3. インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無



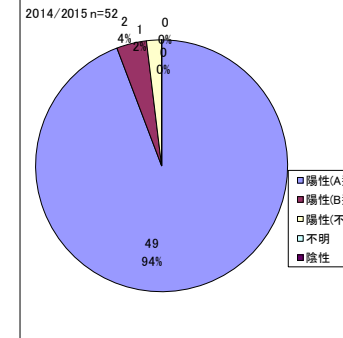
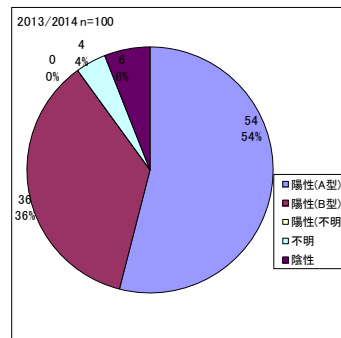
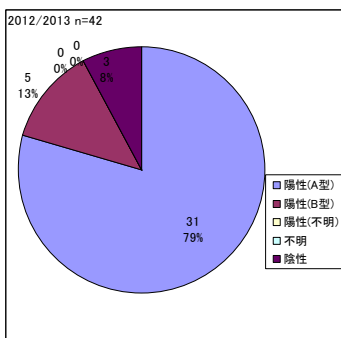
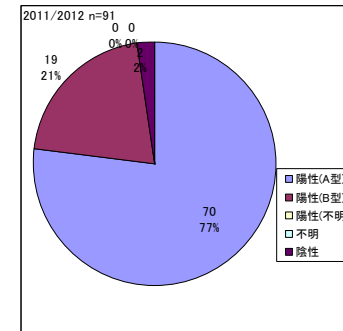
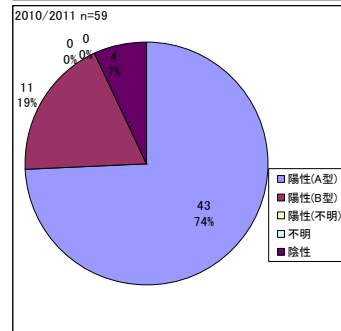
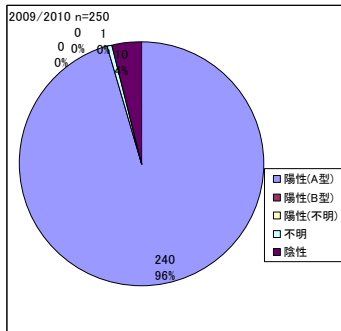
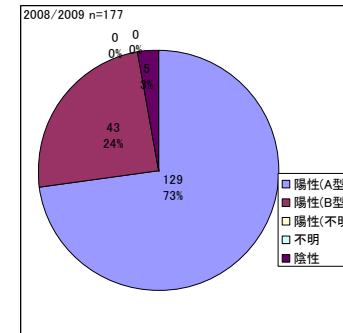
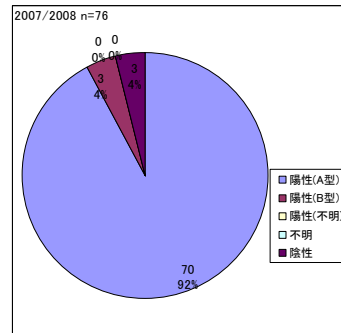
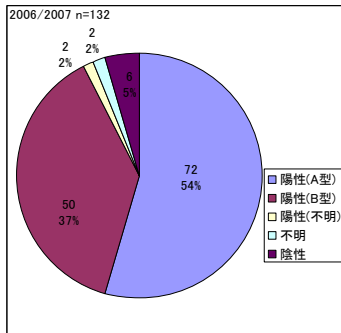
# 図8-1.迅速診断キットによる 検査結果



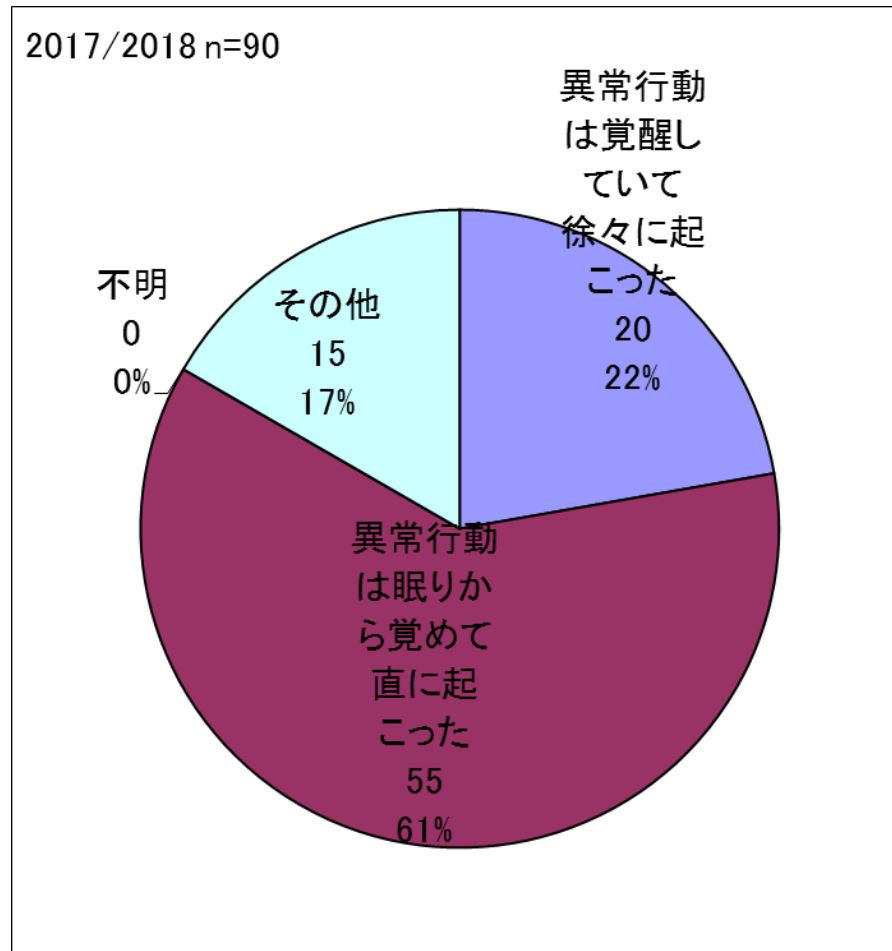
# 図8-2.迅速診断キットによる 検査結果



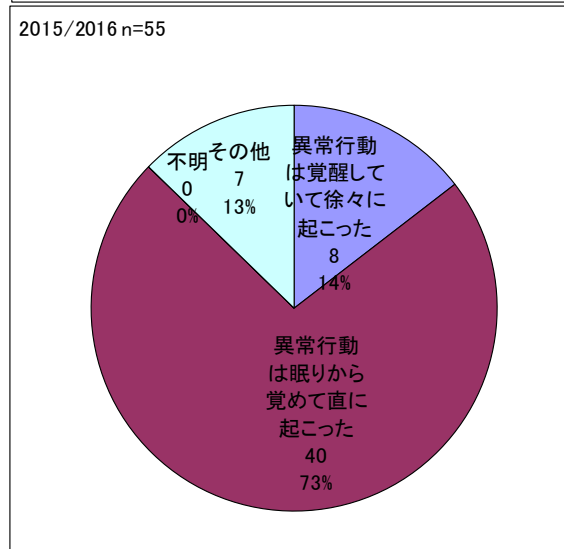
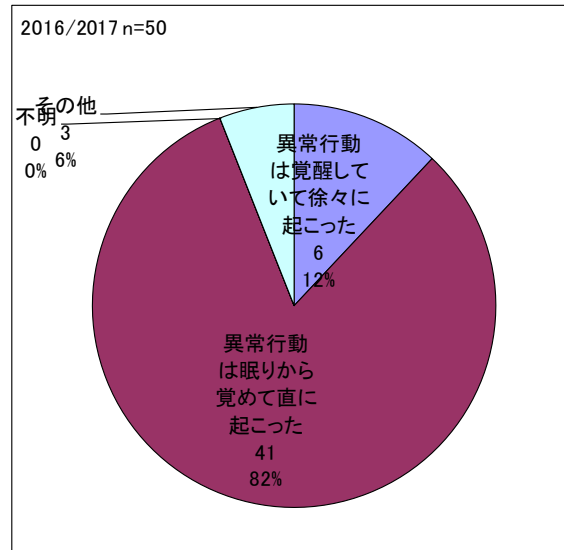
# 図8-3.迅速診断キットによる検査結果



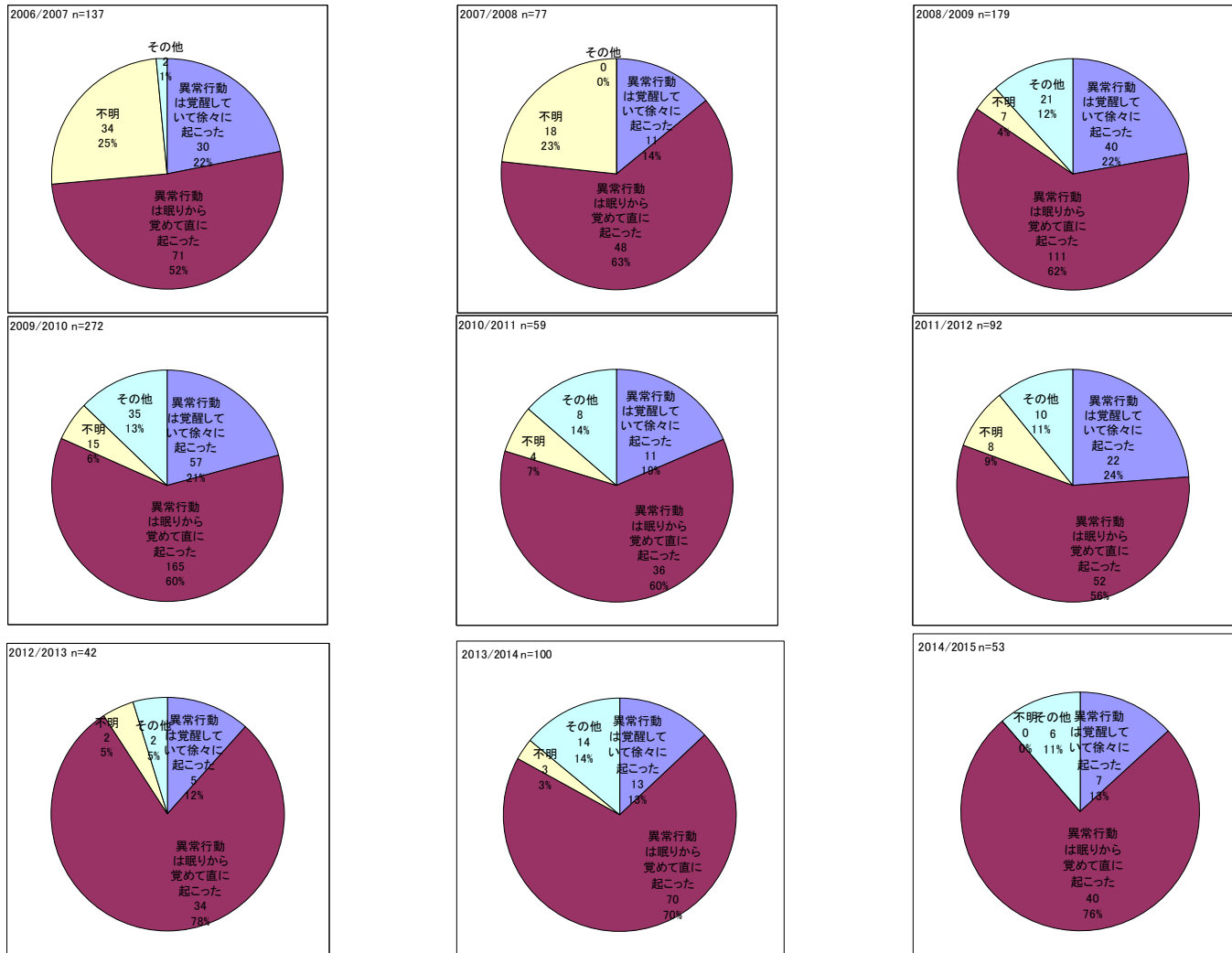
# 図9-1.異常行動と睡眠の関係



# 図9-2.異常行動と睡眠の関係



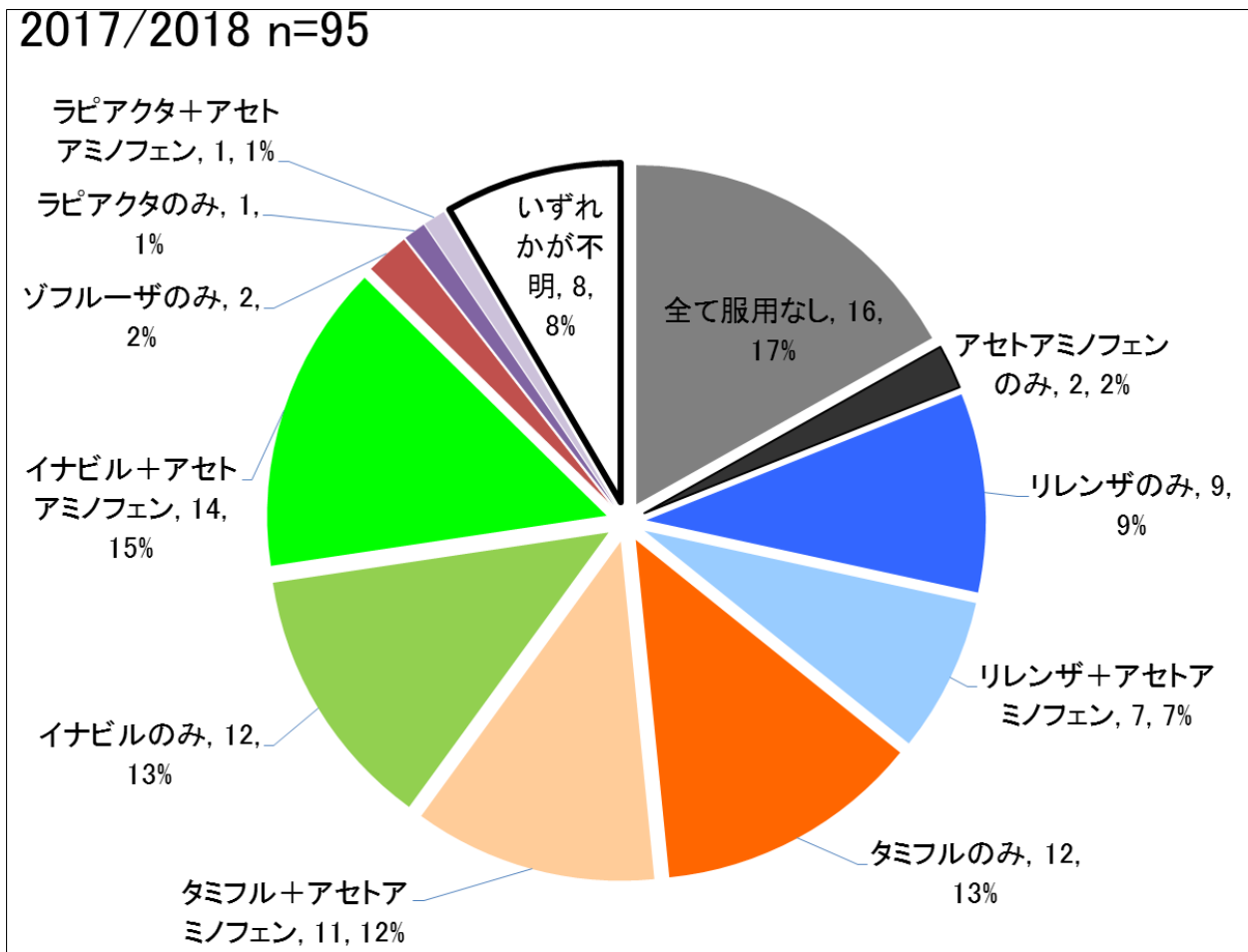
# 図9-3.異常行動と睡眠の関係



# 図10-1.服用した薬の組み合わせ

(重度の異常な行動すべて：

①突然走り出す・②飛び降り・③その他)

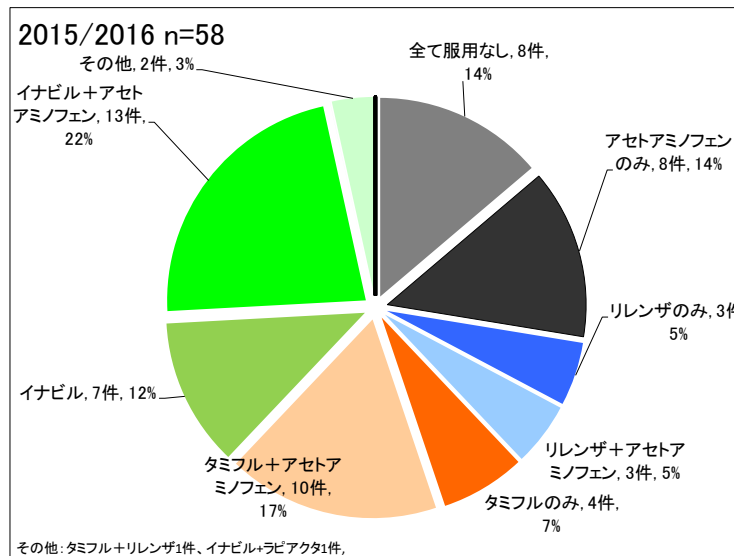
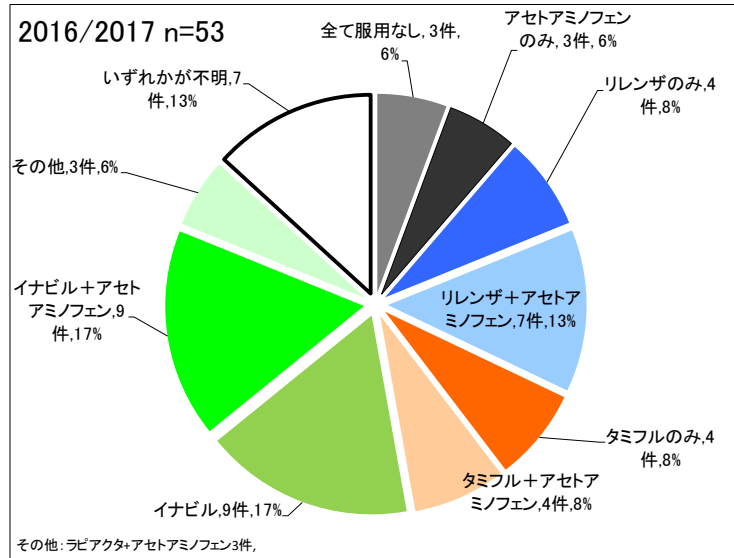




# 図10-2服用した薬の組み合わせ

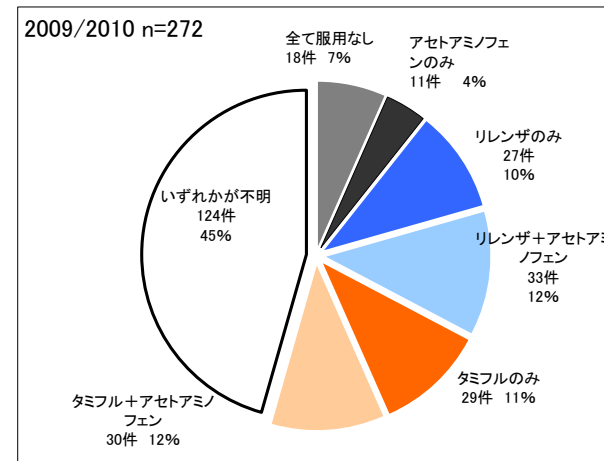
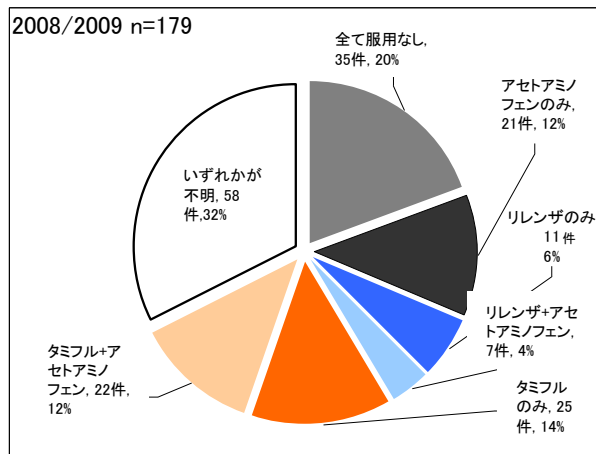
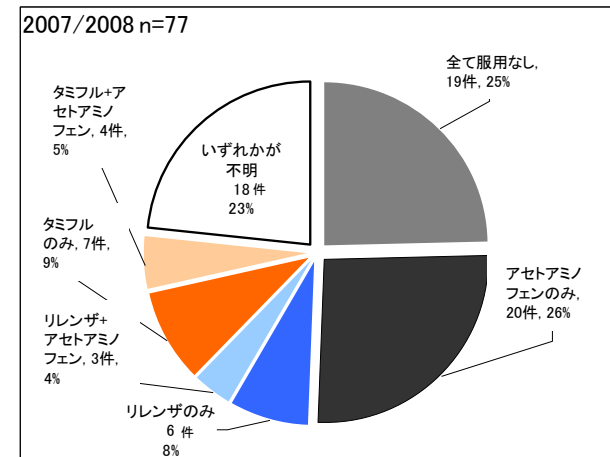
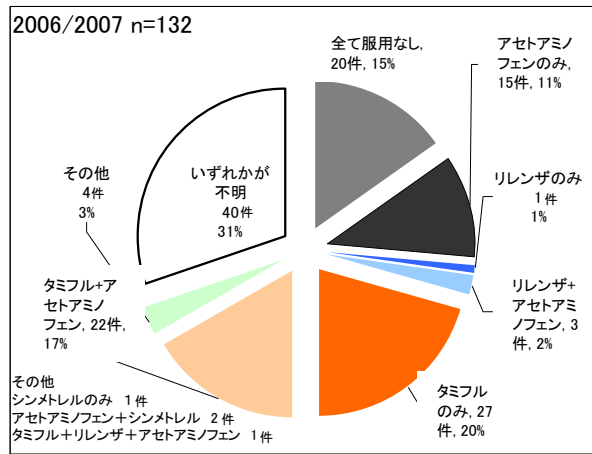
(重度の異常な行動すべて：

①突然走り出す・②飛び降り・③その他)



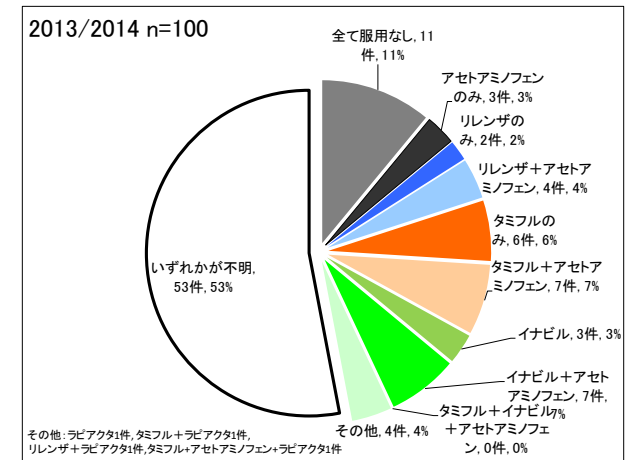
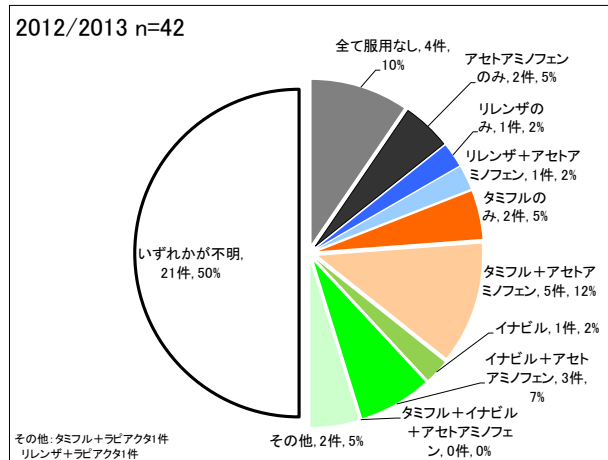
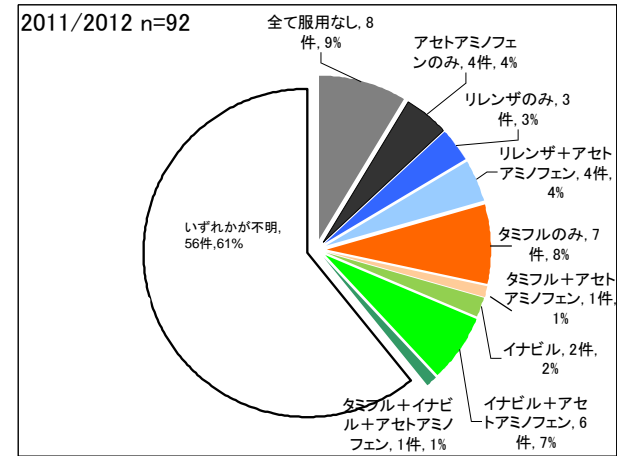
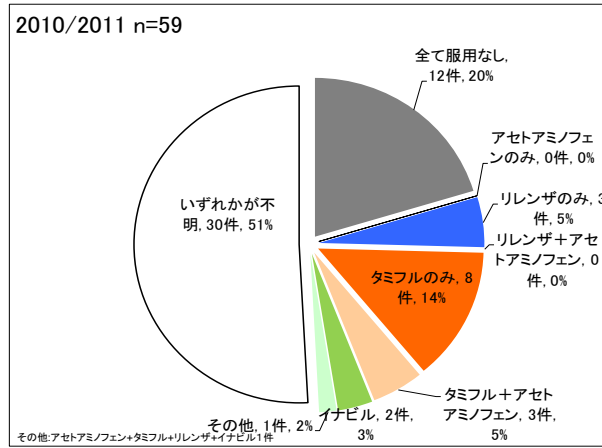
# 図10-3.服用した薬の組み合わせ (重度の異常な行動すべて：

①突然走り出す・②飛び降り・③その他)



# 図10-4.服用した薬の組み合わせ (重度の異常な行動すべて：

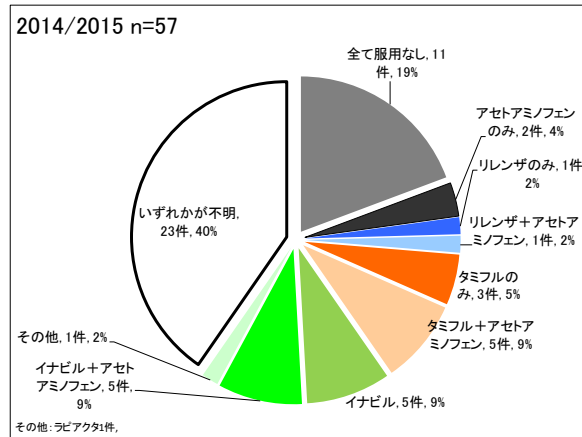
①突然走り出す・②飛び降り・③その他)



注:タミフル、シンメトレル、リレンザ、アセトアミノフェン、ラビアクタ(2009/2010以降のみ)、イナビル(2010/2011以降のみ)、テオフィリン(2012/2013以降のみ)の7剤の服用の有無が明らかな症例についての内訳。7剤のうち一部の薬剤服用があっても、他の調査薬剤の服用状況が不明な症例は「いづれかが不明」に分類。

# 図10-5.服用した薬の組み合わせ (重度の異常な行動すべて：

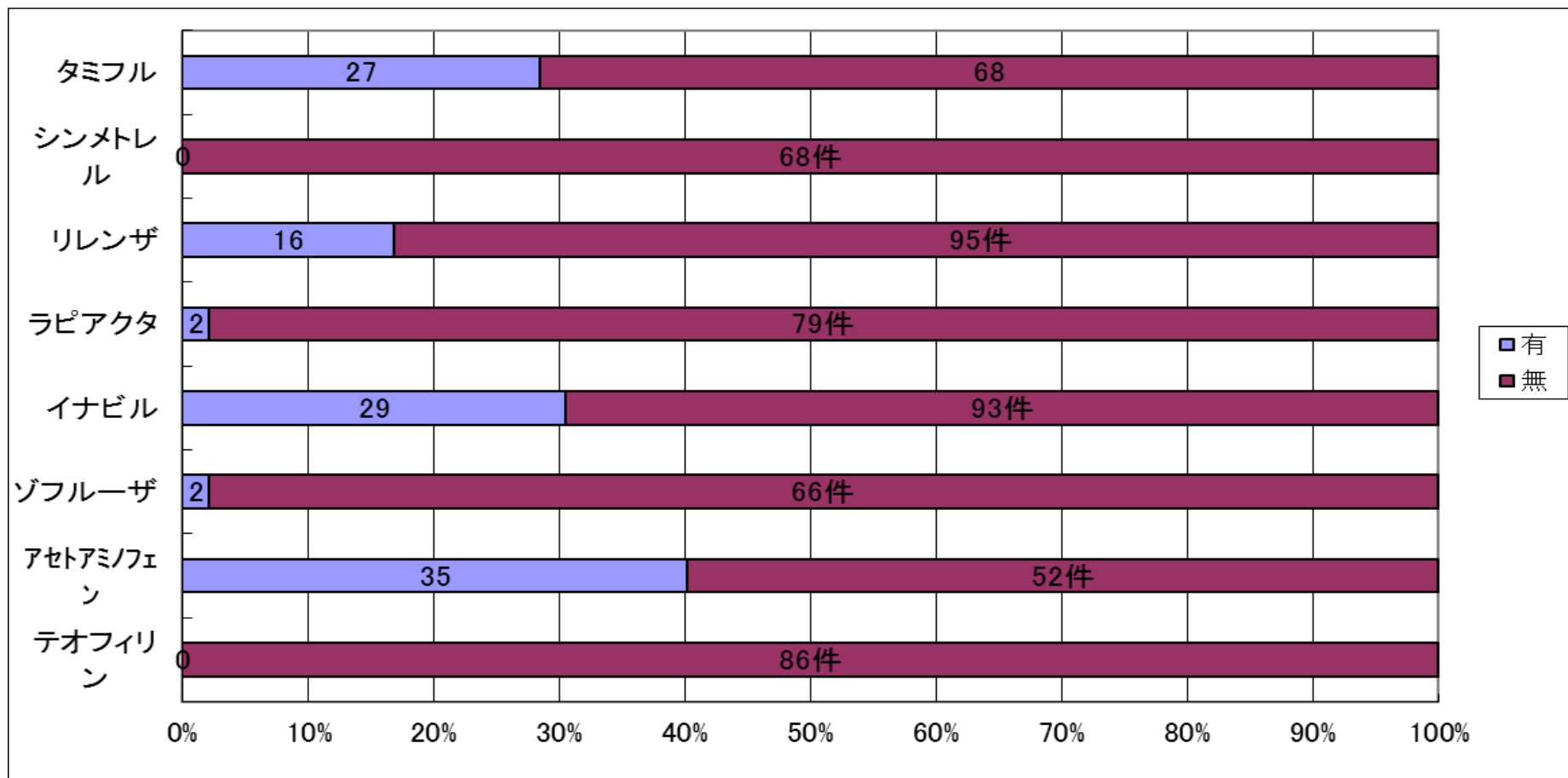
①突然走り出す・②飛び降り・③その他)



# 図10-7.薬の服用の有無

当該薬剤の服用状況が明らかな者の内、服用した者の割合（他の薬剤の服用状況は考慮せず）

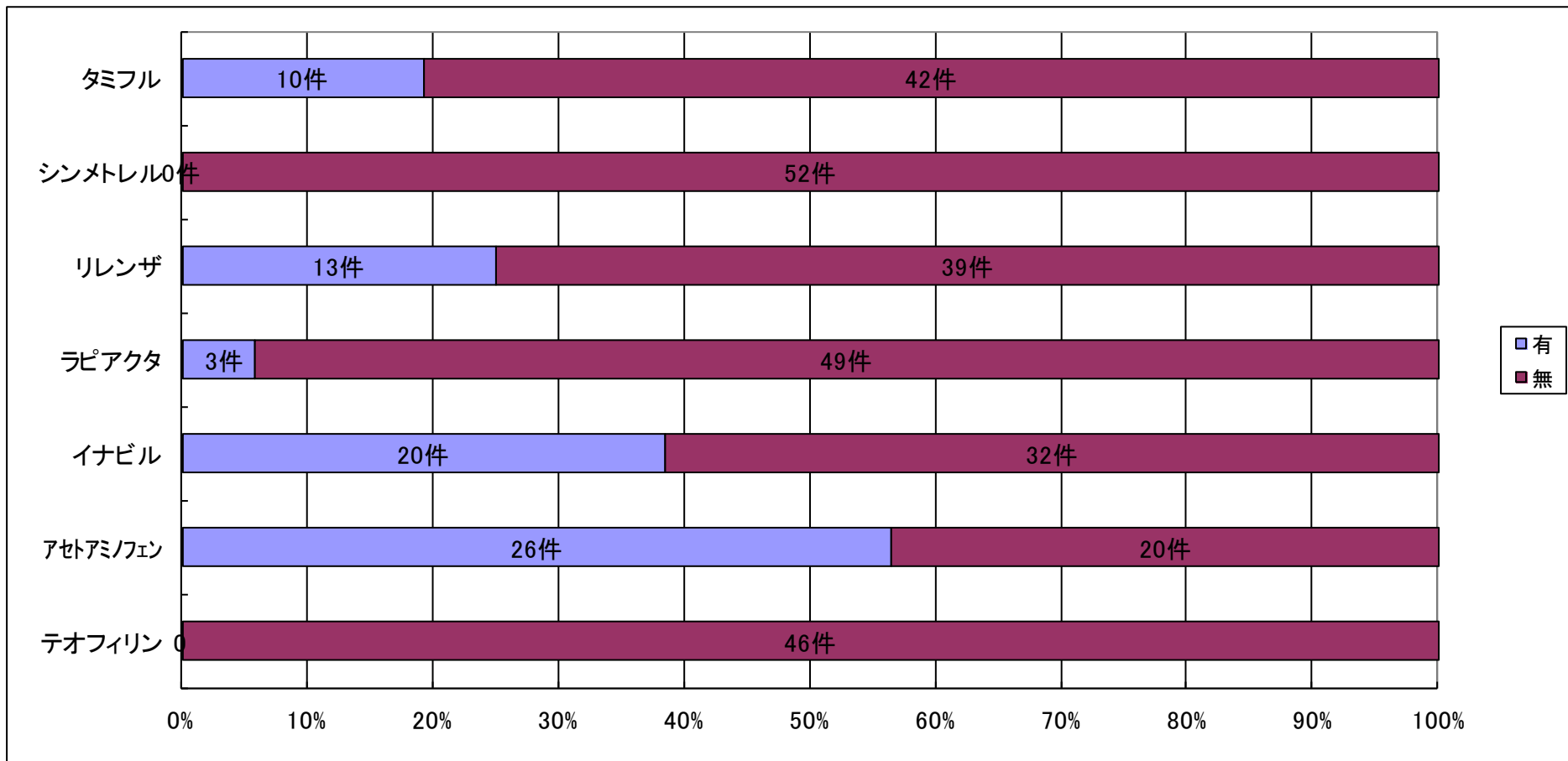
2017/2018



# 図10-7.薬の服用の有無

当該薬剤の服用状況が明らかな者の内、服用した者の割合（他の薬剤の服用状況は考慮せず）

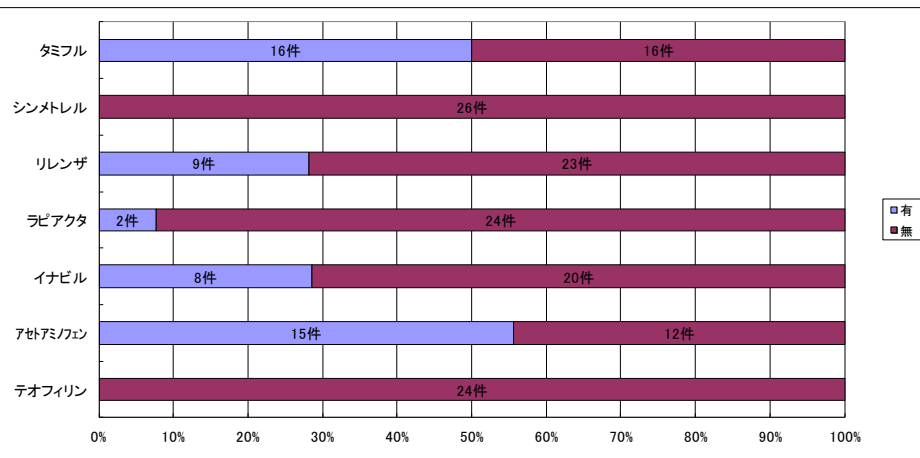
2016/2017



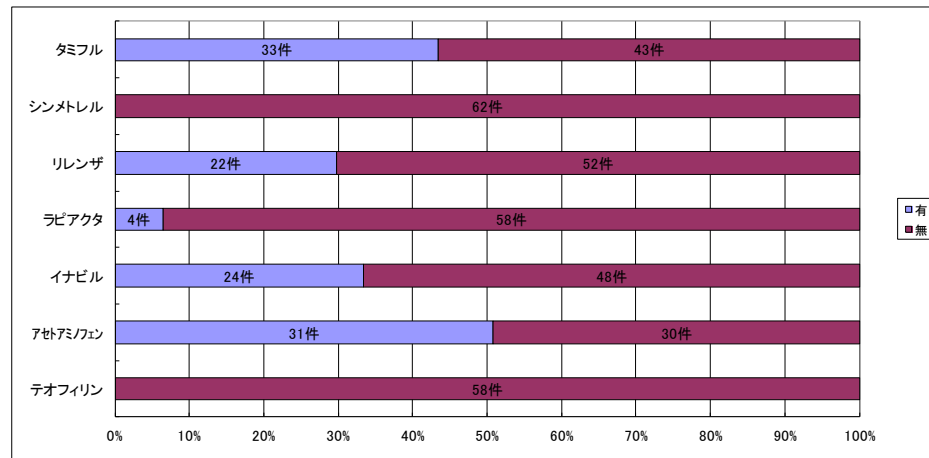
# 図10-8.薬の服用の有無

当該薬剤の服用状況が明らかな者の内、服用した者の割合（他の薬剤の服用状況は考慮せず）

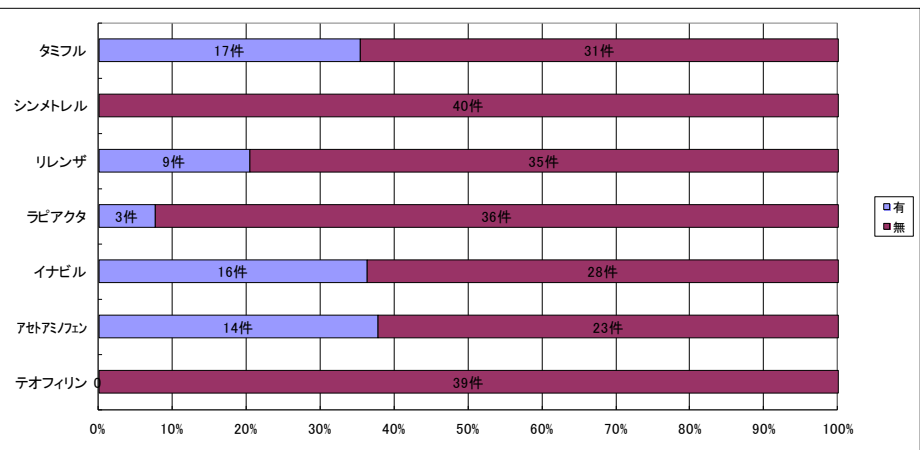
2012/2013



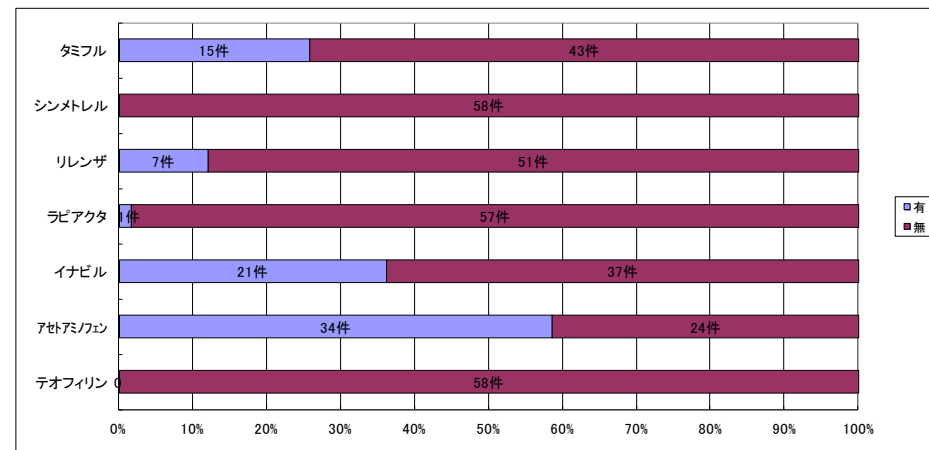
2013/2014



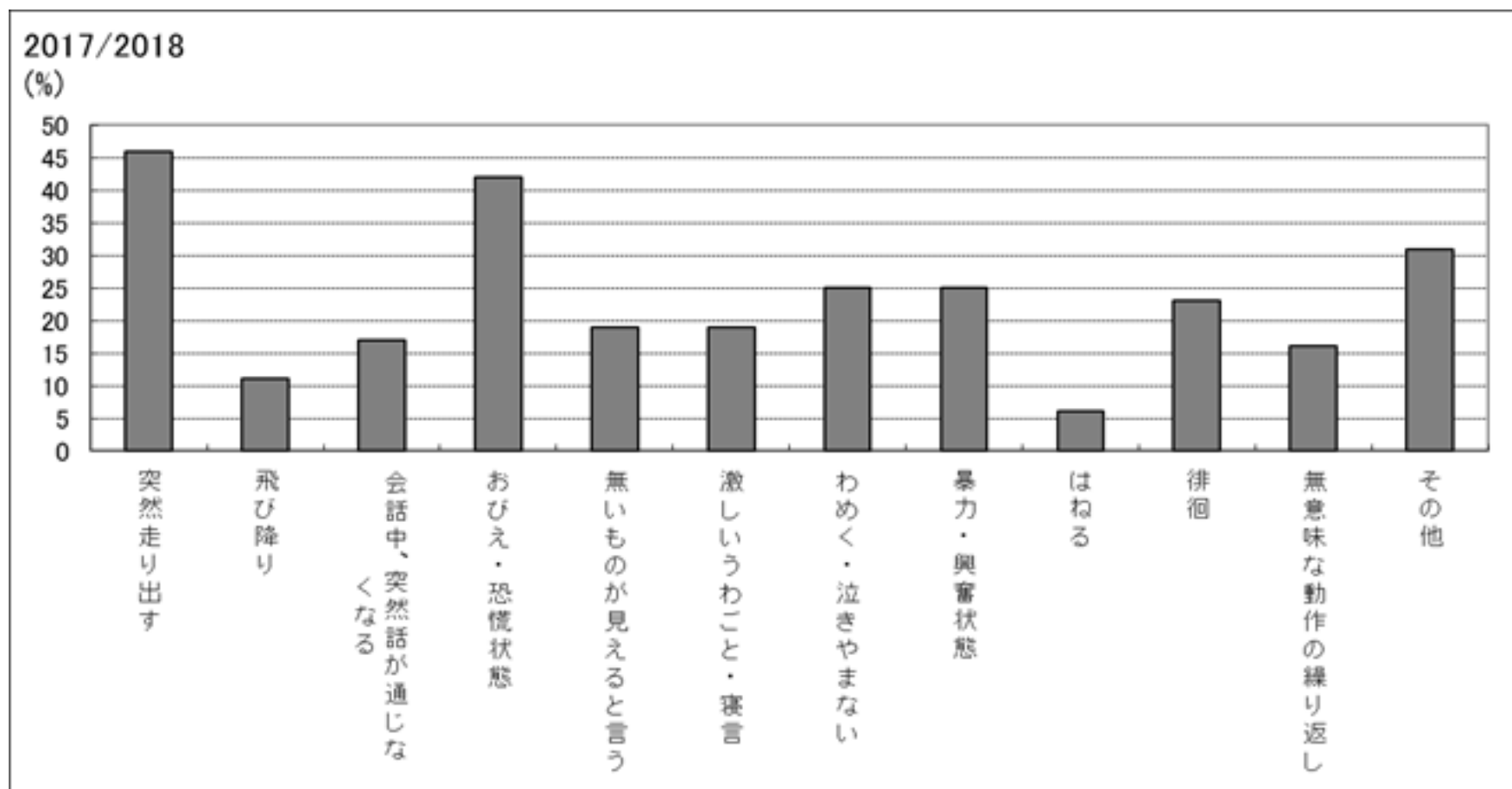
2014/2015



2015/2016

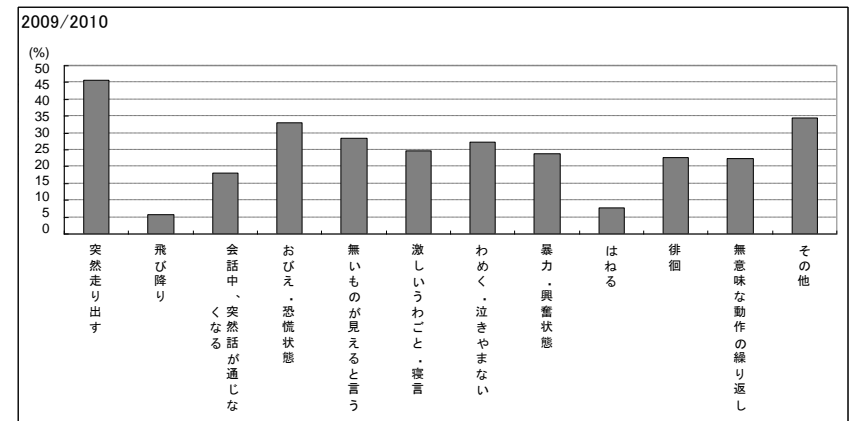
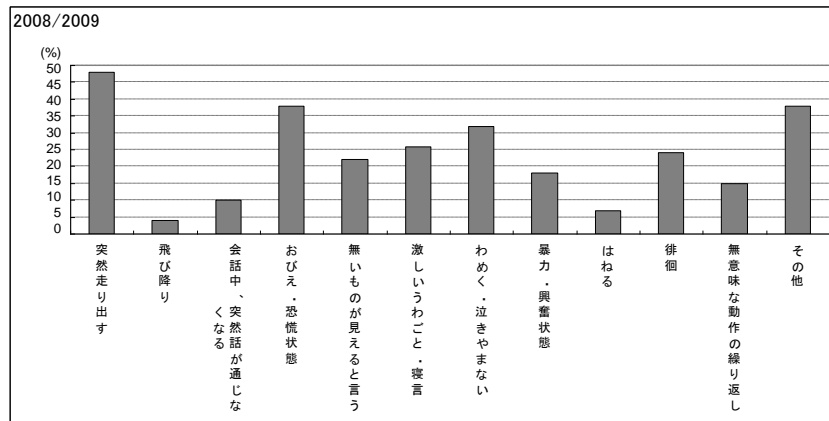
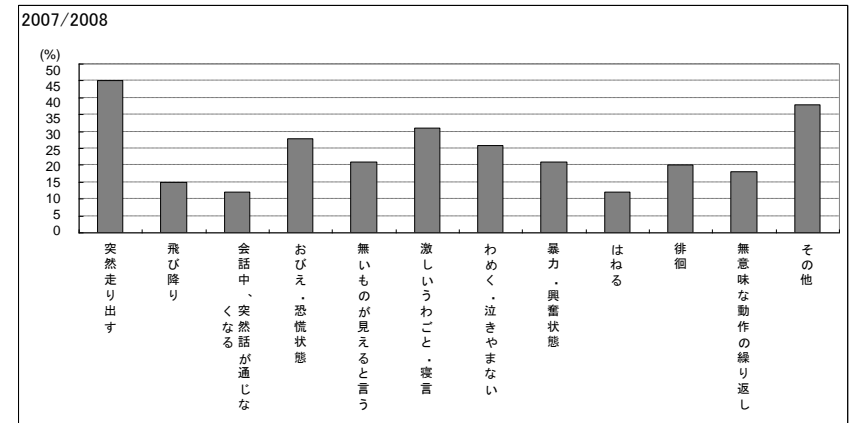
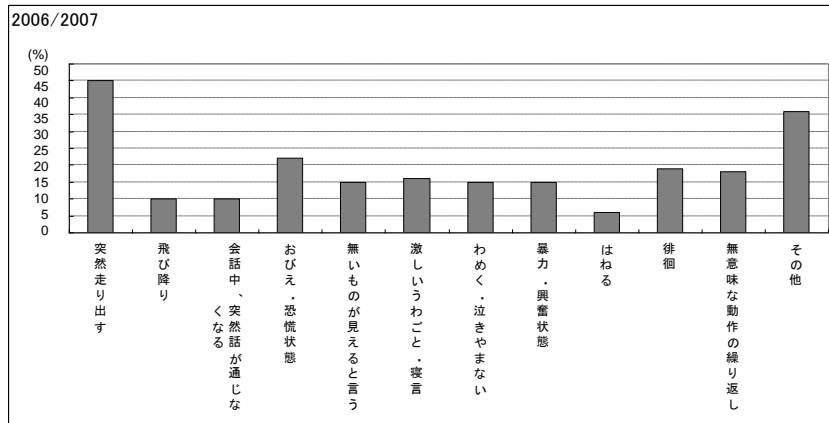


# 図11-1.異常行動の分類(複数回答)

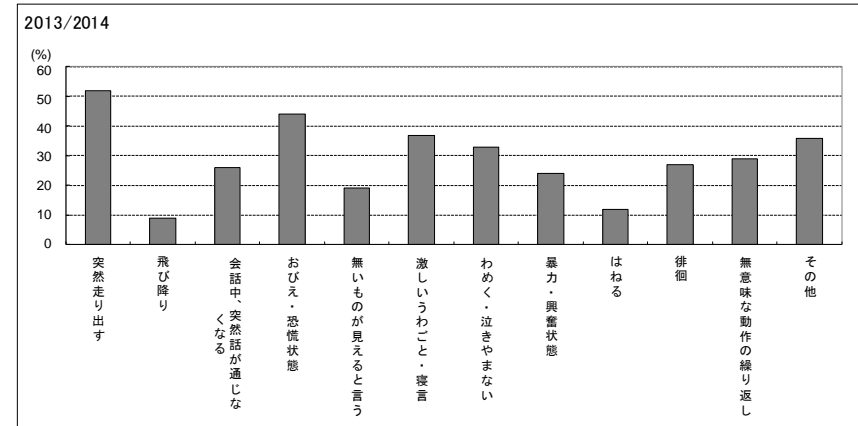
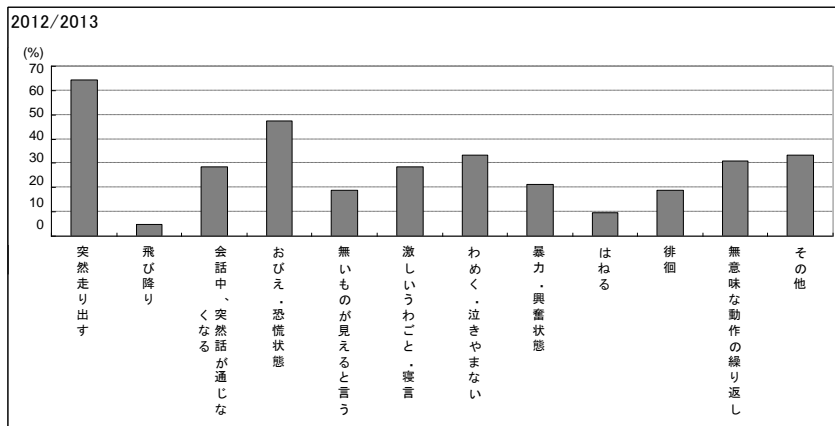
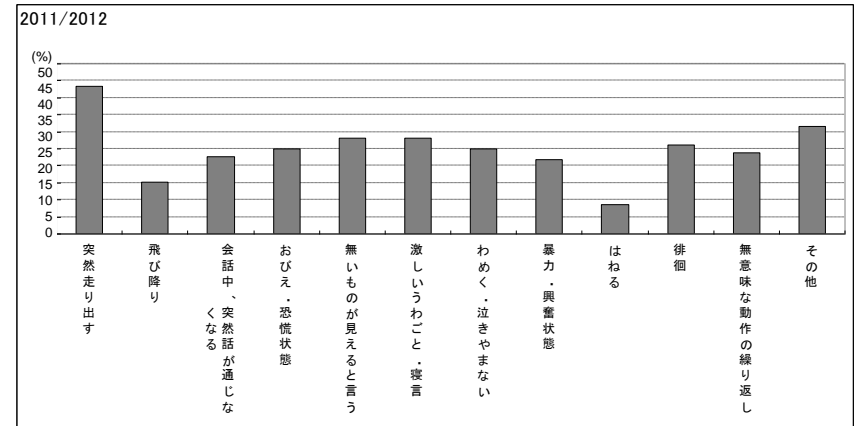
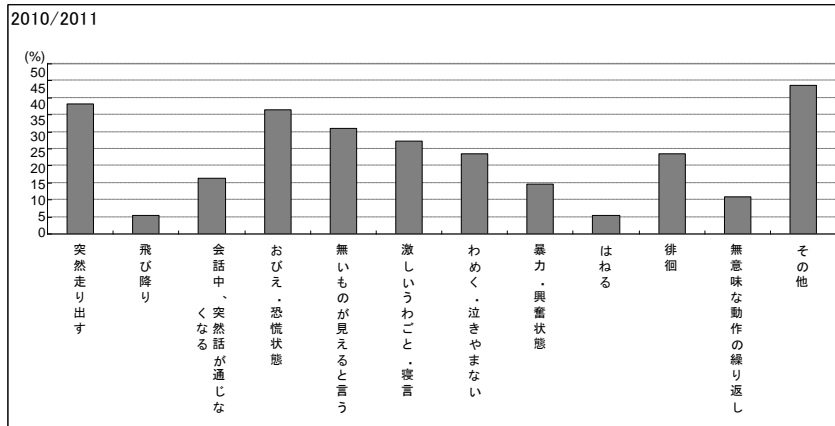




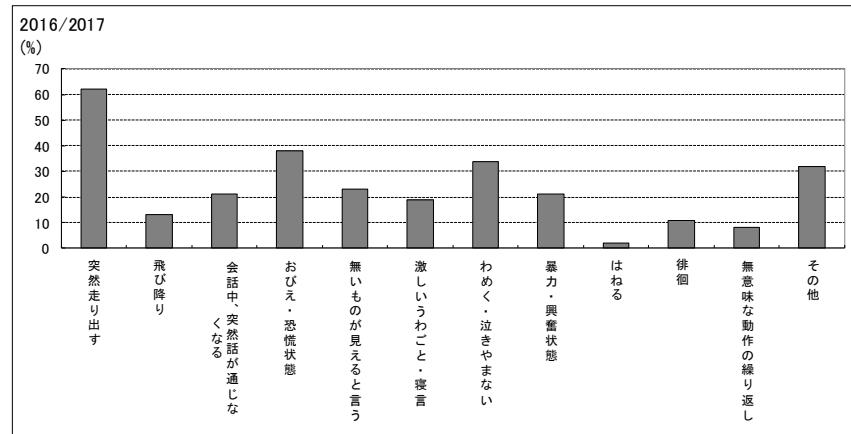
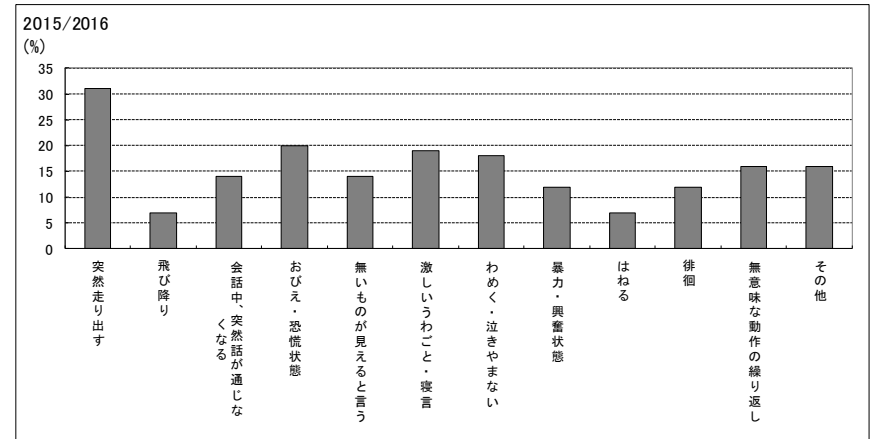
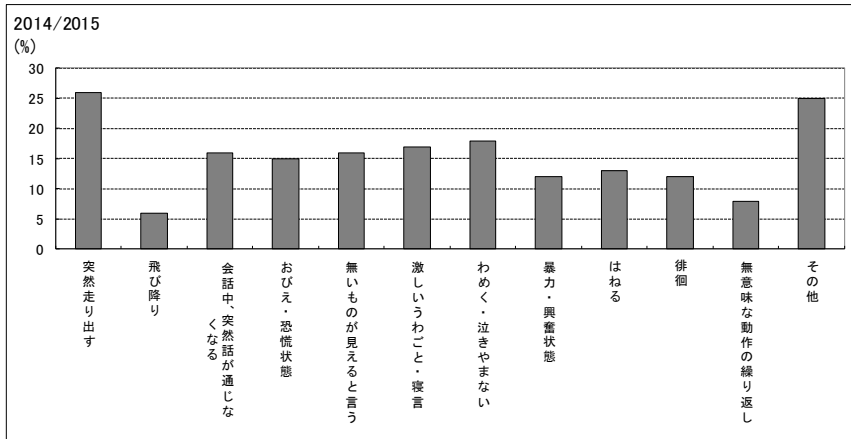
# 図11-2.異常行動の分類(複数回答)



# 図11-3.異常行動の分類(複数回答)

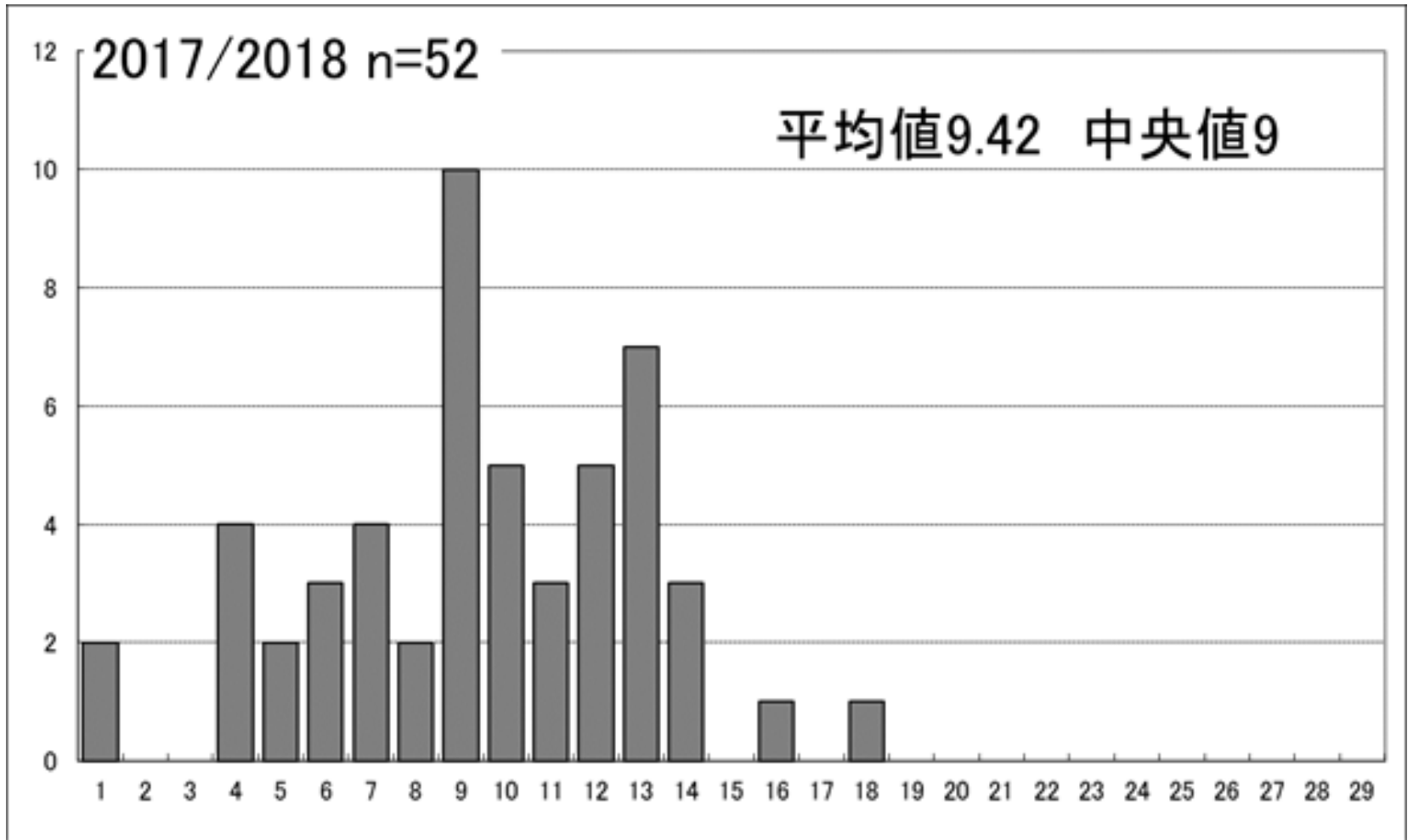


# 図11-4.異常行動の分類(複数回答)

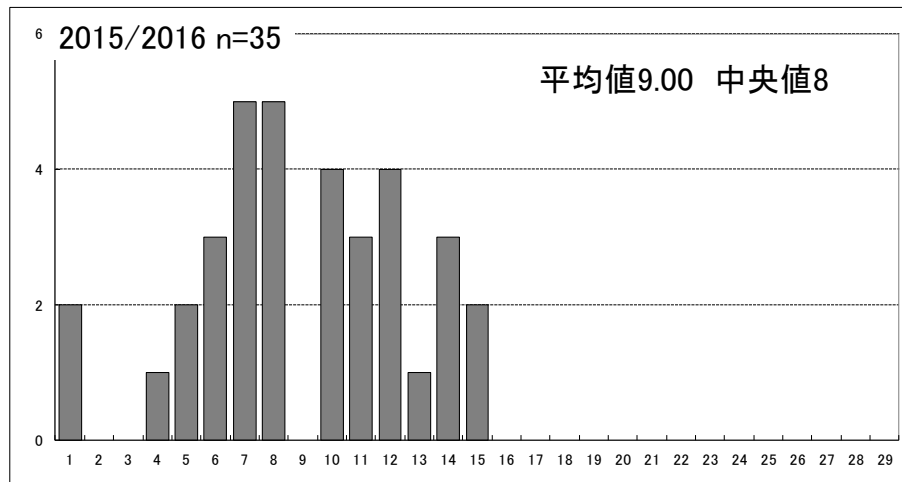
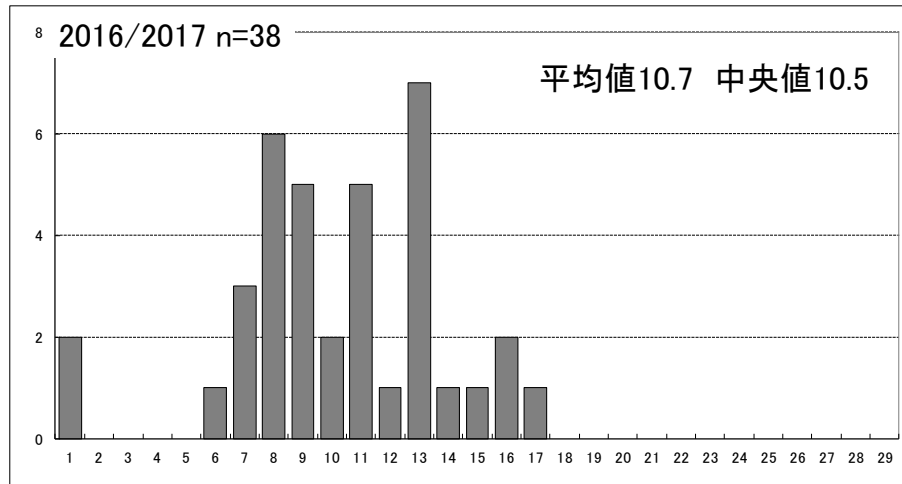


重度の内、  
①突然走り出す・②飛び降り  
のみの分析

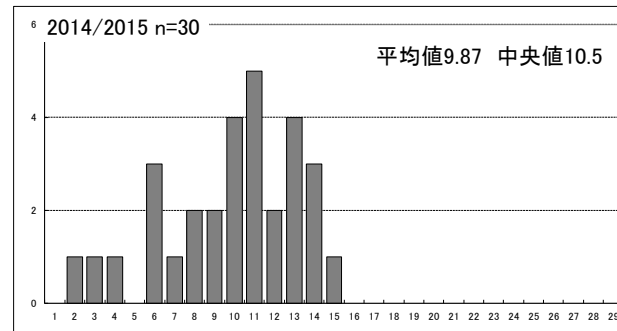
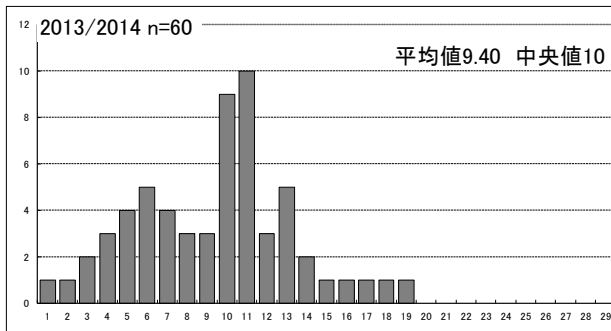
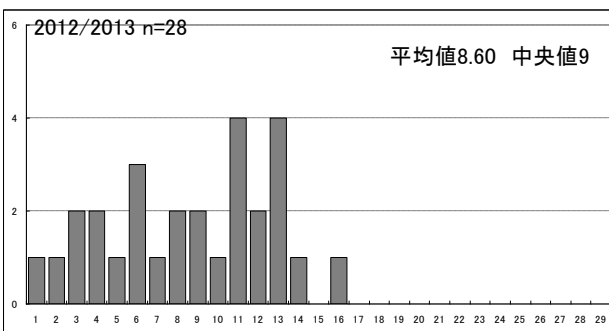
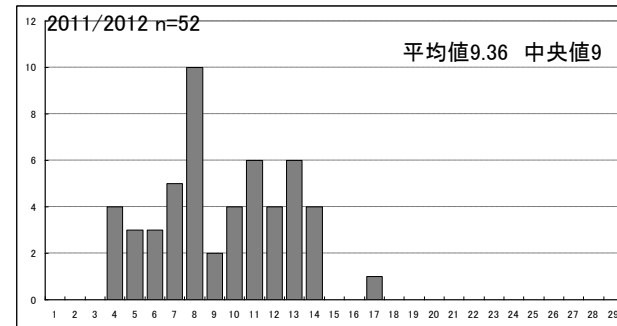
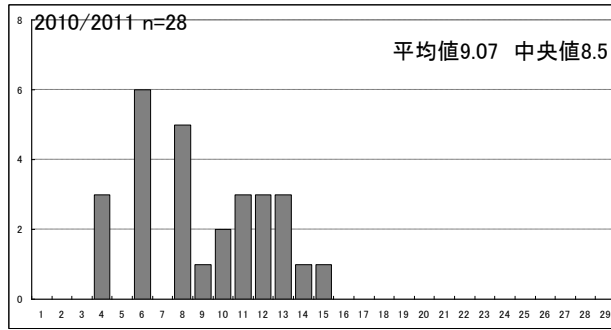
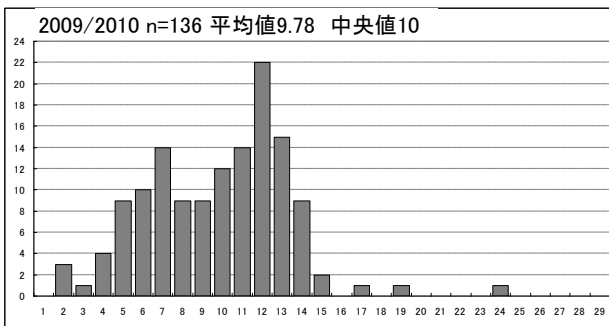
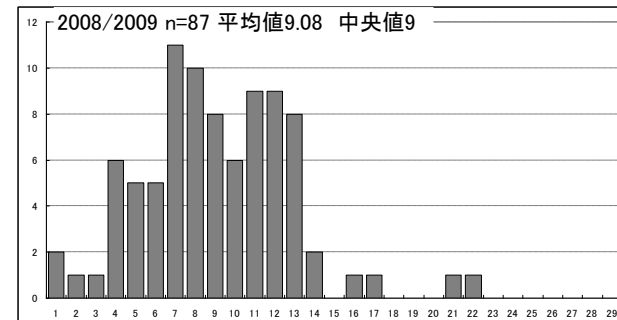
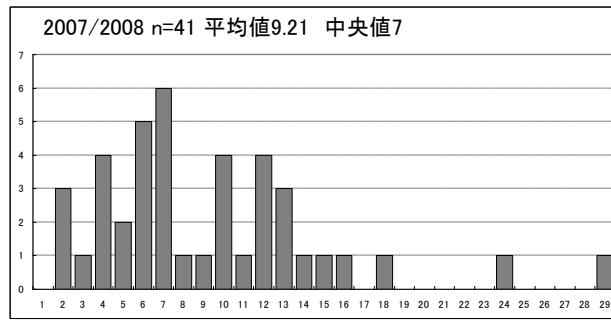
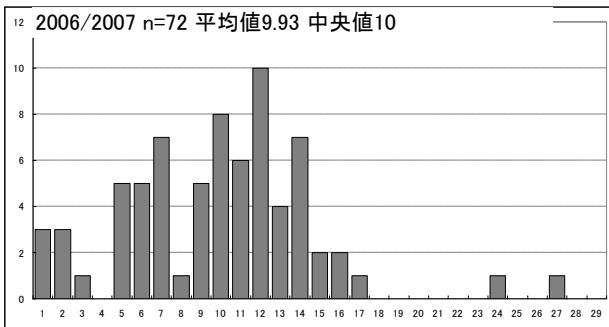
# 図12-1.患者の年齢



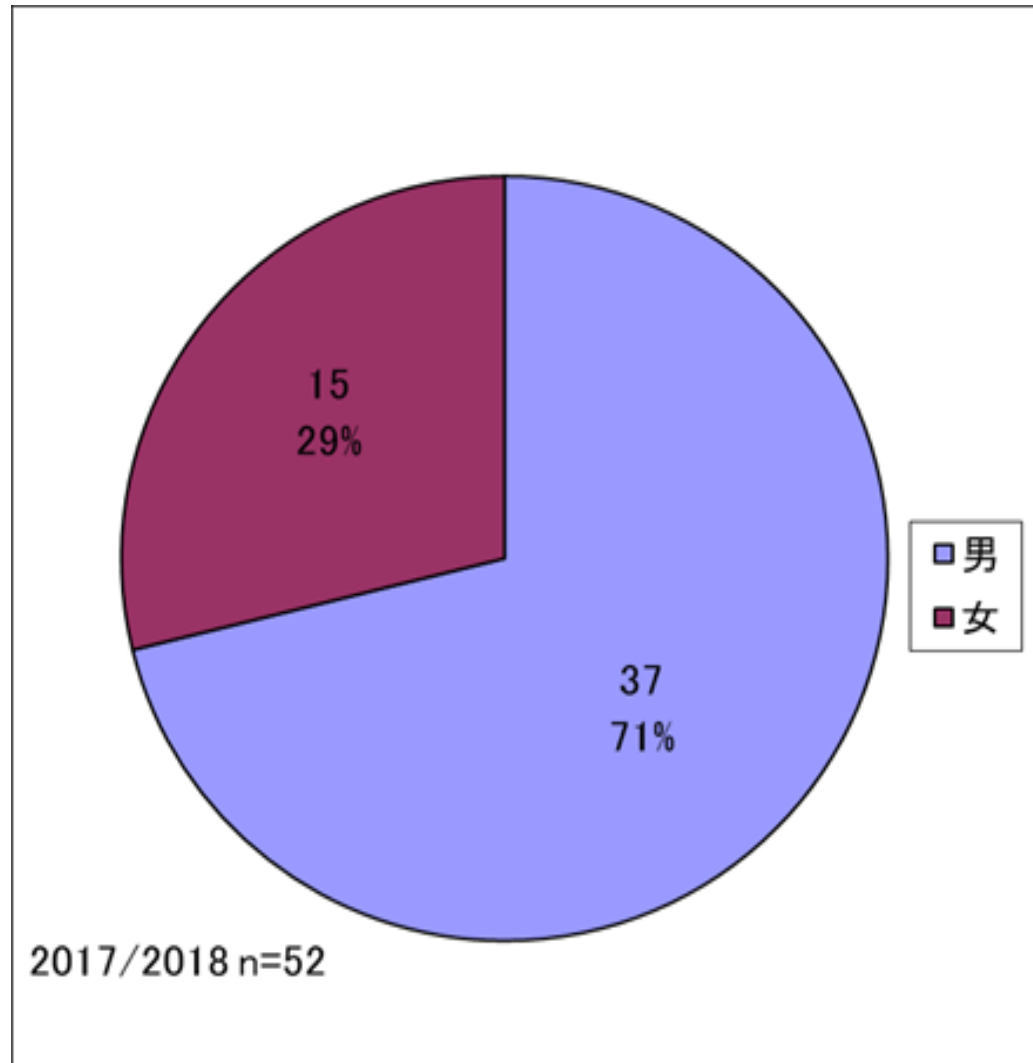
# 図12-2.患者の年齢



# 図12-3.患者の年齢

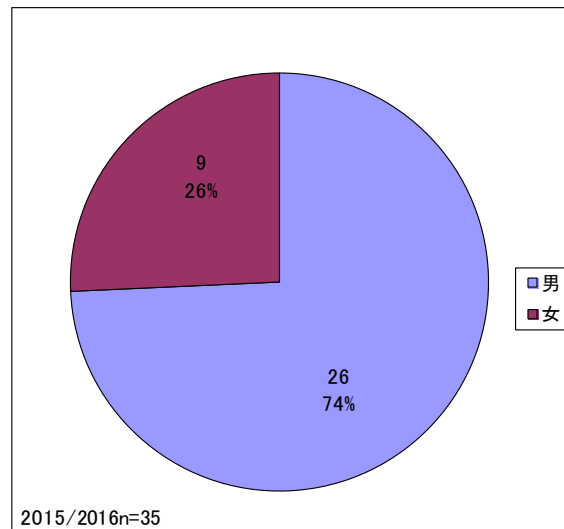
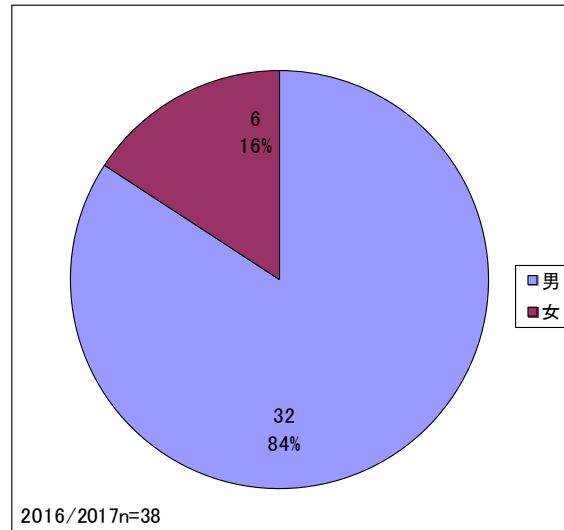


# 図13-1.患者の性別

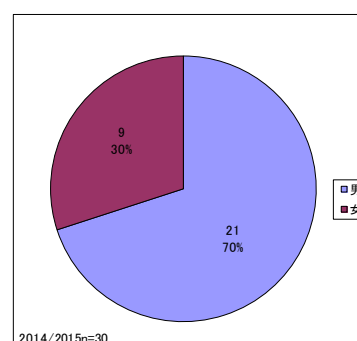
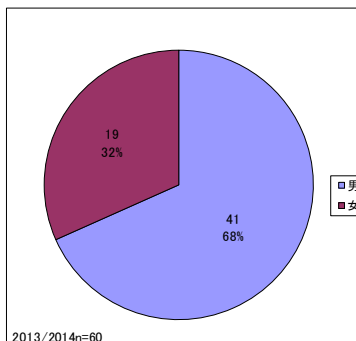
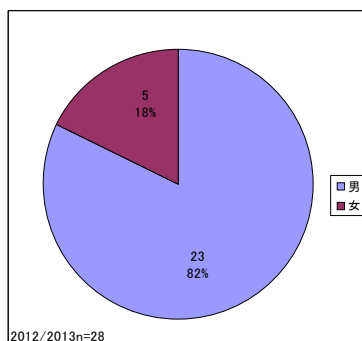
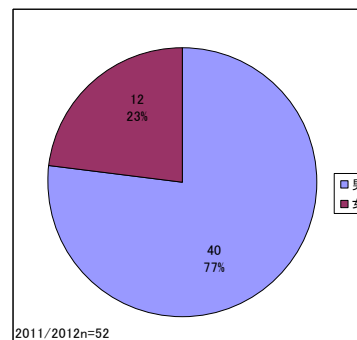
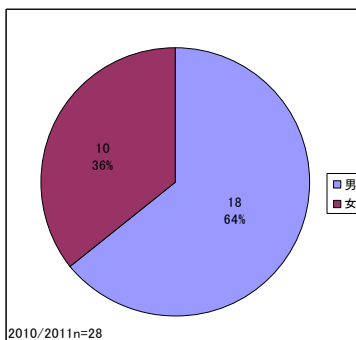
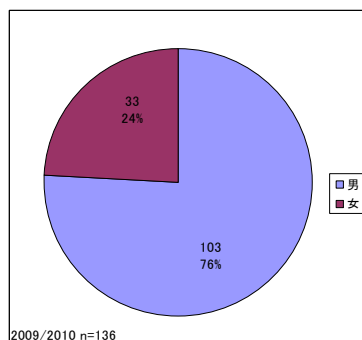
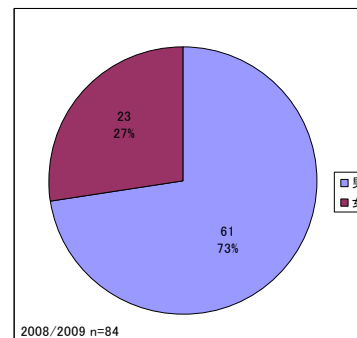
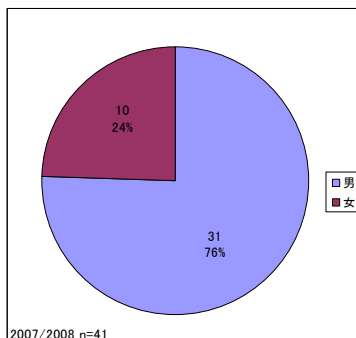
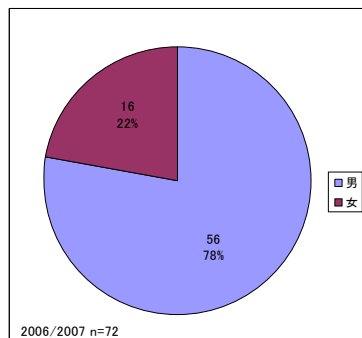




# 図13-2.患者の性別



# 図13-3.患者の性別



# 表 4-2. 最も重度な異常行動の発現における性差

2017/2018

(A) (症例数)

	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	5	13
女性	1	8

厳密検定 の確率値 = 0.628

(B) (症例数)

	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	6	12
女性	2	7

厳密検定の確率値 = 0.676

(症例数)

# 表3. 最も重度な異常行動の発現における性差

2013/2014

	(A) (症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	6	9
女性	1	10

厳密検定の確率値 = 0.178

(B) (症例数)

	(B) (症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	6	9
女性	5	6

厳密検定の確率値 = 1.000

2014/2015

	(A) (症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	1	4
女性	2	4

厳密検定の確率値 = 1.000

(B) (症例数)

	(B) (症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	1	4
女性	2	4

厳密検定の確率値 = 1.000

2015/2016

	(A) (症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	2	10
女性	1	5

厳密検定の確率値 = 1.000

(B) (症例数)

	(B) (症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	2	10
女性	3	3

厳密検定の確率値 = 0.268

2016/2017

	(A) (症例数)	
	5歳未満	5歳以上 10歳未満
男性	1	12
女性	1	3

厳密検定の確率値 = 0.426

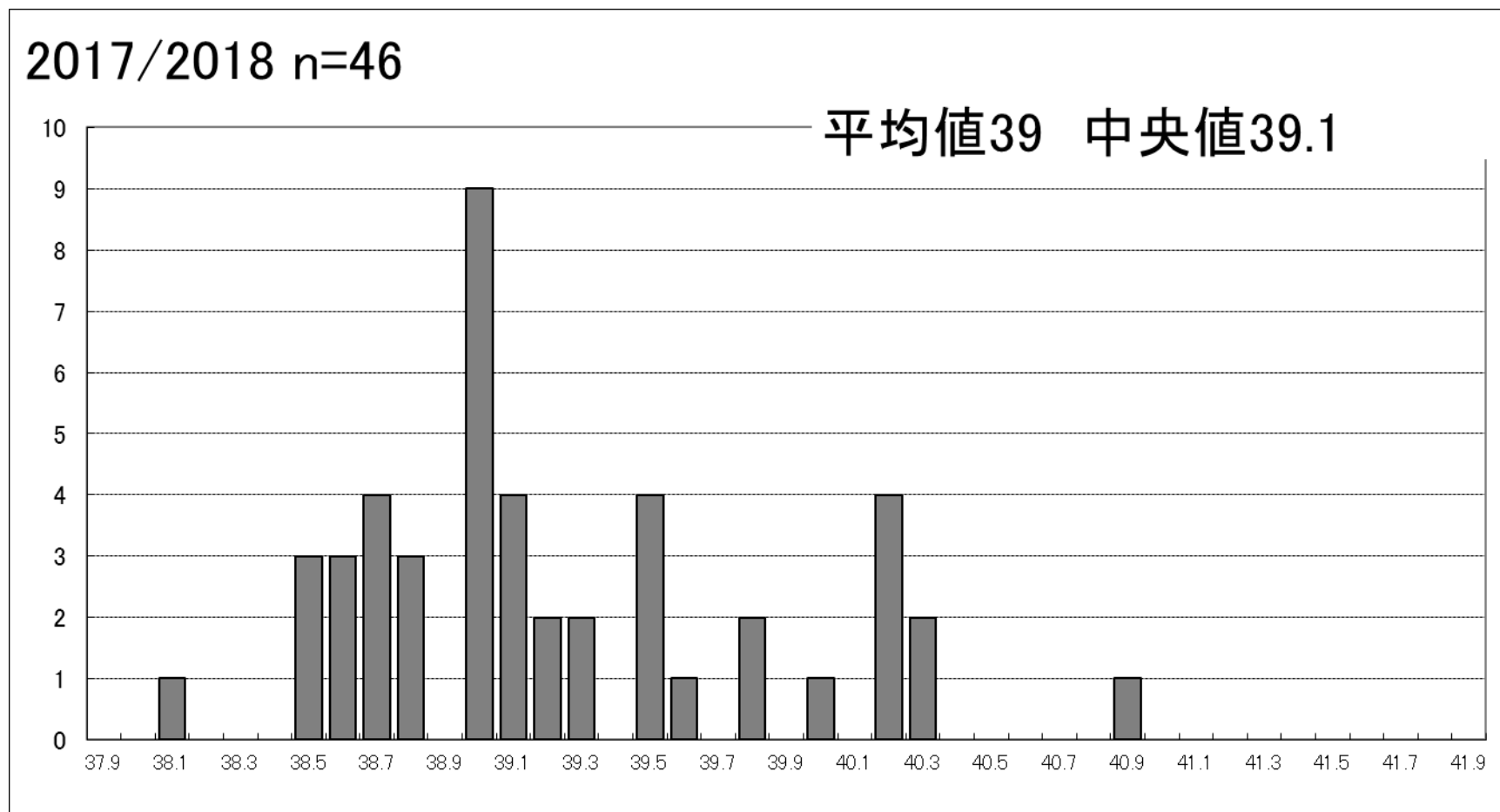
(B) (症例数)

	(B) (症例数)	
	6歳未満	6歳以上 10歳未満
男性	1	12
女性	1	3

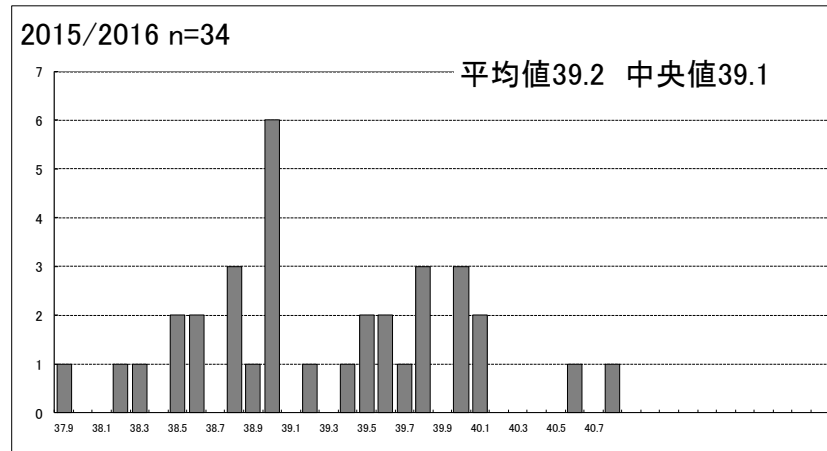
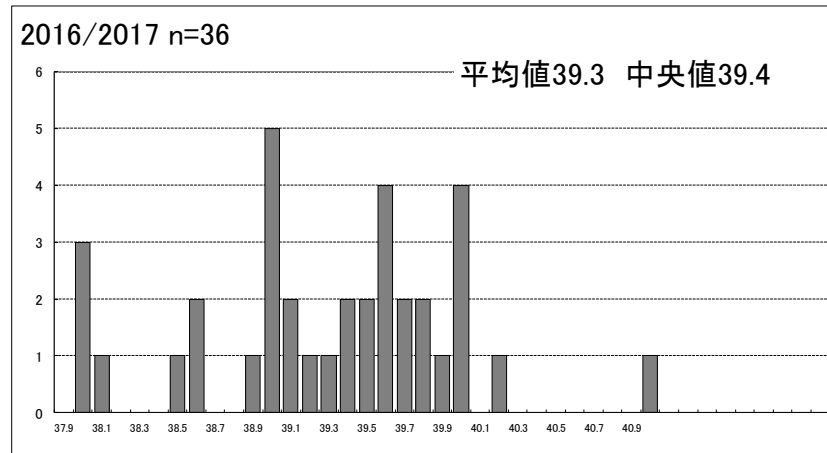
厳密検定の確率値 = 0.426

(A):5歳未満と5歳以上10歳未満における性差 (B):6歳未満と6歳以上10歳未満における性差

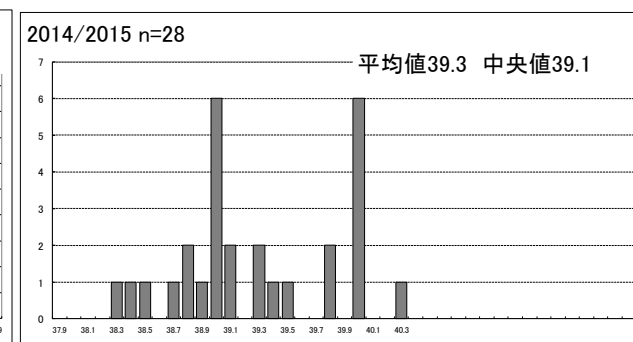
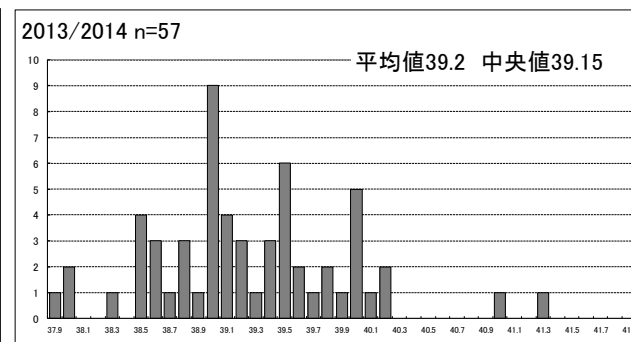
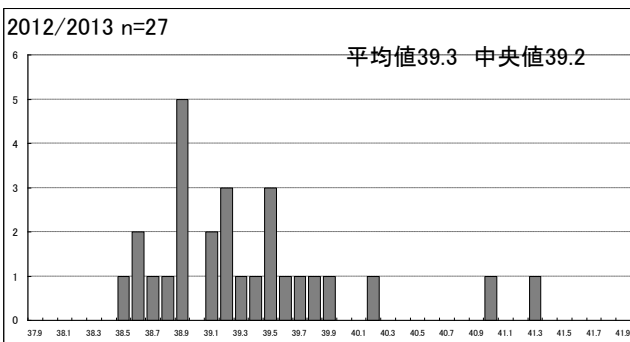
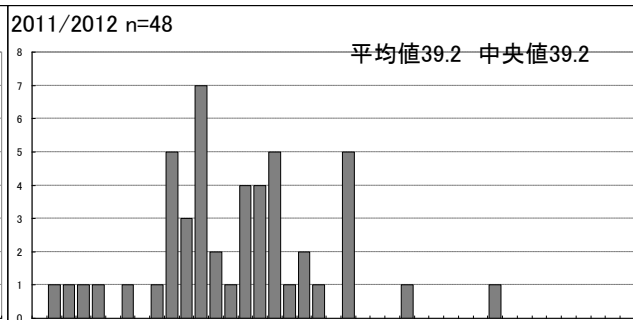
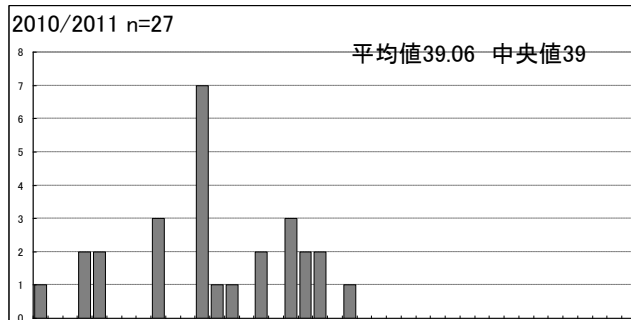
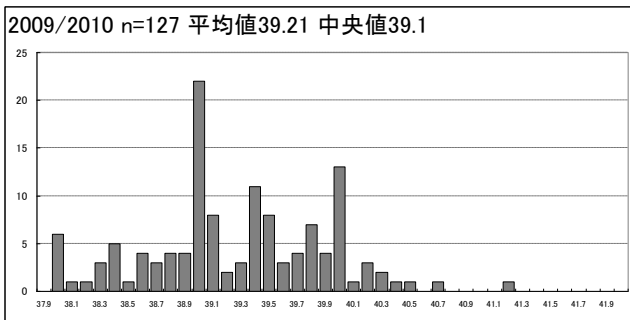
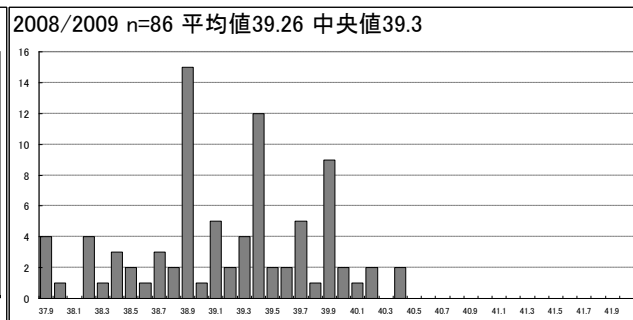
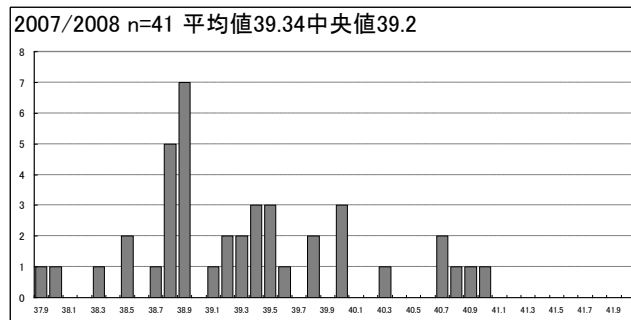
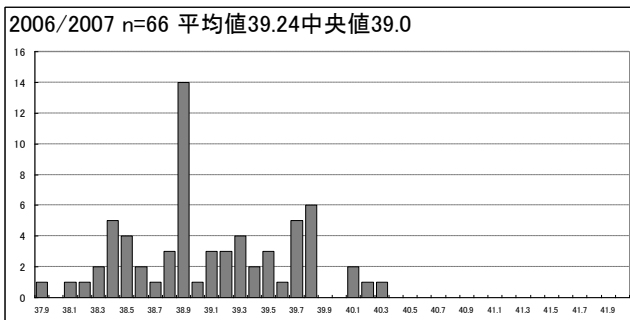
# 图14-1.最高体温



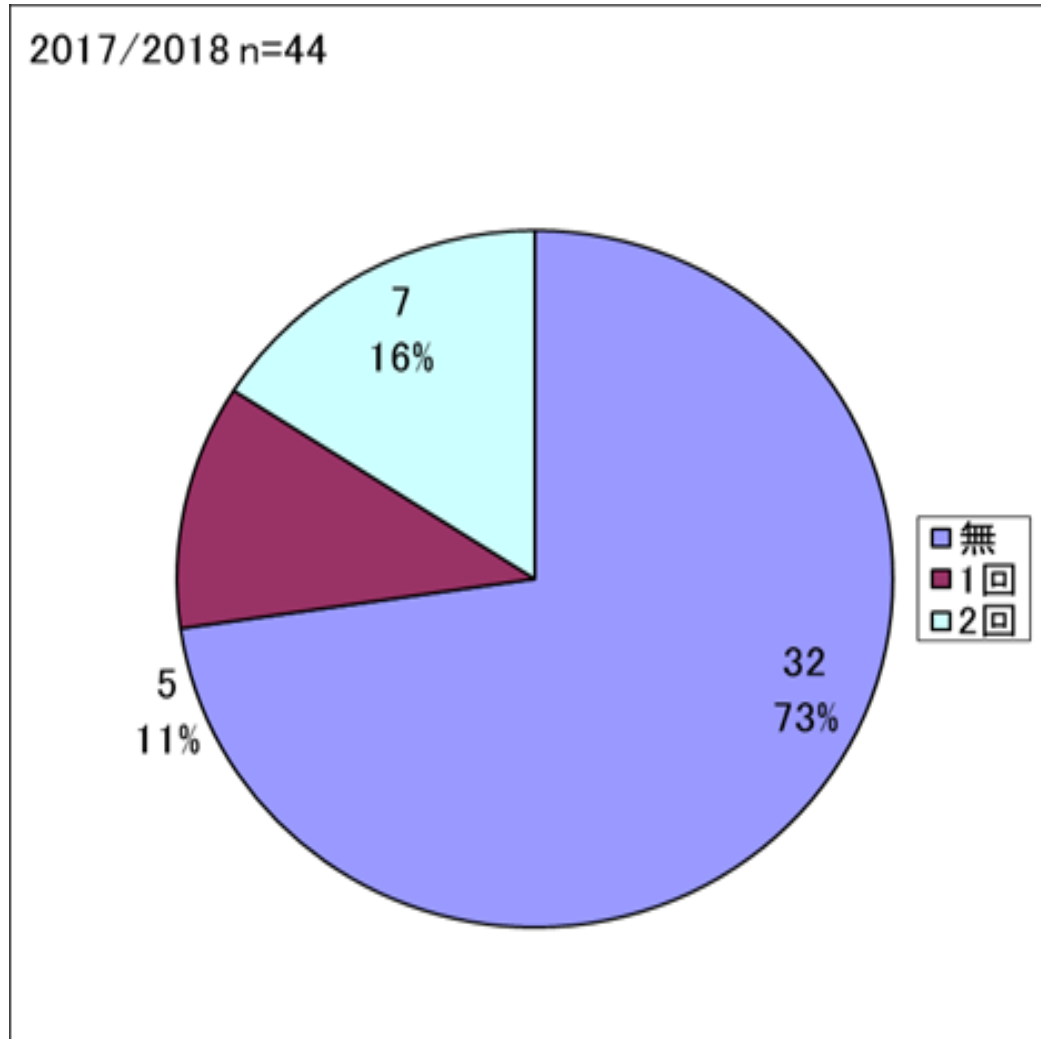
# 図14-2.最高体温



# 图14-3.最高体温

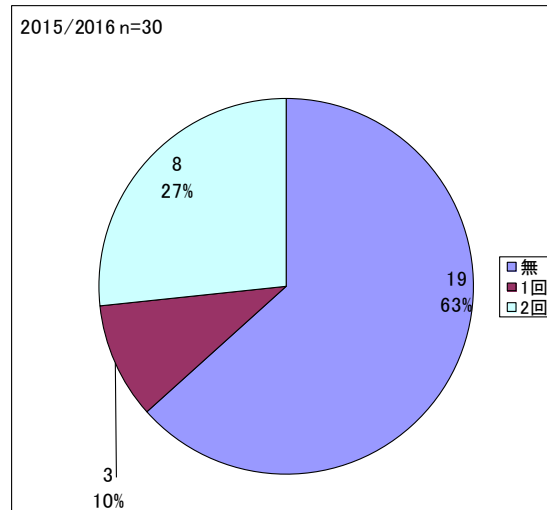
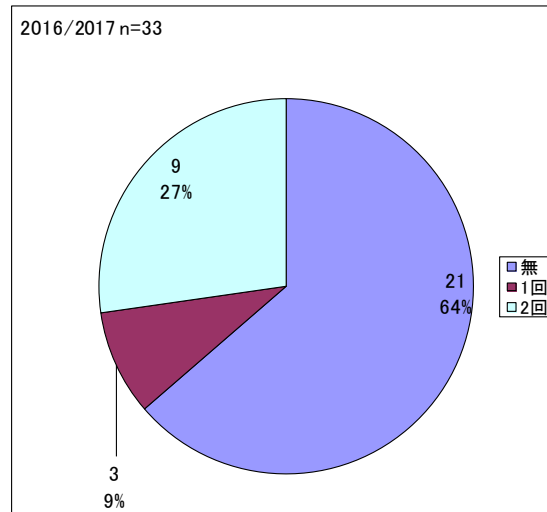


# 図15-1. ワクチン接種の有無

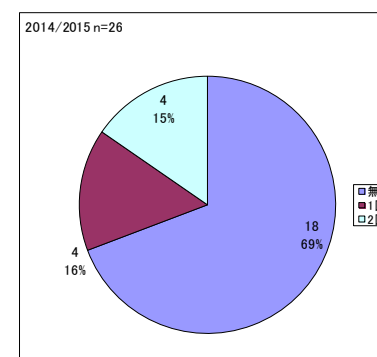
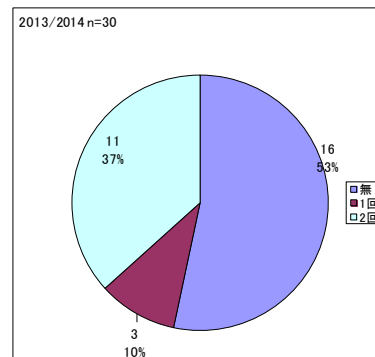
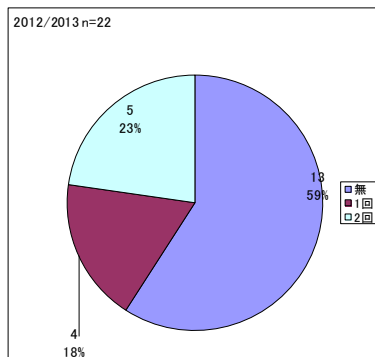
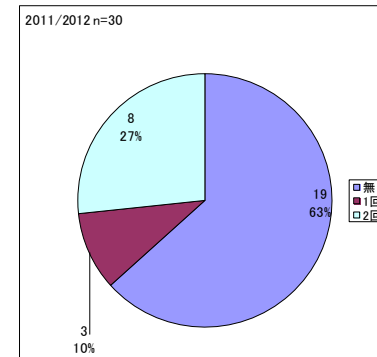
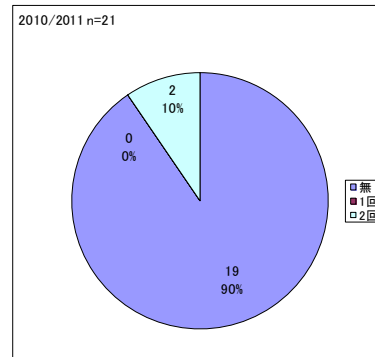
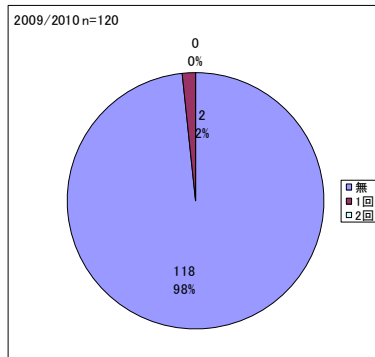
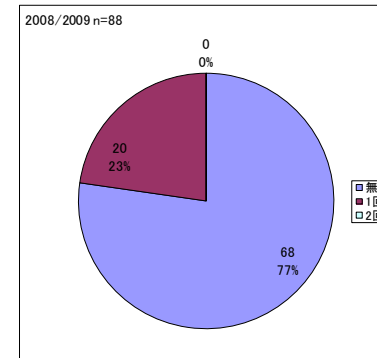
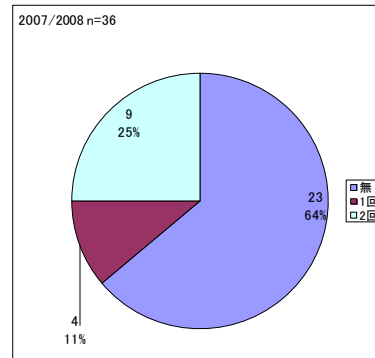
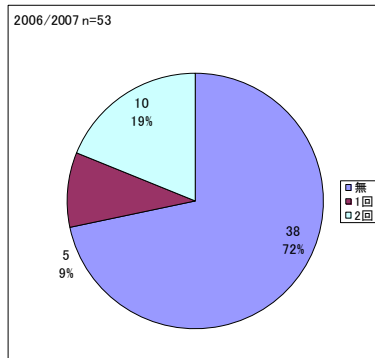




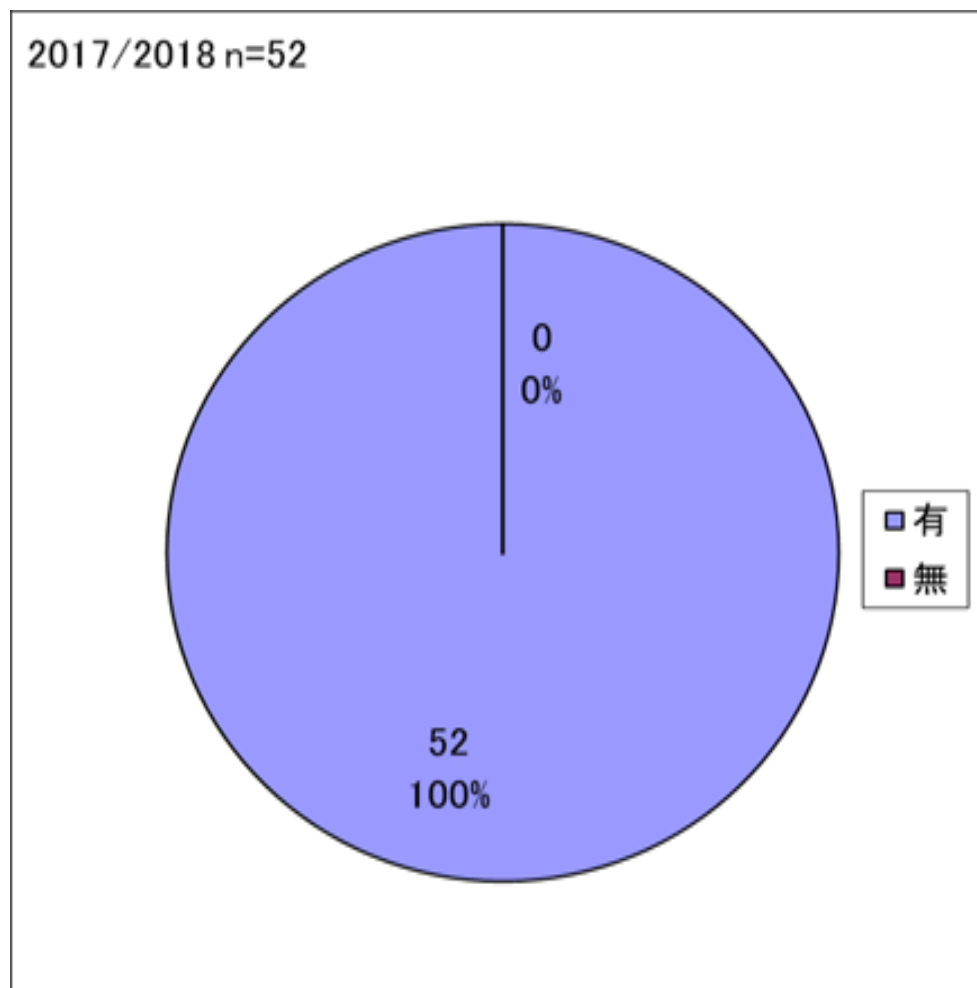
# 図15-2. ワクチン接種の有無



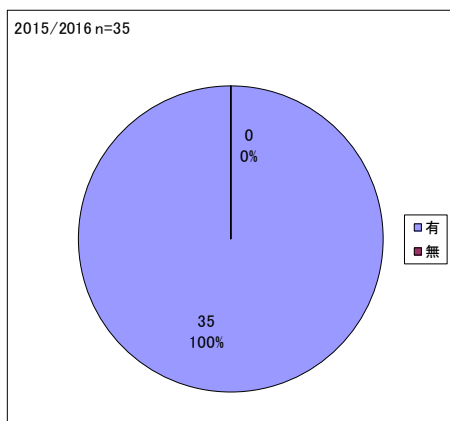
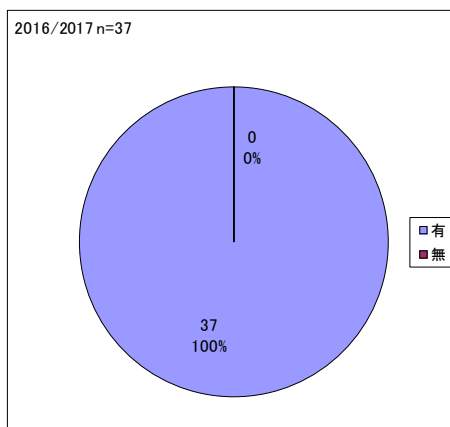
# 図15-3. ワクチン接種の有無



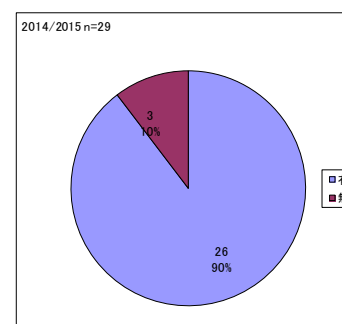
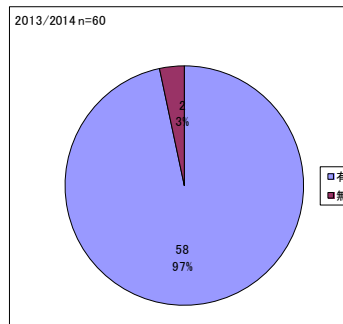
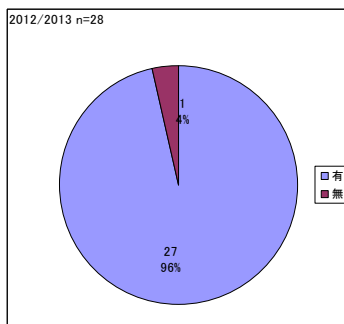
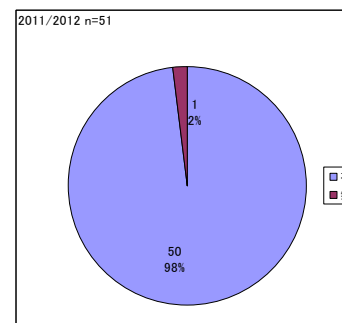
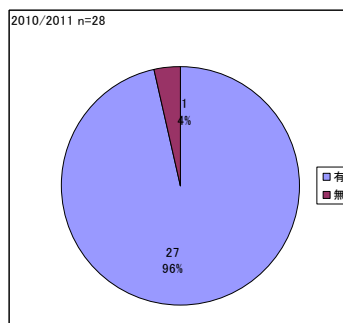
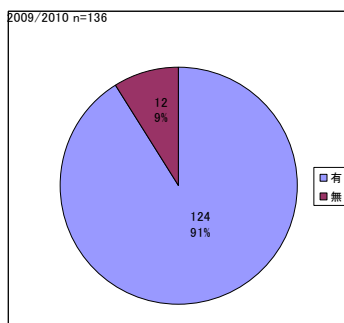
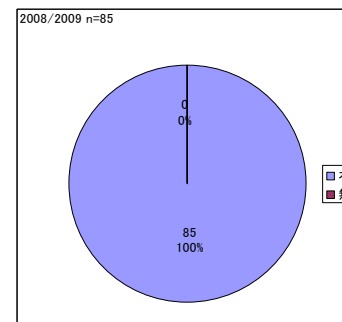
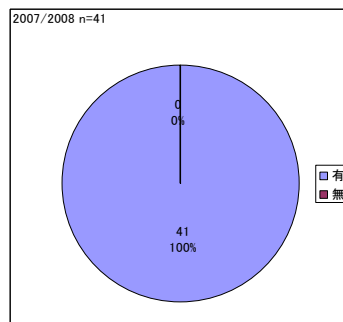
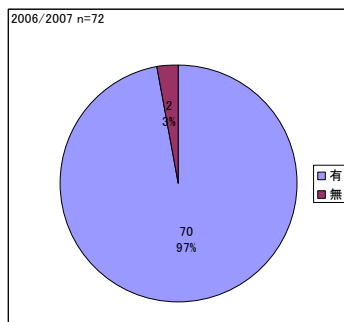
# 図16-1.インフルエンザ迅速診断 キットの実施の有無



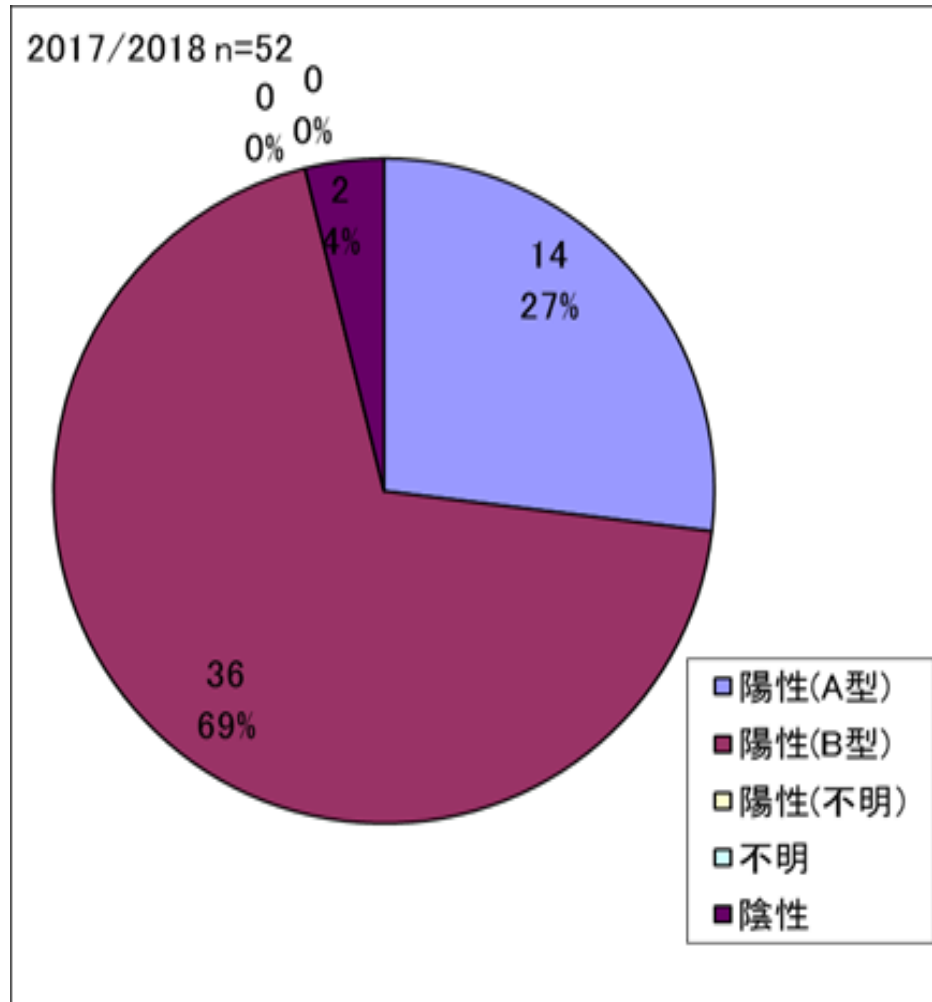
# 図16-2.インフルエンザ迅速診断 キットの実施の有無



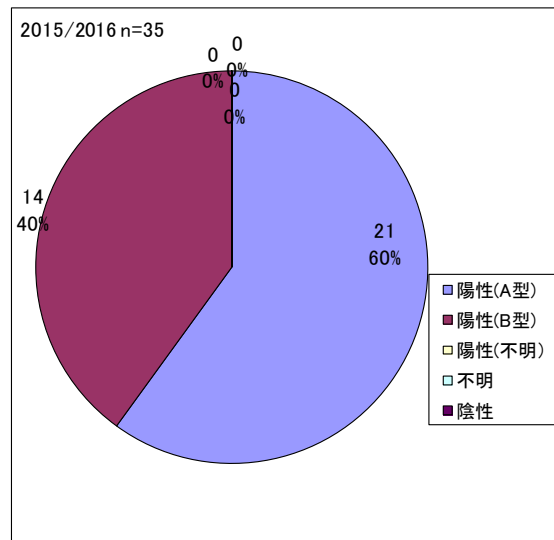
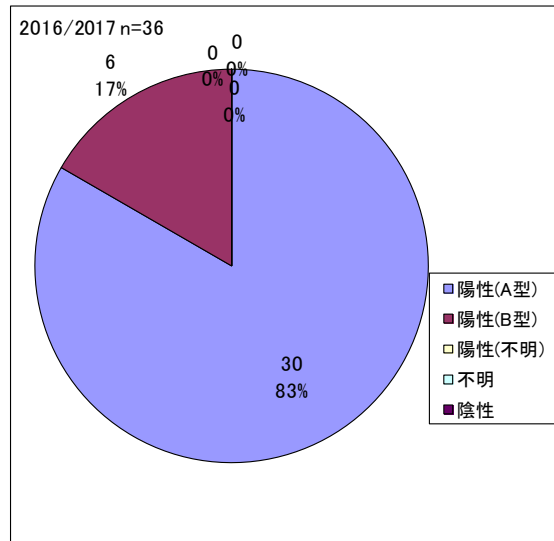
# 図16-3.インフルエンザ迅速診断キットの実施の有無



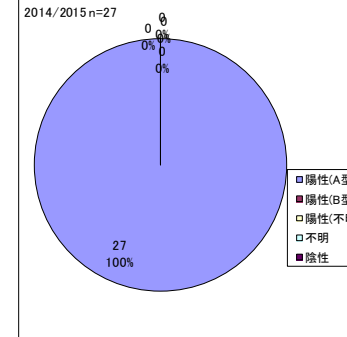
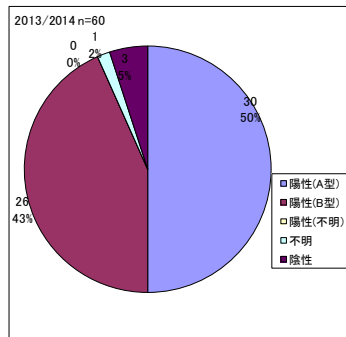
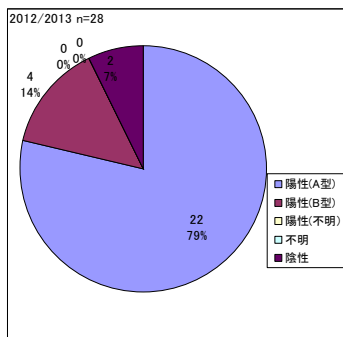
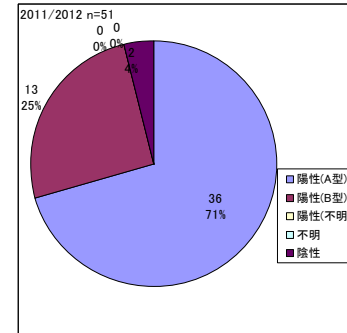
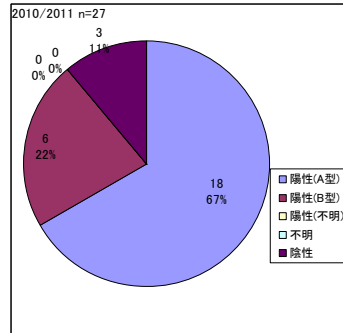
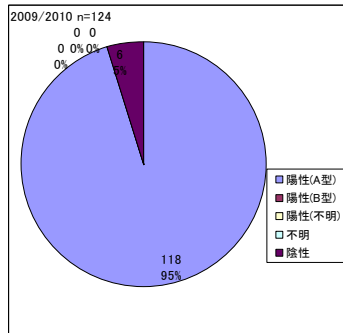
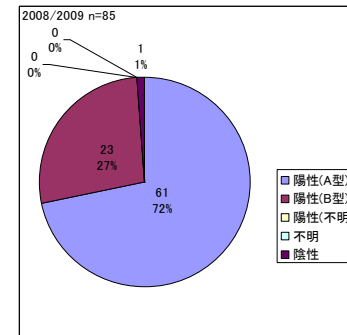
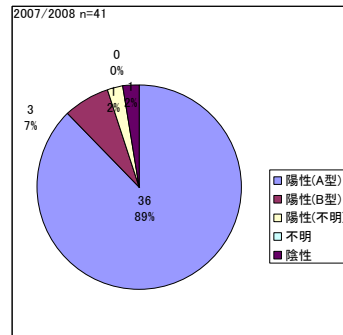
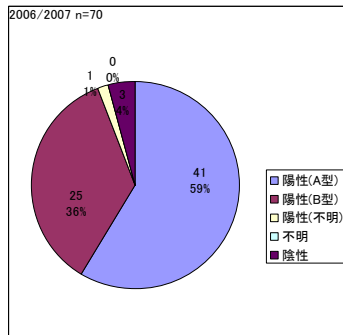
# 図17-1.迅速診断キットによる 検査結果



# 図17-2.迅速診断キットによる 検査結果

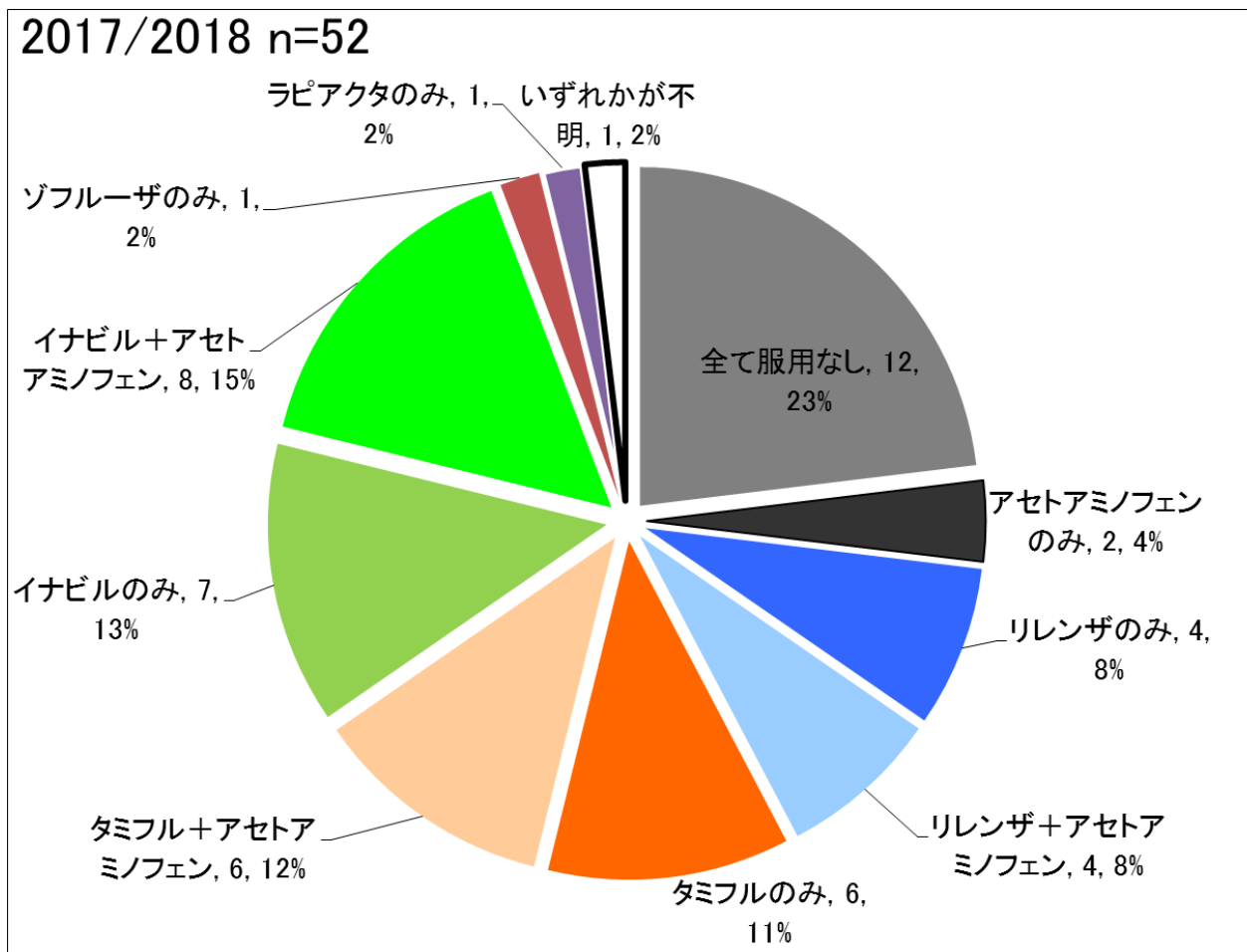


# 図17-3.迅速診断キットによる検査結果

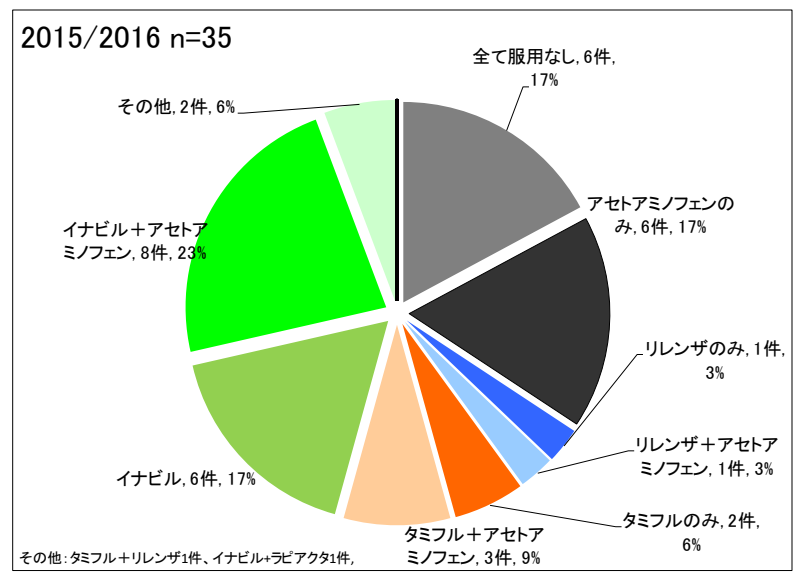
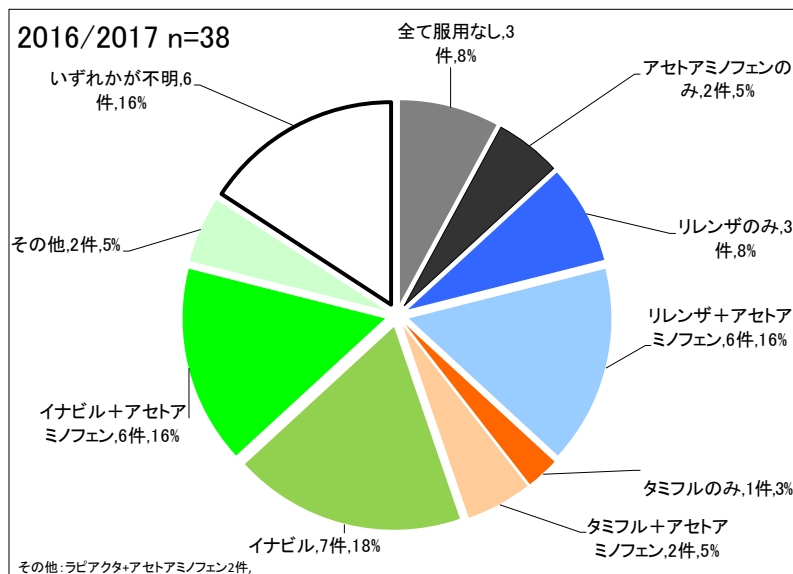




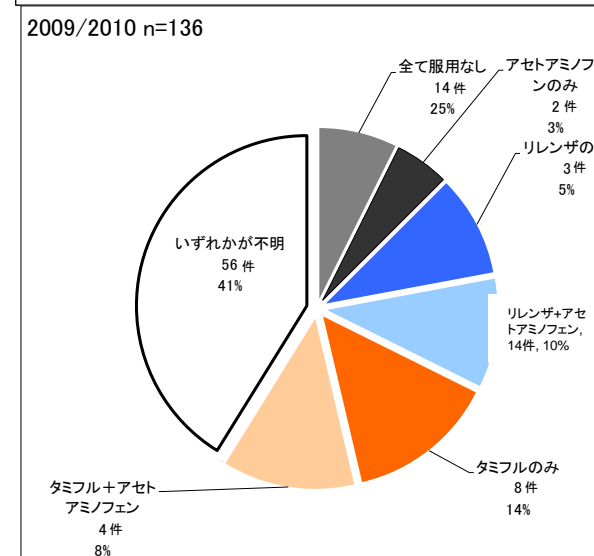
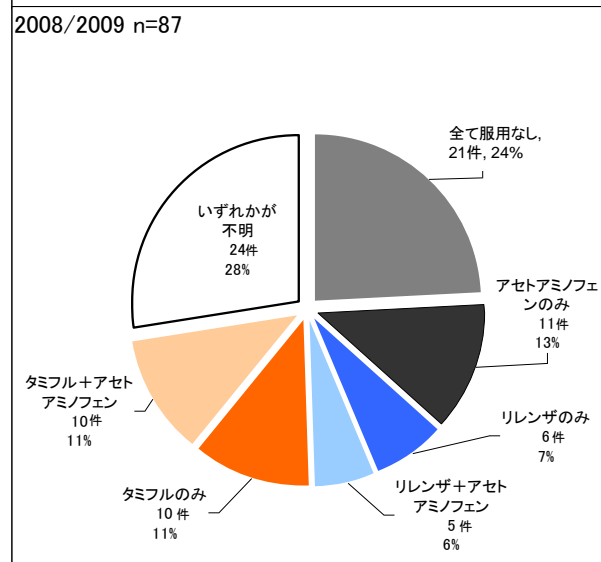
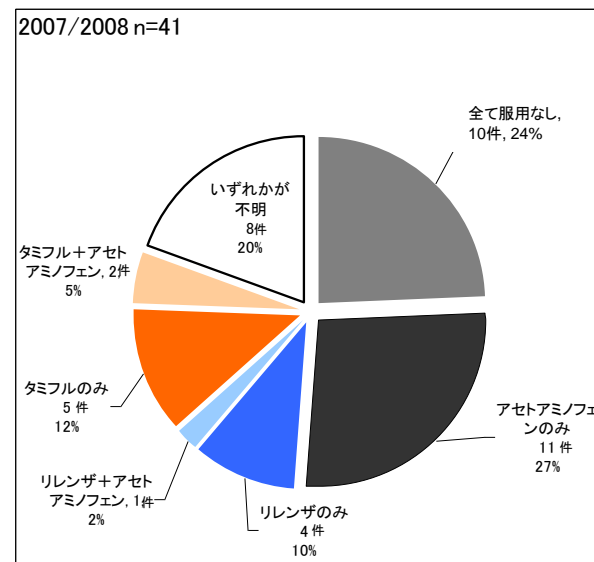
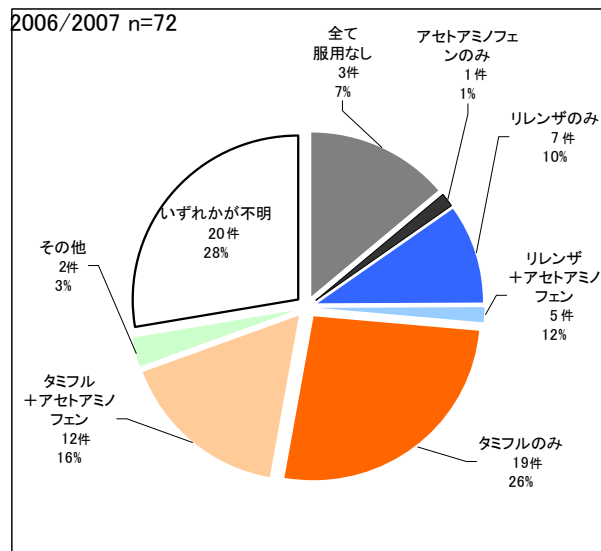
# 図18-1.服用した薬の組み合わせ (重度の内、①突然走り出す・②飛び降りのみ)



# 図18-2.服用した薬の組み合わせ (重度の内、①突然走り出す・②飛び降りのみ)

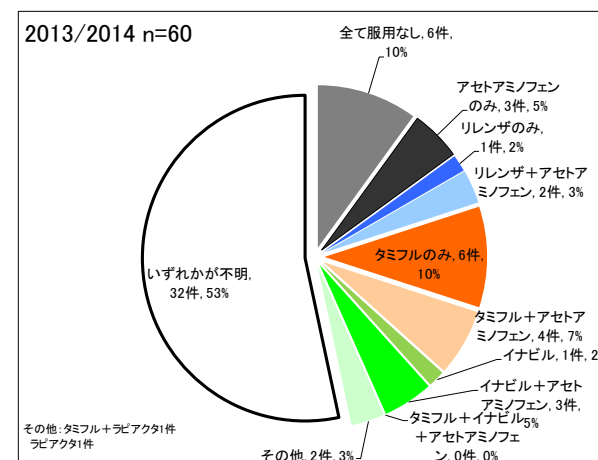
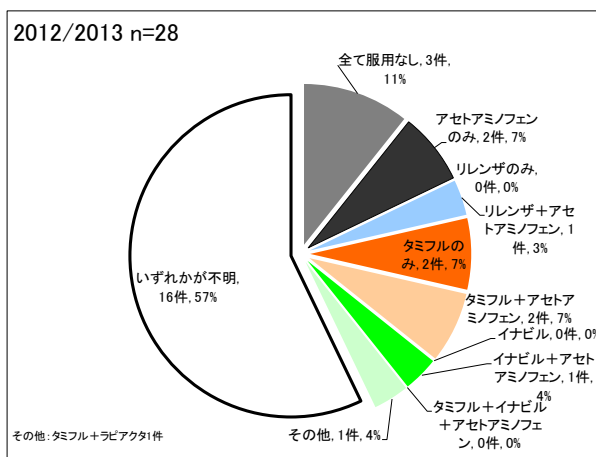
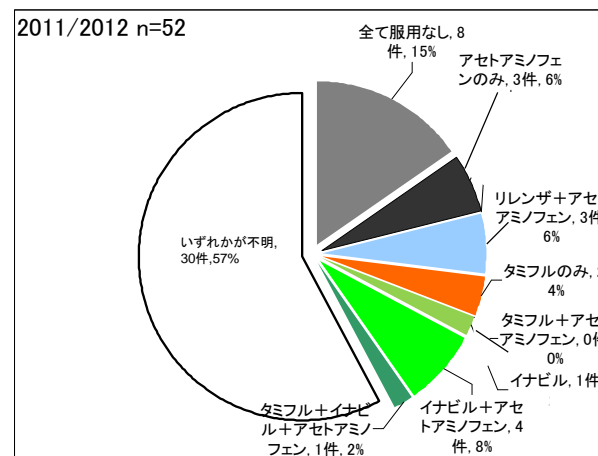
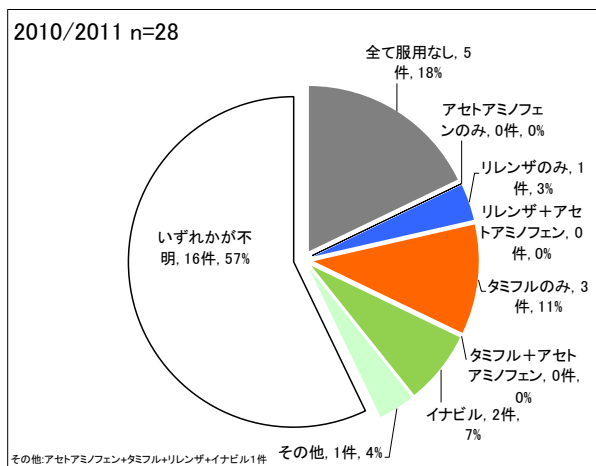


# 図18-3.服用した薬の組み合わせ (重度の内、①突然走り出す・②飛び降りのみ)

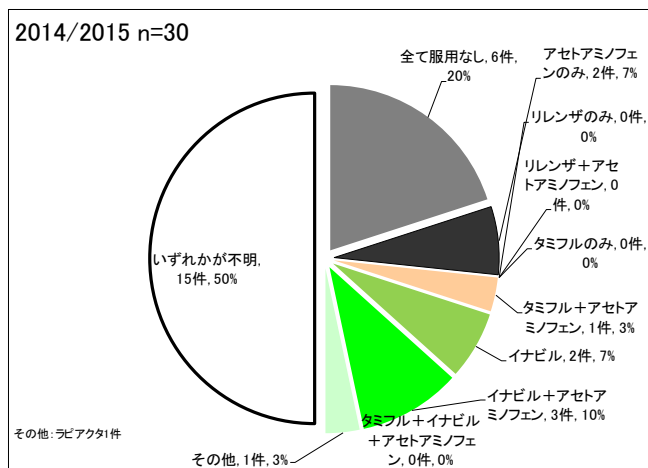


注:タミフル、シンメトレル、リレンザ、アセトアミノフェン、ラピアクタ(2009/2010以降のみ)、イナビル(2010/2011以降のみ)、テオフィリン(2012/2013以降のみ)の7剤の服用の有無が明らかな症例についての内訳。7剤のうち一部の薬剤服用があっても、他の調査薬剤の服用状況が不明な症例は「いずれかが不明」に分類。

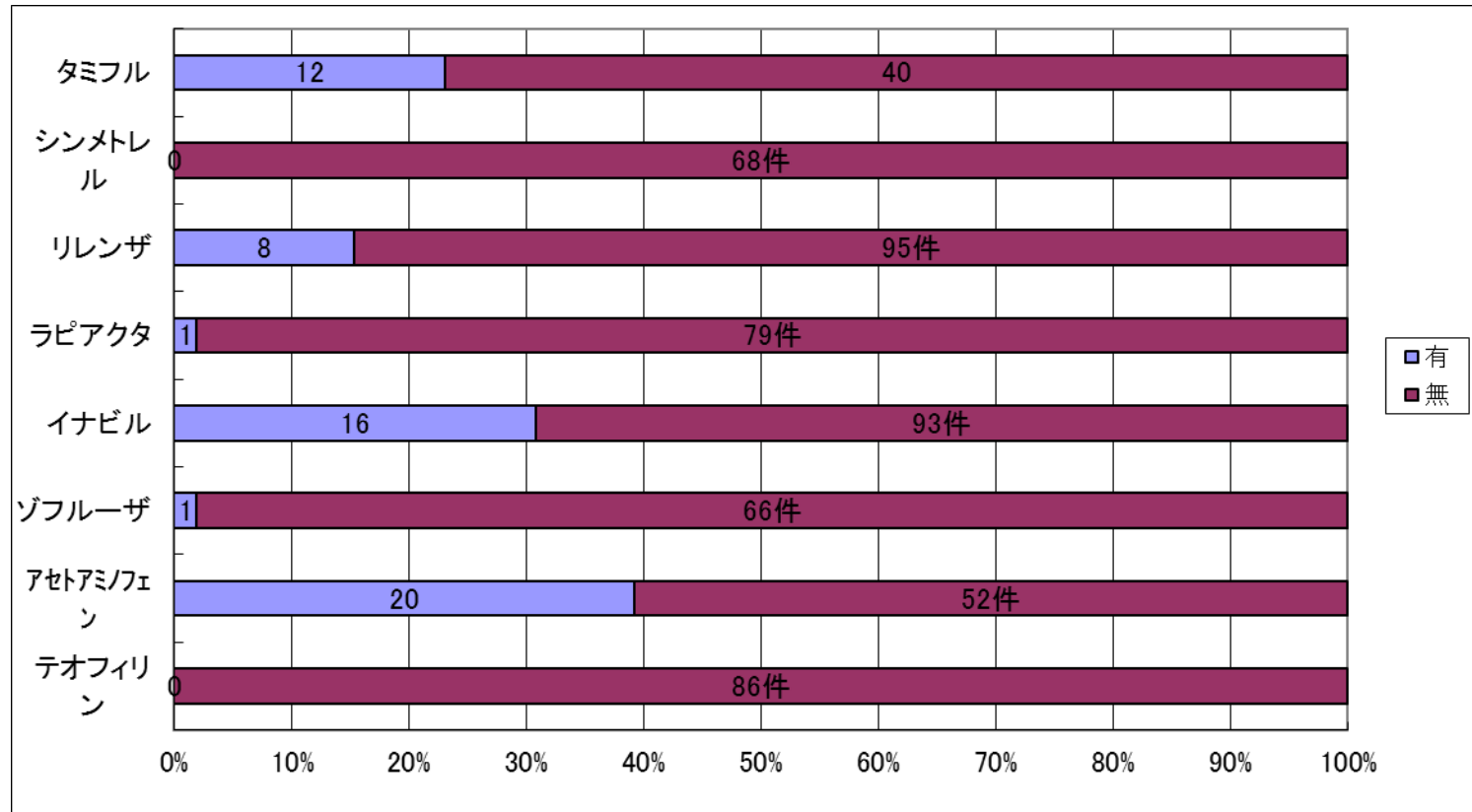
# 図18-4.服用した薬の組み合わせ (重度の内、①突然走り出す・②飛び降りのみ)



# 図18-5.服用した薬の組み合わせ (重度の内、①突然走り出す・②飛び降りのみ)



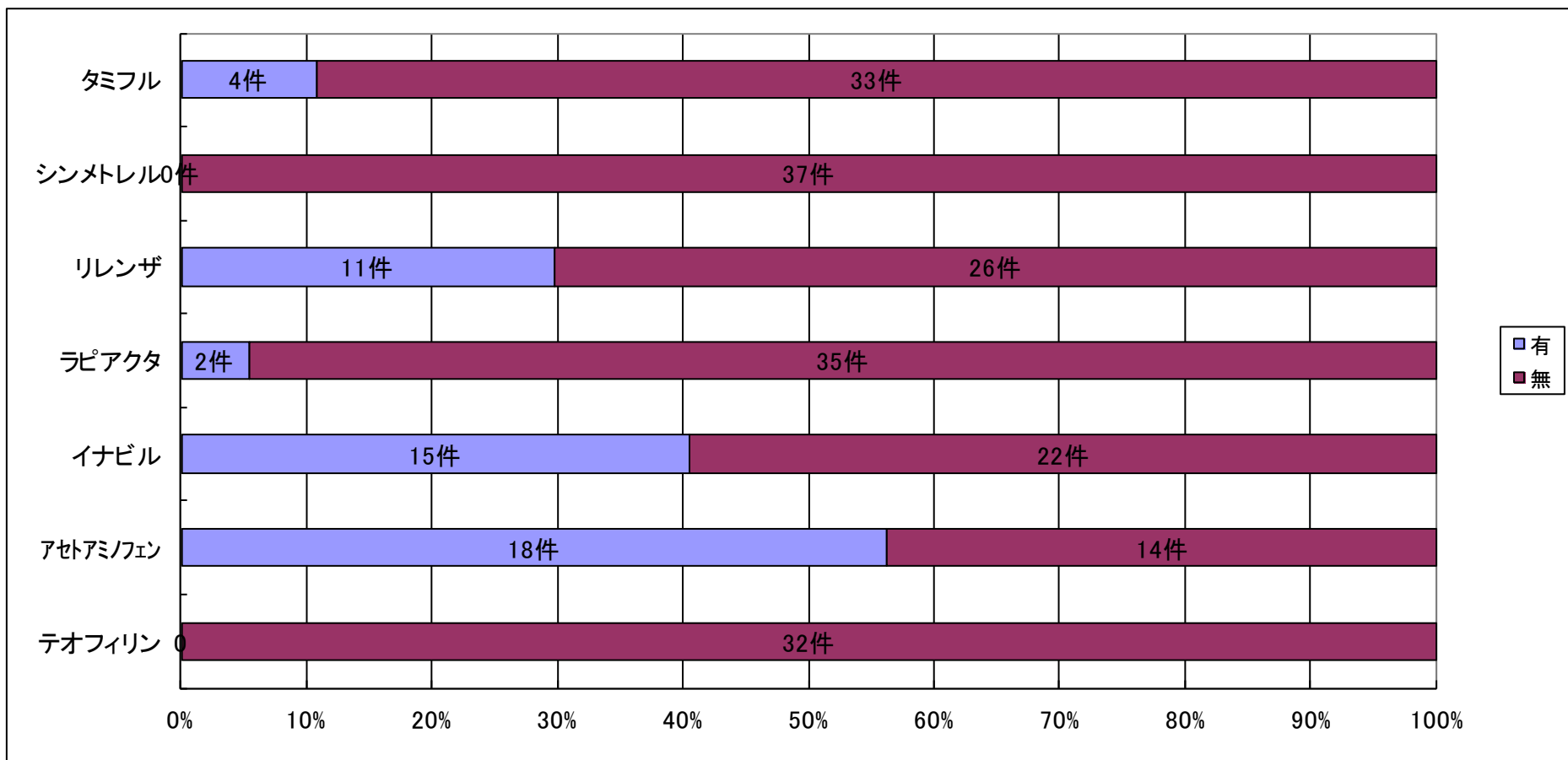
# 図18-6薬の服用の有無



# 図18-7.薬の服用の有無

当該薬剤の服用状況が明らかな者の内、服用した者の割合（他の薬剤の服用状況は考慮せず）

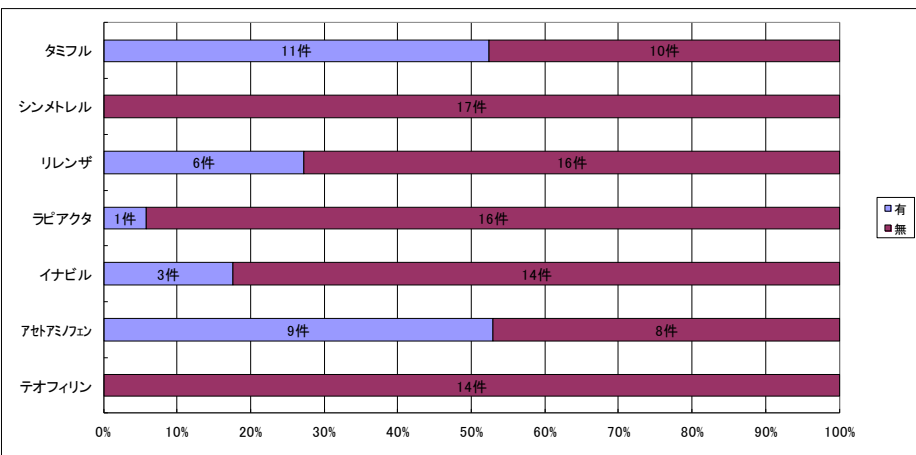
2016/2017



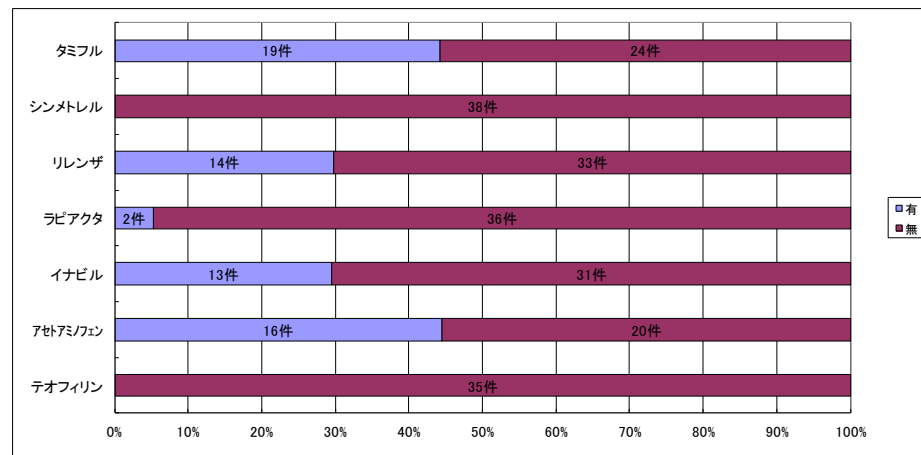
# 図18-8.薬の服用の有無

当該薬剤の服用状況が明らかな者の内、服用した者の割合（他の薬剤の服用状況は考慮せず）

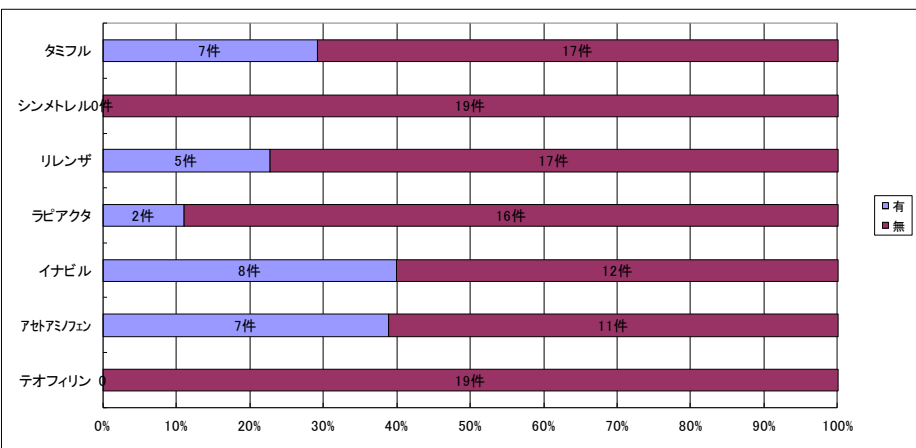
2012/2013



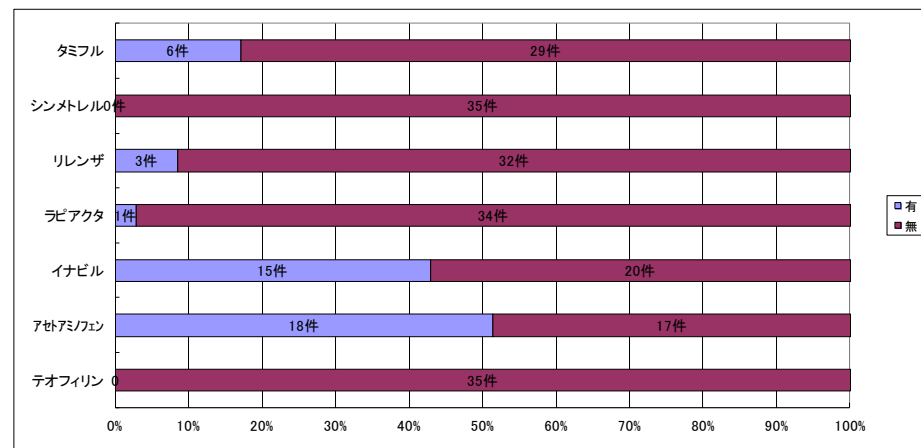
2013/2014



2014/2015

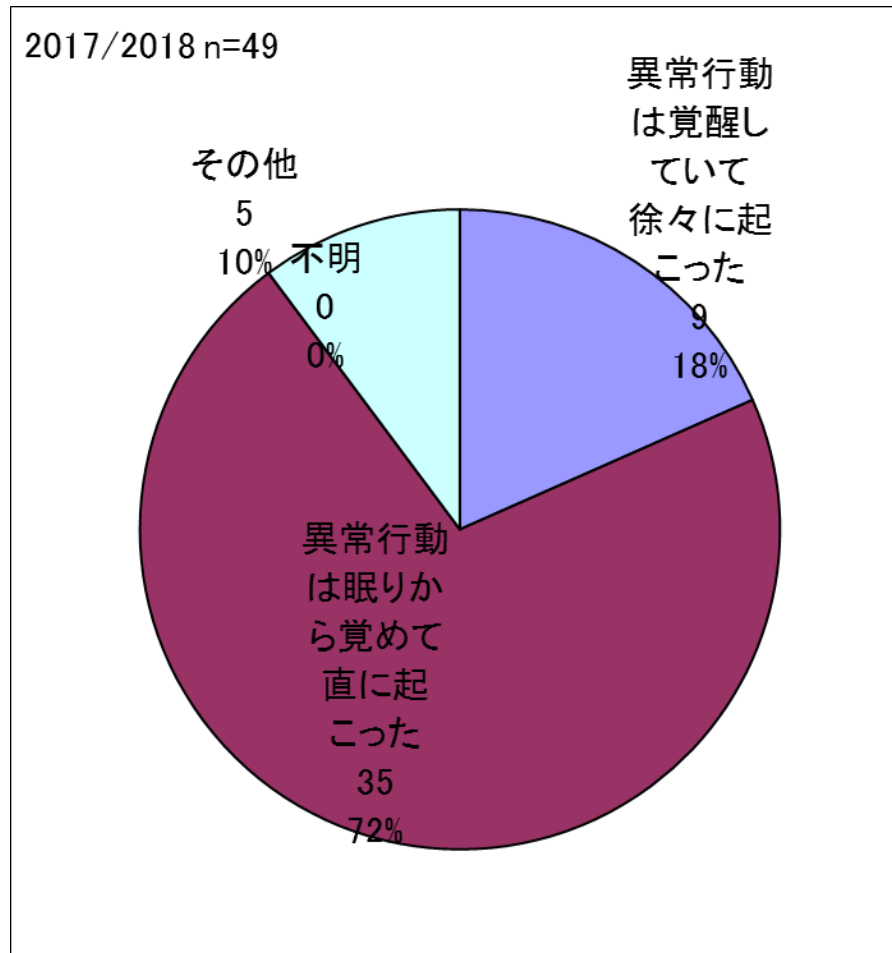


2015/2016

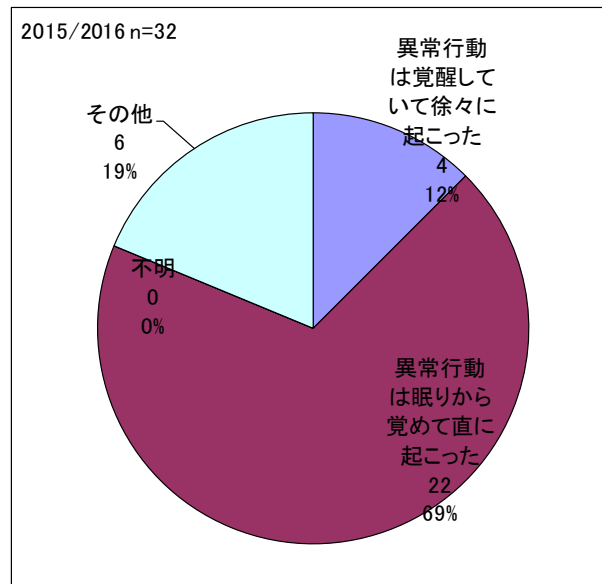
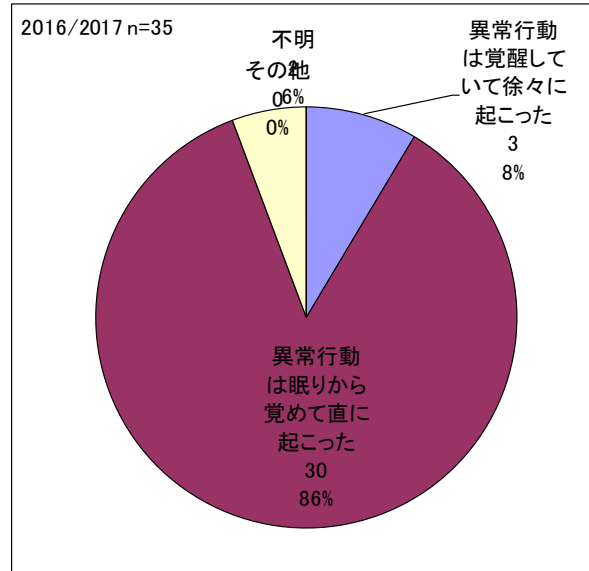




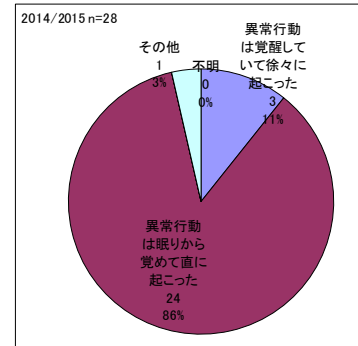
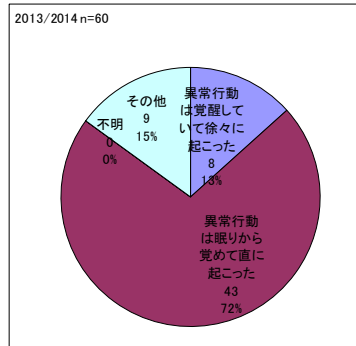
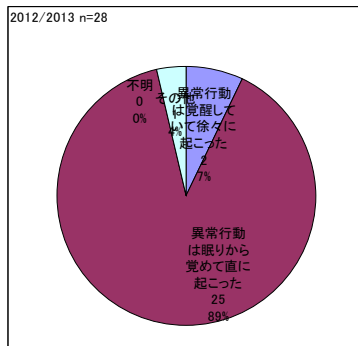
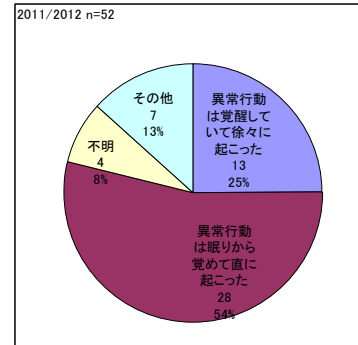
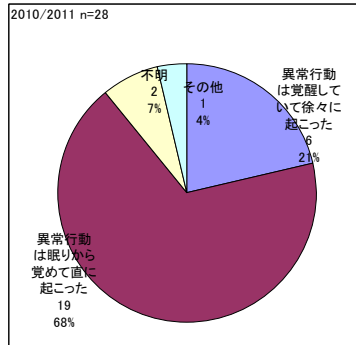
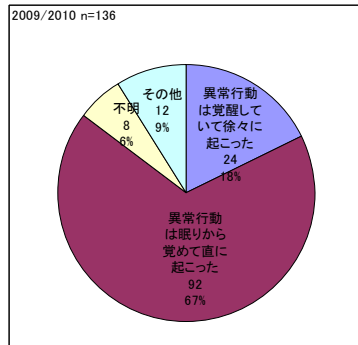
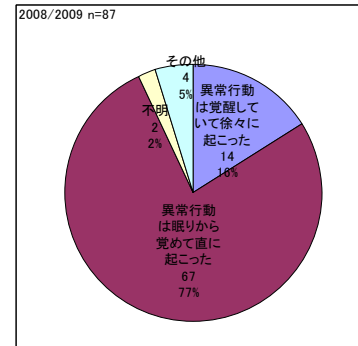
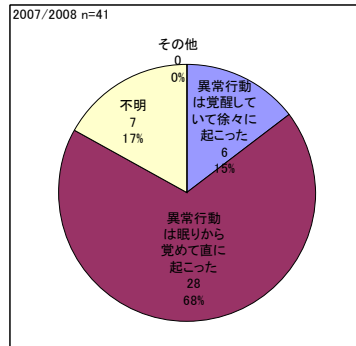
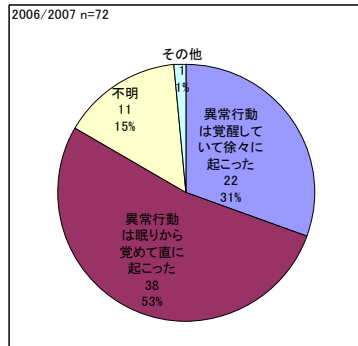
# 図19-1.異常行動と睡眠の関係



# 図19-2.異常行動と睡眠の関係



# 図19-3.異常行動と睡眠の関係



# NDBによる服用薬剤ごとの発症率の比較

- データと期間

- 異常行動

「インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動の情報収集に関する研究」より、各シーズンの異常行動(最も重度の高い異常行動(「突然走り出す」・「飛び降り」)、全ての重度異常行動)と服用したノイラミニダーゼ阻害剤のデータを用いた

- NDBでの患者数

厚生労働省より提供されたレセプト情報・特定健診等データベース(National Database:NDB)でのデータ。NDBでの内科レセプトに基づいた年齢群別、都道府県別のインフルエンザ患者数及び調剤レセプトに基づいた年齢群別、都道府県別の抗インフルエンザウイルス薬(オセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、ペラミビル)の処方された患者数を、各疾患の疑い及び月をまたいで受診した場合の二重計上は除き、合併症は含むようにして集計した

- 期間

2009/2010シーズンから2016/2017シーズンの7シーズン(NDBの追加申請のデータが来ていないために前回と同内容のために以下省略)

- 解析方法

ノイラミニダーゼ阻害剤・アセトアミノフェンの種類毎の処方薬と異常行動に関する厳密検定

# まとめ（１）

- インフルエンザの流行は過去10シーズンでピーク時の患者数が最も多かった。
- 重度の異常な行動の報告数は過去10シーズンで3番目に多かった。
- 年齢は9,13才が最頻値で、男性が63%、女性が37%と、男性の方が多かった。
- 重度の異常な行動の発生状況について、従来のインフルエンザ罹患者における報告と概ね類似している。
- 重度の異常な行動の服用薬別の報告件数は、タミフル（他薬の併用を含む。以下同じ）23件（12件）、アセトアミノフェン35件（20件）、リレンザ16件（8件）、イナビル26件（15件）、ゾフルーザ2件（1件）、ラピアクタ2件（1件）であり、これらの医薬品の服用がなかったのは16件（12件）であった。（（ ）の件数は、突然走りだす・飛び降りの内数。）
- 2014/2015シーズンまでは、調査票の各薬剤の「使用の有無」について「有」のみに記載があり、「無」もしくは「不明」に記載がない回答があった。これらは他の調査薬剤の使用状況の一部が不明な症例として「いずれかが不明」とした。2015/2016シーズンから各薬剤の使用の有無について明確に記載を行ったことにより、2015/2016シーズン「いずれかが不明」に該当する症例は0件になったが、2016/2017シーズンでは7件（6件）、2017/2018シーズンでは8件（1件）が「いずれかが不明」になった（全例アセトアミノフェンの使用状況が不明）
- NDBを用いて使用薬剤ごとの異常行動の発症率の分析の追加は未実施

# まとめ（2）

- したがって、これまで同様に、抗インフルエンザウイルス薬の種類、使用の有無と異常行動については、特定の関係に限られるものではないと考えられた。
- 報告内容には、飛び降りなど、結果として重大な事案が発生しかねない報告もあった。
- 以上のことから、インフルエンザ罹患時における異常行動による重大な転帰の発生を抑止するために、次の点に対する措置が引き続き必要であると考えられる。
  - 抗インフルエンザウイルス薬の処方の有無に関わらず、インフルエンザ発症後の異常行動に関して、注意喚起を行うこと。
- 2018/2019シーズンは、タミフルの後発品、抗インフルエンザウイルス薬等の処方あり使用なし、一般用医薬品のアセトアミノフェンの使用状況、も把握できるように工夫する予定

⑮ 異常行動前に抗インフルエンザウイルス薬の使用はありましたか		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 不明			
⑮で「はい」の場合、該当する薬剤全てをチェックしてください(※1) またその薬剤の異常行動前最後の使用日時を教えてください(※2)	<input type="checkbox"/> 薬剤名不明				
	<input type="checkbox"/> タミフル(リン酸オセルタミビル)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
	<input type="checkbox"/> オセルタミビル[サワイ] (リン酸オセルタミビル)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
	<input type="checkbox"/> シンメトレル(塩酸アマンタジン)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
	<input type="checkbox"/> リレンザ(ザナミビル)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
	<input type="checkbox"/> ラピアクタ(ペラミビル)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
	<input type="checkbox"/> イナビル(ラニナミビル)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
<input type="checkbox"/> ゾフルーザ(パロキサビルマルボキシル)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明	
⑯ 異常行動前にアセトアミノフェンあるいはテオフィリンの使用はありましたか		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 不明			
⑯で「はい」の場合、該当する薬剤全てをチェックしてください(※1)(※2)	<input type="checkbox"/> 薬剤名不明				
	<input type="checkbox"/> アセトアミノフェン(処方薬)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
	<input type="checkbox"/> アセトアミノフェン(一般用医薬品)	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
	<input type="checkbox"/> テオフィリン				
⑰ 異常行動前に上記以外の薬剤の使用はありましたか		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 不明			
⑰で「はい」の場合、薬剤名をお書きください(※1)(※2)	<input type="checkbox"/> 薬剤名不明	月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
		月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
		月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
		月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
		月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明
		月	日	時頃	<input type="checkbox"/> 日時不明

※1:薬剤の種類が不明の場合には薬剤名不明欄にチェックを入れてください

※2:使用日時不明の場合には、日時不明欄にチェックを入れてください

⑱ ⑮・⑯・⑰の全てで「いいえ」と回答のあった場合(一般用医薬品除く)、異常行動発現前にインフルエンザによる医療機関の受診がありましたか		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/> 不明			
⑱で「はい」の場合、右の薬剤の処方はありましたか(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 処方なし	<input type="checkbox"/> タミフル	<input type="checkbox"/> オセルタミビル[サワイ]		
	<input type="checkbox"/> シンメトレル	<input type="checkbox"/> リレンザ	<input type="checkbox"/> ラピアクタ		
	<input type="checkbox"/> イナビル	<input type="checkbox"/> ゾフルーザ	<input type="checkbox"/> アセトアミノフェン(処方薬)		
	<input type="checkbox"/> テオフィリン				